

年 報

令和元年度

愛媛県総合科学博物館

年報の発刊にあたって

愛媛県総合科学博物館

館長 村 上 哲 司

県民の皆様には平素から当博物館を御利用いただき、誠にありがとうございます。関係者の皆様には当館の円滑な運営のため、日頃よりいろいろと御協力、御支援を賜っていることに対しまして、感謝申し上げます。また、新型コロナウイルスに影響を受けた皆様にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い終息と皆様の御健康を心よりお祈りいたします。未曾有の災禍とはいえ、私たち職員一同も一致団結してこの難局に立ち向かう所存でございます。

さて、当館は平成6年に開館し、令和元年11月に25周年を迎えました。その間、指定管理者制度の導入による民間の効率的で柔軟な運営手法の取入れや、プラネタリウムの改修、常設展示のリニューアルなど、来館者に喜んでいただける施設となるよう努めてまいりました。県民の皆様には、これまで以上に当館を御利用いただき、博物館で自然や科学について楽しく学んでいただくため、職員一同一層努力したいと思っております。

令和元年度に開催した夏の特別展「からくりランドの大冒険!! ～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」では、国内作家の数百もの作品を一堂に会しました。全てのおもちゃの仕掛けが見られ、そのユーモラスな表情とコミカルな動き、それを可能にする精緻な機構には、来場したあらゆる世代が魅了されました。また4月から開催した企画展「こわいものみたさ～恐怖を科学する～」では、展示室で来場者が感じた恐怖の体験を元に、恐怖の感情、感覚を科学的に解説することで、今自分が感じた感情や感覚を客観的に捉えなおす内容としました。

企画展「別子銅山・東平の思い出」では、銅の町として栄えた新居浜市東平地域を豊富な写真と資料で振り返り、実際にその頃を体験した方々の貴重なお話を伺いました。巡回展「国際周期表年2019特別展」では、周期律発見150周年を記念した全国巡回展の開催と四国初になる元素検定の実施、国内の周期表作家や元素研究者のイベントを多数実施して元素と周期表の魅力を紹介。企画展「自然を記録しよう！標本の作り方」では、さまざまなスタイルの自然史標本の紹介とその制作について、同時開催した企画展「理科室の宝物～学校収蔵標本から地域の自然を再考する～」では県内学校に保存されていた標本を中心に、標本が伝える地域の自然の移り変わりや標本がもつ自然史の証言者としての重要性について紹介しました。

こうした特別展や企画展をとおして、常設展にはない科学技術や自然の面白さ、素晴らしさを紹介するとともに、プラネタリウムの投影や博物館講座、サイエンスショー、ワークショップ等の体験プログラムなどさまざまな事業を展開しながら、時代のニーズに合った博物館の運営に努めていく所存です。

本書は、令和元年度における事業の実施状況を中心に当館の概要を紹介しております。御一読いただきまして、活動内容を理解していただく一助としていただければ幸いです。

今後とも総合科学博物館をどうかよろしく願いいたします。

目 次

年報の発刊にあたって	1
------------------	---

I 博物館概要

1 沿 革	4
2 設置の目的	7
3 施設の機能	7
(1) 博物館機能	7
(2) 生涯学習推進機能	8
4 建築施設の概要	11
(1) 所 在 地	11
(2) 敷 地 面 積	11
(3) 建 築	11
(4) 整 備 費	11
5 運営組織及び職員	12
(1) 組 織 構 成	12
(2) 職 員	12
(3) 指定管理者制度	12
6 博物館協議会	13

II 令和元年度事業報告

博物館機能

1 資料収集・整理・保存	15
(1) 資料の収集	15
(2) 資料の整理	15
(3) 資料の保存管理	15
(4) 収蔵資料データの公開	15
2 調 査 研 究	17
(1) 個別（分野別）研究	17
(2) 研究成果の公表	18
3 展 示 活 動	20
(1) 常 設 展 示	20
(2) 特 別 展 示	28
(3) 企画展示等	28
4 教育普及事業等	31
(1) 博物館講座の開催	31
(2) 博物館資料の特別利用及び館外貸出	34
(3) 実験器具と標本セット貸出	36
(4) 学校教育との連携	37
(5) 外部機関・団体との交流事業等	39
(6) 主催・共催事業	44
(7) 子育てサポート事業	55
(8) 印刷物の刊行	55
(9) 博物館実習の実施	55
(10) 友の会育成支援	56
(11) 博物館の情報化	59
(12) マスメディアへの対応	59
(13) ボランティアへの対応	59
(14) 外部団体からの助成	59
(15) NPO団体等との連携	59
5 プラネタリウムの運営	59
(1) 投影回数・時間	59

(2) 番組・投影期間	60
(3) メンテナンスによる投影休止期間	60
生涯学習推進機能	
生涯学習推進事業	61
(1) 東予コミュニティ・カレッジの開設	61
(2) 生涯学習情報の提供	62
(3) 施設の提供	62
(4) 図書室の開放	62
Ⅲ 予 算	63
Ⅳ 令和2年度事業計画	
博物館機能	
1 資料収集・整理・保存	64
(1) 資料の収集	64
(2) 資料の整理	64
(3) 資料の保存管理	64
2 調査研究.....	64
(1) 令和元年度研究テーマ	64
3 展 示 活 動	64
(1) 常 設 展 示	64
(2) 特 別 展 示	65
(3) 企画展示等	66
4 教育普及事業	67
(1) 博物館講座の開催	67
(2) 印刷物の刊行	68
(3) 友の会育成支援	68
5 プラネタリウムの運営	69
(1) 投影回数・時間	69
(2) 番組・投影期間	69
(3) メンテナンスによる投影休止期間	69
生涯学習推進機能	
生涯学習推進事業	70
東予コミュニティ・カレッジ開設事業	70
Ⅴ 令和元年度の利用状況	
1 施設利用データ	73
(1) 月別利用状況	73
(2) 団体利用状況	75
2 貸館利用データ	75
3 臨時休館日	75
Ⅵ 関係法規	76
Ⅶ 博物館利用案内	
1 施設使用案内	93
(1) 施設使用申込み	93
(2) 施設使用料	93
2 入 館 案 内	94
(1) 開 館 時 間	94
(2) 休 館 日	94
(3) 展示観覧料	94
3 交 通 案 内	94

I 博物館概要

1 沿革

昭和63年12月3日	総合科学博物館調査研究委員会設置
平成3年6月4日	総合科学博物館調査研究委員会の基本構想の知事への答申 (建設候補地を新居浜市とする。)
10月30日	建築基本設計着手(平成4年3月31日完了)
11月9日	展示基本設計着手(平成4年3月31日完了)
11月30日	用地整備事業着手(平成6年1月31日完了)
12月3日	国立科学博物館理工学研究部長石橋一郎氏、展示プロデューサーに就任 (平成7年3月31日終了)
平成4年7月23日	建築実施設計着手(平成4年10月31日完了)
12月8日	展示実施設計着手(平成5年3月31日完了)
12月12日	建築工事着工(平成6年9月30日完了)
平成5年7月10日	展示品等整備工事着工(平成6年9月30日完了)
10月2日	立体駐車場建築工事着工(平成6年9月30日完了)
平成6年4月1日	総合科学博物館開設準備室設置
8月17日	定礎式
10月1日	愛媛県総合科学博物館、公の施設として設置 理化学研究所理事長有馬朗人氏、館長に就任
11月10日	落成式を挙行
11月11日	一般公開
平成7年1月16日	入館者数 10万人を達成
2月11日	開館記念シンポジウム
5月2日	愛媛県総合科学博物館運営委員会設置
10月1日	愛媛県総合科学博物館友の会設立
12月17日	プラネタリウムギネス記念事業(シンポジウム・コンサート)
平成8年2月10日	企画展「ロボットの歴史と未来」開催(3月30日まで)
3月3日	入館者数 50万人を達成
7月14日	企画展「恐竜」開催(9月1日まで)
平成9年4月26日	特別展「欧米の科学博物館」開催(5月25日まで)
7月13日	企画展「出発進行!愛媛の鉄道 ~坊っちゃん列車から未来の鉄道~」開催 (8月31日まで)
10月25日	特別展「宇宙開発の過去・現在・未来」開催(11月24日まで)
平成10年3月21日	入館者数 100万人を達成
4月29日	テーマ展「川の生きもの」開催(5月10日まで)
7月11日	企画展「たんけん!超ふしぎ館」開催(8月30日まで)
7月20日	館長 有馬朗人氏、退職
9月12日	特別展「自然科学写真協会写真展」開催(9月20日まで)
平成11年3月6日	特別展「愛媛の鉱山」開催(4月11日まで)
6月9日	日本学術振興会 理事長 菊池健氏、館長に就任
7月10日	企画展「昆虫ワンダーランド」開催(8月31日まで)
10月9日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催(11月7日まで)
12月11日	特別展「ふしぎ大陸 南極展」開催(1月16日まで)
平成12年3月19日	館蔵品展「海の森・海藻の世界」開催(5月7日まで)
7月8日	企画展「海のめぐみ」開催(8月31日まで)
8月17日	入館者数 150万人を達成
10月7日	特別展「日本自然科協会学写真展」開催(10月29日まで)
12月9日	館蔵品展「夢と科学のたどった道-20世紀-」開催(1月14日まで)
平成13年4月24日	館蔵品展「干潟の自然」開催(5月6日まで)
5月19日	巡回展「すばる望遠鏡-宇宙を探る新しい眼-」開催(6月10日まで)
7月14日	企画展「人体」開催(8月31日まで)
平成14年2月23日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催(3月10日まで)
3月17日	館蔵品展「翼大空へ-航空機と空港を知る-」開催(4月14日まで)
4月27日	企画展「ふ・し・ぎミュージアム」開催(5月26日まで)
6月1日	企画展「仮想科学館」開催(6月30日まで)
7月13日	特別展「花物語 花にかくされたひみつ」開催(9月1日まで)

11月2日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催（11月17日まで）
12月21日	企画展「愛媛のキノコ～華麗なる森の芸術家たち～」開催（平成15年2月2日まで）
平成15年2月8日	企画展「昔の遊び！今の遊び！」開催（2月16日まで）
2月27日	企画展「植物のおぼえ方」開催（3月16日まで）
3月22日	企画展「きれいなし」開催（5月5日まで）
5月11日	企画展「愛媛の野鳥～写真で見る野鳥観察～」開催（5月25日まで）
6月1日	企画展「消えゆくいきものたち」開催（6月22日まで）
7月12日	特別展「わくわく！エネルギー体験館」開催（8月31日まで）
	入館者数 200万人を達成
9月20日	企画展「渡る蝶」開催（10月19日まで）
10月25日	巡回展「日本自然科学協会写真展」開催（11月9日まで）
12月13日	巡回展「ふれあい宇宙フェスティバル～“きぼう”の世紀へ～」開催（1月18日まで）
平成16年1月24日	企画展「身の回りのサイエンス～かんきょう～」開催（2月15日まで）
2月28日	企画展「愛媛の漁業 宇和海と瀬戸内海」開催（5月9日まで）
5月22日	企画展「侵入者たち～外来生物について～」開催（6月20日まで）
7月10日	特別展「すごいぞ！むかしの生きもの」開催（8月31日まで）
11月13日	開館10周年記念収蔵品展開催（1月10日まで）
平成17年1月22日	企画展「みて！さわって！つくろう！昔のおもちゃ」開催（2月20日まで）
3月5日	企画展「別子銅山写真展」開催（5月15日まで）
3月31日	館長 菊池健、退職
4月1日	日本科学技術振興財団会長 有馬朗人氏、名誉館長就任
10月22日	企画展「第26回自然科学写真協会愛媛展」「内藤洋写真展-南極・動物の夏-」同時開催（11月20日まで）
7月9日	特別展「さわって！あそんで！おもしろ科学ワールド」（9月4日まで）
12月3日	企画展「愛媛の鉄道写真展」（1月29日まで）
平成18年2月18日	企画展「ふしぎなホログラム」（5月28日まで）
7月15日	特別展「昆虫No.1決定戦」（9月3日まで）
9月16日	企画展「秋の草花」（11月26日まで）
12月2日	企画展「WARNING！地球温暖化」（1月8日まで）
平成19年1月20日	企画展「八幡浜の水産業」（3月11日まで）
3月24日	企画展「博物館講座展」（5月13日まで）
7月14日	特別展「きら☆ぴか☆りん ふしぎな光ミュージアム」（9月2日まで）
10月6日	企画展「愛媛の航空路 今昔」（12月2日まで）
平成20年2月10日	企画展「自然科学写真協会 写真展」（3月9日まで）
3月29日	企画展「天体写真展 星空への招待」（5月25日まで）
7月12日	特別展「KARAKURI メカのしくみと動きのヒミツ」（8月31日まで）
10月4日	企画展「おかしな機械」（11月30日まで）
12月4日	巡回展「毛利宇宙飛行士の部屋」（12月28日まで）
平成21年2月28日	企画展「森のめぐみ 木のものがたり」（5月10日まで）
2月28日	企画展「地衣類の世界」（5月10日まで）
3月15日	入館数 300万人を達成
3月31日	愛媛県立博物館廃止 収蔵資料203,720点移管
4月1日	指定管理者制度導入 （指定管理者 イコテツケーターサービス株式会社 平成26年3月31日まで）
7月4日	巡回展「霧箱」（9月10日まで）
7月11日	特別展「トリックアート」（8月31日まで）
10月3日	巡回展「日本の宇宙科学の歴史」（10月27日まで）
10月10日	巡回展「SSP写真展」（11月8日まで）
12月12日	巡回展「美とメイク」（平成22年1月11日まで）
平成22年2月6日	巡回展「森のめぐみ」（3月14日まで）
2月27日	企画展「昔のおもちゃ、今の玩具」（4月11日まで）
3月20日	プラネタリウム リニューアルオープン
4月24日	企画展「宇宙への誘い～宇宙開発展～」（5月30日まで）
7月10日	特別展「たんけん！ジャングルミュージアム」（8月31日まで）
10月9日	巡回展「SSP写真展」（10月31日まで）
12月11日	巡回展「ガリレオの天体観測から400年—宇宙の謎を解き明かす—」（平成23年1月30日まで）
12月12日	巡回展「エネルギー商店街」（平成23年4月7日まで）
平成23年1月29日	巡回展「森のめぐみ」（3月13日まで）

2月26日	企画展「なぎさの博物館 砂浜」(4月10日まで)
4月23日	企画展「剥き出しの地球 南極大陸」(6月5日まで)
7月9日	特別展「ドキドキ体感ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」(9月4日まで)
10月8日	巡回展「森の博物館」(11月13日まで)
11月12日	巡回展「科学市場」(平成24年3月27日まで)
12月10日	企画展「おもちゃの今昔～素材と技術の移り変わり～」(平成24年1月29日まで)
平成24年 2月25日	企画展「光で魚を捕る漁業」(4月8日まで)
3月10日	テーマ展「東日本大震災と博物館資料～標本レスキュー活動の記録～」(4月15日まで)
3月24日	新型恐竜ロボット完成・自然館リニューアルオープン
4月21日	巡回展「光の謎を解き明かせ!」(6月17日まで)
4月28日	巡回展「科学技術の「美」パネル展」(6月24日まで)
7月14日	特別展「ディノ・ミュージアム～恐竜の生態と進化～」(9月23日まで)
10月6日	企画展「錯視の不思議」(11月11日まで)
11月23日	企画展「愛媛の博物誌」(平成25年1月27日まで)
平成25年 2月23日	企画展「磁石と日本人」(4月7日まで)
4月20日	巡回展「科学捜査展」(6月23日まで)
7月13日	特別展「南極の自然～観測活動とその成果～」(9月16日まで)
8月21日	入館数 400万人を達成
9月7日	巡回展「オーロラ～宇宙からの手紙～」(9月16日まで)
10月5日	巡回展「マリー・キュリー業績ポスター展」(11月10日まで)
11月23日	企画展「万華鏡の華麗な世界」(平成26年1月13日まで)
12月7日	巡回展「科学技術の『美』パネル展」(平成26年2月16日まで)
平成26年 3月15日	企画展「鉱山絵葉書写真」(4月6日まで)
4月1日	学芸課にグループ制導入
4月1日	指定管理者制度 第2期開始 (指定管理者 イコテツケーターサービス株式会社 平成31年3月31日まで)
4月19日	巡回展「深海探検～海底二万里の世界～」(6月22日まで)
4月26日	巡回展「私達のかげがえのない海～はじめての海科学～パネル展」(6月22日まで)
7月13日	特別展「大トリックアート展」(9月15日まで)
7月19日	巡回展「地球から宇宙へパネル展」(8月31日まで)
10月11日	企画展「愛媛の絶滅危惧種『レッドデータブックと博物館』」(11月24日まで)
11月8日	開館20周年記念イベント開催(11月9日まで)
11月8日	企画展「青色発光ダイオードの発明」(平成27年4月5日まで)
12月6日	企画展「紙の機能と科学」(1月25日まで)
平成27年 2月2日	かはくノーベル賞記念講演会「発光ダイオードの開発とノーベル賞」
2月14日	企画展「教授を魅了した大地の結晶－北川隆司鉱物コレクション200選－」 (4月5日まで)
4月18日	巡回展「こわいものめぐり～わたしたちが恐怖を感じるまで～」(6月21日まで)
4月25日	巡回展「はやぶさ君の冒険日誌パネル展」(6月21日まで)
7月18日	特別展「アマゾン～ホントはこんなトコだった!～」(9月23日まで)
7月18日	巡回展「生物多様性～人と自然の共存～パネル展」(9月23日まで)
10月10日	企画展「なつかしの家電おどろきの道具」(11月23日まで)
10月17日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月8日まで)
12月12日	企画展「めぐみの海 瀬戸内海」(平成28年1月31日まで)
平成28年 2月27日	企画展「防災の科学～自然災害から身を守れ～」(4月10日まで)
4月16日	巡回展「日時計の楽しみ」(6月26日まで)
4月23日	巡回展「科学捜査展SEASON2」(6月26日まで)
7月9日	特別展「えひめスゴ技展2016」(9月19日まで)
9月17日	巡回展「月のふしぎ」(11月27日まで)
10月8日	企画展 永久磁石～見て!触って!学ぼう!～(11月20日まで)
10月15日	巡回展 森に親しむ博物館(11月6日まで)
12月3日	企画展 地震を探る(平成29年1月22日まで)
平成29年 2月18日	企画展 地衣類～コケだけどコケじゃない藻類?菌類?～(4月9日まで)
	巡回展「100均☆自然史グッズ巡回展」(4月9日まで)
4月22日	企画展「カハクンの大宇宙旅行展」(6月25日まで)
7月8日	特別展「VRスポーツサイエンス」(9月18日まで)
10月7日	企画展「東予産業遺産」(11月26日まで)
10月21日	パネル巡回展「太陽のふしぎ」(11月19日まで)

10月14日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月5日まで)
12月9日	企画展「体験！エネルギーワールド」(平成30年1月28日まで)
平成30年2月24日	企画展「案外すんでる！身近な生き物」(4月8日まで)
	企画展「ホネホネミュージアム」(4月8日まで)
3月10日	入館者数500万人を達成
4月1日	県庁組織改正に伴い知事部局に管理運営に関する事務委任
4月21日	企画展「ミクロライフ展」(6月3日まで)
7月21日	特別展「恐竜ロボットファクトリー」(9月2日まで)
9月22日	特別展「～光と鏡のサイエンスアート～魅惑の万華鏡ミュージアム」(11月11日まで)
10月13日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月4日まで)
12月9日	企画展「野生の王国ケニア」(平成31年1月27日まで)
	企画展「葉で見分ける常緑樹」(平成31年1月27日まで)
平成31年2月23日	企画展「元素のマトリクス～星々から生命への贈り物～」(4月7日まで)
4月20日	企画展「こわいものみたさ～恐怖を科学する～」(令和元年6月23日まで)
令和元年7月13日	特別展「からくりランドの大冒険!!～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」9月1日まで
10月26日	企画展「別子銅山・東平の思い出」(12月1日まで)
12月14日	巡回展「国際周期表年2019特別展」(令和2年1月26日まで)
令和2年2月22日	企画展「自然を記録しよう！標本のつくり方」(4月5日まで)
	企画展「理科室の宝物～学校収蔵標本から地域の自然を再考する～」(4月5日まで)

2 設置の目的

総合科学博物館は、県民の皆様へ科学に関する正しい理解を深めていただくための学習機会を提供し、創造的風土の醸成を図るとともに、科学技術の進歩と本県産業の発展に寄与することを目的としている。

3 施設の機能

(1) 博物館機能

ア 資料収集・整理・保存

当博物館では、地域博物館としての機能を果たすため、資料の収集を行う。収集した資料は、適切な処理を施し保存、系統的な整理を行い、地域の共有財産として活用することとしている。

自然史部門は、愛媛県の過去から現在にわたる自然環境の把握、県産種の記録・保存のため、愛媛県に産する生物・鉱物等の資料を収集するとともに、比較分類の必要性から、他県・他国産種についても収集する。

科学技術部門は、科学に慣れ親しむ必要性から、主に体験型実験装置、最先端技術・情報に関する資料を収集するほか、科学史に関する資料も適宜収集する。

産業部門は、愛媛県の基幹産業の変遷、産業構造の変容を把握し、過去の貴重な産業資料の散逸を防ぐため、資料を収集する。さらに、他県・他国産の関連資料についても収集する。

イ 調査研究

調査研究は、博物館における各種事業の基幹的機能として位置付けられ、特に資料収集・保存・教育普及等の事業と密接に結び付くもので、当博物館の調査研究事業は、大きく次の3種類に分類される。

(ア) 各学芸員の専門分野を生かした個別研究

(イ) テーマを設定し、複数の学芸員が異なる分野からアプローチする総合研究

(ウ) 社会教育機関としての博物館を有効に機能させるための博物館学的研究

これらの調査研究の成果は、博物館が発行する報告書（研究報告）に発表し、常設・企画展示、普及啓発事業等を通じて、広く県民に還元する。

ウ 展示活動

当博物館では、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深め、科学する心を培うために実物標本や可動模型を展示している。館内には、「自然館」「科学技術館」「産業館」の三つの常設展示室と屋外展示場を設置して、愛媛の自然や産業、科学技術などをわかりやすく紹介している。

自然館は、「宇宙」「地球」「愛媛」の三つのゾーンで構成し、大型の模型や映像を使い、自然の素

晴らしさが再認識できる場を提供している。

科学技術館は、科学技術を「素」「生」「伝」「動」の四つの身近なテーマによって紹介し、楽しみながら学習できるよう参加型の体験装置を配置している。

産業館は、愛媛の産業を「基幹産業」と「伝統産業」に区分し、本県の産業が幅広く理解できる構成としている。

屋外展示場は、大型展示物を配し、展示機能と自由なくつろぎの場としての機能を兼ね備えている。

エ 教育普及事業

多数の県民に博物館の活動事業を周知するとともに、各種活動成果をより多くの人に還元するため、多様な教育普及事業を行っている。

まず、児童・生徒、一般県民を対象に親子自然教室・自然観察会・星空観察会・科学工作教室・科学実験教室・産業講座・かんたん工作教室の7種類の講座を開催している。

さらに、自然や科学に関する関心を高めるため、講師を招いての講演会等を行うとともに、博物館だよりなどの普及用印刷物の刊行や、友の会の育成支援も行っている。

オ プラネタリウムの運営

天文の基本原理を学ぶとともに、宇宙の姿や星座の物語など、天文に関する興味を広げていくことにより、自然館常設展示と連携して、天文学習の振興に資することを目的としてプラネタリウムの運営を行っている。

(2) 生涯学習推進機能

県民の高まる生涯学習ニーズに対応するため、東予地域における生涯学習推進の拠点施設として、県民の生涯学習活動を支援するとともに、地域の生涯学習活動の活性化に資することを目的として、各種の生涯学習事業の実施と施設の開放を行っている。

ア 学習機会の提供

県民の心の豊かさや教養を高めるとともに、実社会において必要な知識や技術を習得するために、気軽に学習できる場として、東予コミュニティ・カレッジに協力している。

イ 学習情報の提供

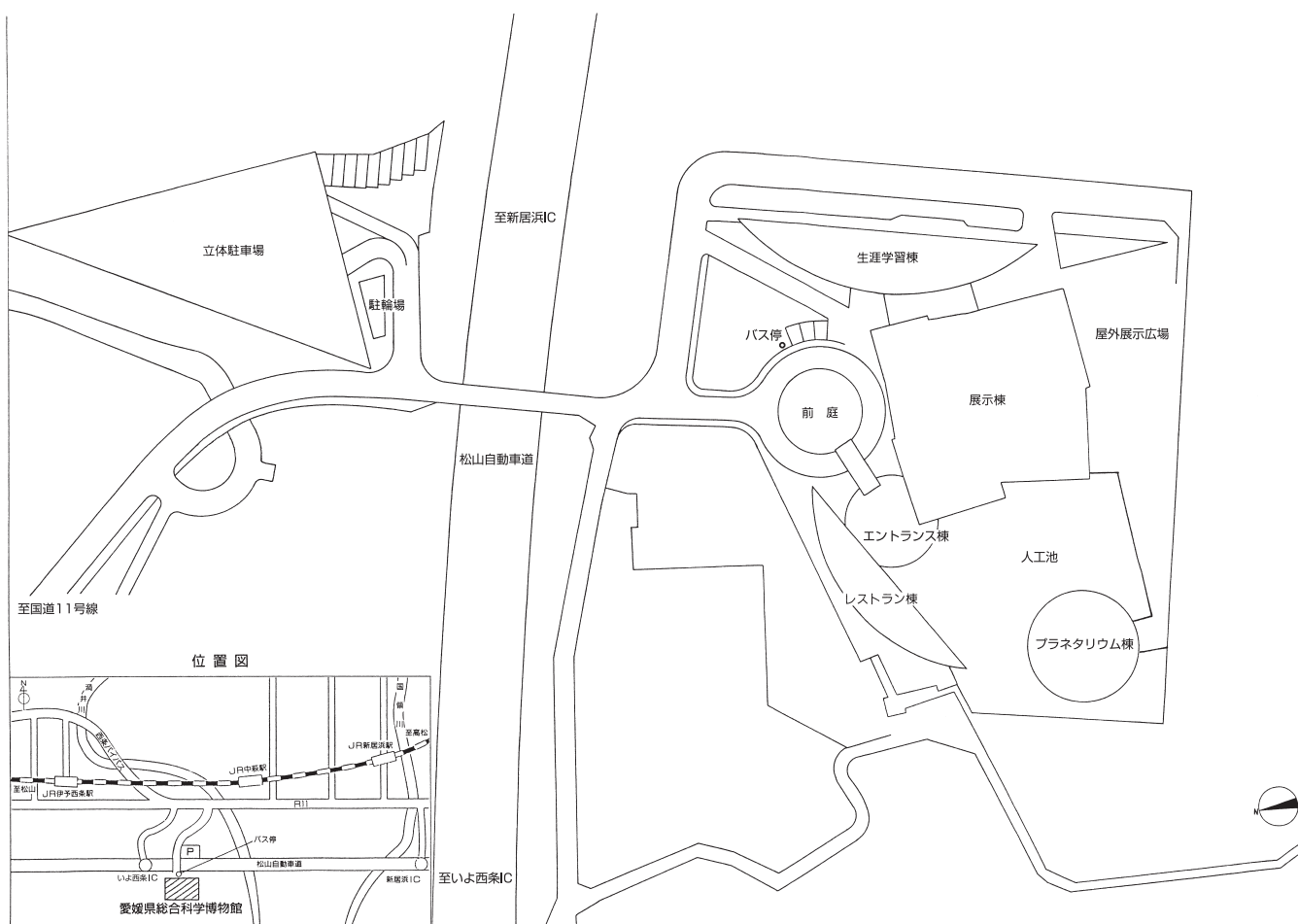
県民の生涯学習活動を促進・援助するため、インターネットのホームページを利用した生涯学習情報システムにより、各種の生涯学習に関する情報を提供するとともに、学習相談を行っている。

ウ 施設の開放

東予地域の生涯学習活動の拠点施設として、第1研修室、第2研修室、ミーティングルーム、多目的ホール、控室(2室)、企画展示室を有料で開放している。

また、図書室には、約10,000冊の生涯学習関係の図書を蔵しており、閲覧及び貸出を行っている。

愛媛県総合科学博物館配置図





4 建築施設の概要

(1) 所在地 愛媛県新居浜市大生院2133番地の2

(2) 敷地面積 25,800㎡（うち立体駐車場4,300㎡）

(3) 建築

ア 本体

(ア) 床面積 (㎡)

区 分	建築面積	延床面積
エントランスホール棟	665	940.29
展 示 棟	3,460	10,658.44
生涯学習棟	1,331	3,375.02
レストラン棟	703	719.65
プラネタリウム棟	852	903.11
合 計	7,011	16,596.51

(イ) 構造等 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根鋼板葺地下一階付五階建

(ウ) 特 徴

五つの棟が円錐形、正方形、三日月形、球形となっており、自然の成立ち、科学する心をイメージし、近未来を予感させる。また、人工池を介して自然の中に建つ他の棟を眺めることができる。

(エ) 施 設 《別添図のとおり》

イ 立体駐車場

(ア) 延床面積 6,258.88㎡

(イ) 構造等 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根二階建

地上2階3層

大型バス8台、普通車320台、駐輪70台

(ウ) 特 徴

博物館本体の純幾何学形態を踏襲し、三角形としている。また、外壁のデザインは、南米ペルーのナスカの地上絵のうち「滑走路」と呼ばれる部分を模写したものである。

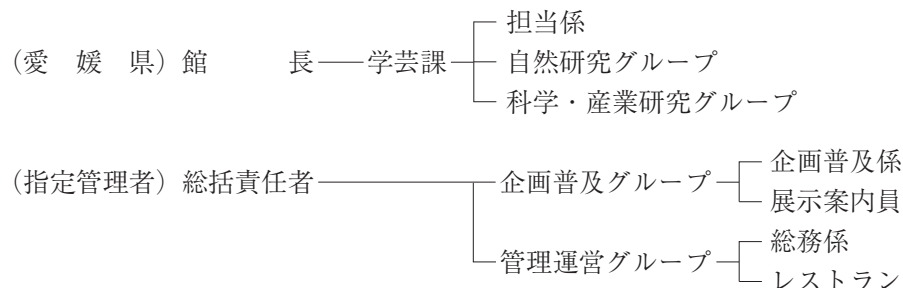
(4) 整備費 (千円)

区 分	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	事業費計
用地費	105,528	721,004	587,584	—	1,414,116
建築費	47,380	2,689,915	3,423,233	7,889,209	14,049,737
展示費	89,711	135,331	2,732,287	648,453	3,605,782
計	242,619	3,546,250	6,743,104	8,537,662	19,069,635

5 運営組織及び職員

(1) 組織構成

名誉館長（有馬朗人）



(2) 職 員（平成31年4月1日現在）

館長 轟 浩二

学芸課

学芸課長 市川 和夫

担当係長 桑原 由美

22条職員 星加 智美

自然研究グループ

担当係長 大西 剛

担当係長 小林 真吾

専門学芸員 山根 勝枝

専門学芸員 川又 明德

教育専門員 稲葉 正和

科学・産業研究グループ

担当係長 久松 洋二

担当係長 吉村久美子

専門学芸員 藤本 光章

専門学芸員 進 悦子

専門学芸員 篠原 功治

指定管理者伊予鉄総合企画株式会社

統括責任者 森本 忠嗣

企画普及グループ

リーダー 中西 真理

企画普及係 近藤菜美子

高橋 智子

立岩 雅弥

橋村美智子

展示案内員 青野美由紀

吉村 奈々

灘 ゆかり

村尾 真美

管理運営グループ

マネージャー 佐伯 真紀

総務係 山本 未来

松友 彩子

伊藤 祐三

維持管理係 安藤 裕昭

レストラン 岩崎 昌子

桑原 愛実

伊藤 久子

岡田 幸治

千葉のぞみ

伊藤 和子

(3) 指定管理者制度

指定管理者 伊予鉄総合企画株式会社（旧社名 イヨテツケーターサービス株式会社）

指定管理者の業務

博物館施設の維持管理業務、来館者サービス業務、生涯学習事業、施設等の利用許可、利用促進業務、プラネタリウムの運営及び学芸業務の一部（展示事業及び普及啓発事業に係る経費の支出）

県直営業務

学芸業務（博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する業務）

*学芸業務の一部は指定管理者が経費を支出

名誉館長、博物館協議会に関する業務

維持管理業務の一部（火災共済への加入等）

6 博物館協議会

設 置 平成12年4月1日
委員数 10名
会 長 愛媛大学名誉教授 高橋治郎
副会長 今治コミュニティ放送㈱代表取締役社長 黒田 周子
開催日 令和元年11月13日（水）

総合科学博物館協議会委員

（令和元年11月13日現在）

選 任 部 門		氏 名	現 職
学 識 経 験 者	自 然(地 学)	高橋 治郎	愛媛大学名誉教授
	自 然(環 境)	斎藤 智子	NPO法人自然環境教育えことのは理事長
	科学技術(物 理 学)	栗木 久光	愛媛大学 宇宙進化研究センター教授
	科学技術(化 学)	林 秀則	愛媛大学 名誉教授
	科学技術(生 命)	松田 正司	愛媛大学大学院 医学系研究科教授
	産 業(機 械)	萩尾 孝一	新居浜機械産業協同組合 理事長
	地域振興関係	黒田 周子	今治コミュニティ放送㈱ 代表取締役社長
	伝統産業・観光関係	井口 梓	愛媛大学社会共創学部准教授
教 育 関係者	学校教育・社会教育関係	近藤 智佳	新居浜市教育委員会教育委員
	一般公募	上田 洋子	無職

愛媛県博物館協議会設置条例

制定：平成12年3月24日条例第31号

最終改正：令和2年3月27日条例第9号

愛媛県博物館協議会設置条例を次のように公布する。

愛媛県博物館協議会設置条例

（設置）

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館に、それぞれ同表の右欄に掲げる博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

愛媛県総合科学博物館	愛媛県総合科学博物館協議会
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館協議会
愛媛県美術館	愛媛県美術館協議会

（任命の基準）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命する。

（定数）

第3条 委員の定数は、それぞれ14人以内とする。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（雑則）

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月27日条例第7号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月27日条例第9号）

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則

制定：令和2年3月27日愛媛県規則第14号

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則

（趣旨）

第1条 この規則は、愛媛県博物館協議会設置条例（平成12年愛媛県条例第31号）第5条の規定に基づき、愛媛県総合科学博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

（招集）

第3条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、愛媛県総合科学博物館長が招集する。

2 会議の日時、開催場所及び会議に付議する事項は、あらかじめ委員に通知しなければならない。

（会議）

第4条 会議は、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第5条 協議会の庶務は、愛媛県総合科学博物館において処理する。

（委任）

第6条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

Ⅱ 令和元年度事業報告

博物館機能

1 資料収集・整理・保存

総合科学博物館の調査研究・展示等の目的のため、自然・科学技術・産業等に関する資料を収集し、分類整理の上、適切に保存・管理を行った。

(1) 資料の収集

ア 寄贈資料 計11件 10,682点

	資 料 名	数量	寄 贈 者
自然	鳥類標本(オシドリ)	2	個人
	日本産植物標本 芥川正次郎コレクション	2,500	四国中央市教育委員会
	昆虫標本(ゴミアシナガサシガメ)	1	個人
	昆虫標本(愛媛県産カミキリムシほか)	3,229	個人
	植物標本ほか	4,337	愛媛県立宇和高等学校
科学	逆遠近錯視図形	2	太成学院大学
	小川正孝資料 山口コレクション	160	個人
	三並義忠肖像画	1	個人
	小川家古文書資料 山口コレクション	44	個人
産業	漁業功労者清家政夫氏関連資料	341	個人
	航空関連資料	65	個人

イ 譲渡資料 計1件 6点

	資 料 名	数量	寄 託 者
科学	スーパーコンピュータ「京」	6	国立研究開発法人 理化学研究所

(2) 資料の整理

平成6年の博物館開館以来、自然史部門は動物、植物、化石、岩石・鉱物、天文の5分野、科学技術部門は、工学、化学、物理、数理、生物・医学の5分野、産業部門は、農林水産、製紙、鉱業、交通運輸、繊維、石油・化学、機械・金属、伝統産業、その他の9分野に分けて、収蔵資料をパーソナルコンピュータのデータベースに登録し管理を行ってきた。平成27年3月、早稲田システム開発株式会社が運営する収蔵資料データ管理システム「IYB月MUSEUM SaaS」へ収蔵資料データの移行を実施した。

平成20年度末に移管を受けた旧県立博物館の動物資料（約129,000点）・植物資料（約65,000点）・地学資料（約6,500点）について、引き続きデータ整理作業を行った。

(3) 資料の保存管理

収集した資料の一部については、虫害防除のため燻蒸を行った。燻蒸は、燻蒸室に設置してある小型減圧燻蒸設備（庫体容量5m³）において、酸化エチレンを主剤とした薬剤を用い実施した。

資料を保存している第1～第7収蔵庫及び標本工作室、3階作業室、4階作業室、企画展示室については、ブンガノンによる燻蒸（令和元年9月30日）を行った。また、収蔵庫の環境を把握するため、空中浮遊菌調査（令和元年7月31日、9月30日）も実施した。燻蒸設備については、令和2年3月27日に保守点検を実施した。

(4) 収蔵資料データの公開

博物館が有する資料の利活用を促進するため、国立科学博物館が、科学系博物館情報ネットワーク推進事業として、国内の各館が有する標本情報を横断的に検索可能なデータベースシステム構築を行い、

サイエンスミュージアムネット (<http://science-net月kahaku月go月jp/>) を開設している。当館においてはサイエンスミュージアムネット内にて、平成17年度に発行した愛媛県総合科学博物館資料目録第3号「三好保徳シダ植物標本目録」の標本情報6,030件を公開している。

愛媛県総合科学博物館 収蔵資料点数（令和2年3月31日現在）

[単位：点]

	区分	分 野	形態	個別点数	前年比	小計	自然内訳	区分合計	
総合科学博物館 分野別収蔵資料	自然	化石	購入	311	0	674	59,109	289,012	
			寄贈	363	0				
		岩石・鉱物	購入	363	0	4,322			
			寄贈	3,959	1				
		動物	購入	590	0	4,561			
			寄贈	3,971	531				
		昆虫	購入	9,401	0	13,900			
			寄贈	4,499	3,230				
		植物	購入	100	0	35,643			
			寄贈	35,543	5,800				
		天文	購入	6	0,	9			
			寄贈	3	0				
		(参考) 県博資料 (H20年度移管)	移管	岩石・鉱物		4,452			200,303
				化石		2,118			
				脊椎動物		835			
				無脊椎動物		127,766			
				植 物		65,132			
		※受入未処理			寄 贈				約29,600
	科学	技術系資料 (自然物資料含)	購入	90	0	90	4,761		
			寄贈	0	0				
		科学系資料	購入	312	0	4,671			
			寄贈	4,359	207				
	産業	模 型	購入	412	0	414	3,235		
			寄贈	2	0				
		図 書	購入	21	0	602			
			寄贈	584	0				
		製 品	購入	147	0	192			
			寄贈	45	0				
		そ の 他	購入	139	0	2,014			
			寄贈	1,875	406				
	前年比					10,175			
	総資料点数								297,008
	うち常設展示点数								4,648

※寄贈には寄託借用を含む

※寄贈品等で未登録の資料については資料点数にはカウントしない。

2 調査研究

博物館における学芸員の基幹的業務として、学芸員の専門分野を生かした調査研究を継続的に実施し、研究資料の蓄積を図るとともに、その研究成果を県民に周知するため研究報告を作成した。

(1) 個別（分野別）研究

●市川和夫（学芸課長）

（テーマ） 博物館と学校との連携事業に関する研究

（概要） 当館における学校連携推進事業の事例研究を行った。

●大西剛（自然研究グループ）

（テーマ） アサギマダラの移動に関する愛媛県の記録（2019年）

（概要） 愛媛県における2019年のアサギマダラの移動についてマーキング調査を行うとともに、移動記録の整理を行った。

（テーマ） 博物館周辺の生き物調査

（概要） 博物館周辺に生息する昆虫や動物について、目視確認を行いつつ写真撮影を行った。

●小林真吾（自然研究グループ）

（テーマ） 愛媛県の植物・藻類・菌類相

（概要） 愛媛県内各地で植物・藻類・菌類の分布調査を行った。令和元年度も引き続き愛媛県RDBの改訂作業を通じ選定された藻類および菌類の一部の種について、分布および生育量、フェノロジー等について調査を実施したほか、県産種目録改訂のための情報収集を行った。

（テーマ） 希少野生動植物の保全に関する研究

（概要） 国内・県内で絶滅のおそれのある動植物および天然記念物等の保護対象となっている生物群について、引き続き生息・生育地の保全に関する調査を行った。令和元年度は、県条例により保護対象となっている絶滅危惧種の水草について愛媛県生物多様性センターとともに保護管理計画策定のための調査を実施した。

（テーマ） 四国の藻類・菌類相と利用に関する研究

（概要） 四国における藻類および菌類の利用等について、情報収集を行った。令和元年度は、引き続き瀬戸内海沿岸における海産藻類の利用に関する聞き取り調査を行った。

（テーマ） 重信川周辺湧水の生物相追跡調査

（概要） 平成5年前後に愛媛県立博物館によって実施された重信川周辺湧水の生物相調査について、追跡調査を行った。令和元年度は、約10か所の湧水について残存状況の確認などの予備調査を実施した。

●山根勝枝（自然研究グループ）

（テーマ） 愛媛県産和泉層群化石に関する調査

（概要） 新居浜市産和泉層群化石（当館所蔵および寄託）について調査を行った。

（テーマ） 愛媛県における大型鰓脚類の分布調査

（概要） 愛媛県内の水田においてカブトエビおよびカイエビの調査を行った。

●川又明德（自然研究グループ）

（テーマ） 愛媛県の植物・地衣類相

（概要） 愛媛県内各所において植物・地衣類相の調査を行った。県内の地衣類について、愛媛県野生動植物目録未記載種の調査を行った。

（テーマ） 寒冷地性地衣類に関する分類学的研究

（概要） 南極昭和基地周辺で採集した地衣類について、標本調査を行った。

●稲葉正和（自然研究グループ）

（テーマ） 愛媛県内の公立学校に収蔵されている標本調査

（概要） 愛媛県内の公立学校に収蔵されている標本の調査を行い、その成果を「博物館研究第54巻第12号」「野生生物と社会, 7(1)」「爬虫両棲類学会報 第2019巻 第1号」「愛媛県総合科学博物館研究報告第24号」「南予生物Vol月19」にて報告した。

（テーマ） 博物館と学校教育の連携事業

（概要） 愛媛大学教育学部主催の「科学系教育施設の活用を目指した教育コンソーシアム」に参加し、博物館の展示物等を利用した教材開発、博物館施設と学校教育の連携事業に取り組んだ。その成果を「科学教育研究vol月43 No月2」にて報告した。

●久松洋二（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 展示装置及び教材の開発と製作

（概要） 常設展示・特別展示の新規製作と従来展示装置の改良、新作実験装置の開発を行い、企画展示や常設展示、サイエンスショー等で公開した。成果は「愛媛県総合科学博物館研究報告第24号」にて報告した。

（テーマ） 日本人による新元素の発見と愛媛県との関係

（概要） アジア初の新元素発見者であり愛媛県出身の化学者小川正孝に関する調査研究を行い、「愛媛県総合科学博物館研究報告第24号」で報告するとともに、国際周期表年実行委員会による巡回展展示パネル、および国際周期表年国際閉会式において発表を行った。

●藤本光章（科学・産業研究グループ）

（テーマ） サイエンスショーにおける実験装置の製作

（概要） 実験装置の製作として、ウェーブ実験装置、タイヤ回転装置、夕焼け観察器、手回し発電式エコ充電器を製作し、サイエンスショーや博物館講座で公開した。

●進悦子（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 科学教材の開発と製作

（概要） 科学教材を開発し、その教材をサイエンスショーや科学イベントにて公開した。また、特別展、博物館講座、館内ワークショップ、出張講座、科学イベントで活用した。

●篠原功治（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 来館者のための安全で効果的な実験や工作

（概要） 簡単に行える科学実験と工作についての調査を行った。その結果をサイエンスショー等に取り入れた。

●吉村久美子（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 別子銅山産業遺産の残存状況～東平～に関する研究

（概要） 東平に関する資料の収集・聞き取り調査・現地調査を行い、企画展「別子銅山・東平の思い出」を開催した。

（テーマ） 「秤量器」に関する調査

（概要） 秤量器に関する聞き取り調査を行い、その成果を実物資料とともに常設展示で公開した。

(2) 研究成果の公表

研究報告の発行、館外での発表等により研究成果を公表した。

ア 研究報告の発行

令和2年3月、「愛媛県総合科学博物館研究報告 第24号」（A4判、48頁）を500部発行し、全国の博物館及び県内の高校・大学・図書館等へ配布した。報告に掲載した論文タイトルは次のとおり。（＊印は、博物館外の研究者。）

短報

- ・大西剛：西条市及び新居浜市で確認されたベニイトンボ及びベニトンボについて

資料

- ・久松洋二：小川正孝関連資料報告 愛媛県にゆかりのある資料2点
- ・稲葉正和：愛媛県内の公立学校に収蔵されていたニホンカワウソ *Lutra nippon* のおよびカワウソ属の1種 *Luta* spの標本

技術報告

- ・久松洋二：科学体験展示物の館内制作報告（2017年）ホロウマスク錯視とブラックホールカーペット
- ・久松洋二：科学体験展示物の館内制作報告（2018年）ケプラーモーション

イ 館外での発表等

（外部掲載）

- 稲葉正和・「最近発見された愛媛県産のシコクハコネサンショウウオとコガタブチサンショウウオの古い標本」
爬虫両棲類学会報 第2019巻 第1号 p71
- 稲葉正和・「科学系社会教育施設におけるICTの活用事例－異世代・専門家との協同的学びの実践－」
科学教育研究 Vol43 No月2 p115-120
- 稲葉正和・「岩手県陸中産ライチョウ剥製標本の発見と早池峰山におけるライチョウ生息の可能性」
野生生物と社会 7(1) p33-40
- 稲葉正和・「理科室の宝物－博物館と学校を繋ぐ学校収蔵標本」
博物館研究 第54巻 第12号 p14-17
- 稲葉正和・「最近発見された愛媛県広見川産ギンガメアジ（アジ科）の標本」
南予生物 Vol19 p35-40
- 久松洋二・「巡回展「国際周期表年2019特別展」巡回展の概要と開催、今後の展開」
日本化学会誌 科学と工業 第72号 p946-947

（学 会）

- 稲葉正和・「Record of Whale Monuments in Ehime Prefecture – The Interaction Records of Whales and the People of Sadamisaki Peninsula -」
30th Annual Meeting of Cetology Study Group of Japan
- 大西 剛・「西表島の蝶など」
日本鱗翅学会四国支部例会 2020月2月16 愛媛県総合科学博物館
- 川又明德・「The lichens around the South Pole Syowa Station」
第10回極域科学シンポジウム 2019月12月4 国立極地研究所（東京都）
- 小林真吾・「鹿児島県で再確認されたオーストラリアシャジクモ」
日本藻類学会第44回大会 2020月3月26-28 鹿児島大学（鹿児島県）
- 小林真吾・川又明德
「Salvage and Restoration of Natural History Collections Damaged by the 2011 Tsunami in Japan」
ICOM京都2019国際シンポジウム「研究活動、資料収集、普及教育、アウトリーチを推進するツールとしての自然史博物館ネットワーク 2019月9月4 京都大学
- 久松洋二・「国際周期表年2019特別展のご紹介」
第10回全国理工系学芸員展示研究大会 2019月11月26-28 沖縄こどもの国（沖縄県）
- 久松洋二・「元素を感じる体験装置の作り方」
第10回全国理工系学芸員展示研究大会 2019月11月26-28 沖縄こどもの国（沖縄県）
- 久松洋二・「IYPT Japan Exhibition Highlights」
International Year of the Periodic Table of Chemical Elements
Closing Ceremony 2019月12月5 東京プリンスホテル（東京都）
- 篠原功治・「博物館のSNS活用－愛媛県総合科学博物館を事例として」
全国科学館連携協議会 2019 年度 国内研修 2019月10月17 日本科学未来館（東京都）

(普及図書掲載)

- 久松洋二・「国際周期表年と愛媛発の新元素」
愛空衛 愛媛県空調衛生設備業協会 第100号 p4-p11
- 久松洋二・「国際周期表年2019特別展の報告」
愛媛の博物館 愛媛県博物館協会会報 第57号 p2
- 久松洋二・「炊飯器」「時計」
鶴ヶ森こども冒険ゾーン歴史プログラム 国立大洲青少年交流の家

3 展示活動

(1) 常設展示

ア 自然館

自然館は、宇宙・地球・愛媛の3つのゾーンに分かれており、マクロからミクロへズームアップしていく構成をとっている。展示にはジオラマをはじめ大型の模型や映像を使い、自然の素晴らしさを再認識できる場を提供している。令和元年度は1件の展示物を追加した。

ア) 宇宙のゾーン

想像の世界の宇宙から、それを解き明かしていく過程をたどり、天文学の進歩に貢献した先人達の偉業や、最新の宇宙論を紹介している。「宇宙の始まり」のコーナーでは、宇宙の起源と進化を概説する映像とともに、天文の父たちとしてプトレマイオス、ガリレオ、ニュートンの像を展示している。「宇宙への夢と挑戦」のコーナーでは、巨大な亀や象の背中に世界があるとする古代インド人の宇宙観の模型、仏教の宇宙観を示した須弥山儀の模型、太陽系の惑星の軌道と運動を示したケプラーの惑星運動解説模型、ハーシェルの大反射望遠鏡の縮小模型、ダジャックアースなどを展示している。

「おもしろデータバンク」のコーナーでは、宇宙からの贈り物という内容で、実物の隕石やテクタイトを展示する他、宇宙クイズ及び太陽系たんけんすごろくソフトの体験や公開天文台ネットワーク(PAONET)から取得した天文に関する画像の検索などができるパソコンを4台設置している。

イ) 地球のゾーン

生物の誕生から進化というテーマを軸に、地球の移り変わりや現在の地球の自然環境を紹介している。「大地の科学」のエリアでは、鉱物を分類展示した鉱物ギャラリーなどを展示している。「生きものの進化」のエリアでは、アロサウルスとステゴサウルスの全身骨格(複製)やティラノサウルスとトリケラトプスの復元可動模型、ゾウの進化を示すメリテリウムとマンモスの模型、人類の進化を示す4体の模型などを展示している。「生きている地球」のエリアでは砂漠・サバンナ・極圏・熱帯雨林・海洋の自然を紹介したミニジオラマや、ライオンなど世界の動物、トドやタカアシガニなど海の生物の剥製を展示している。

ウ) 愛媛のゾーン

自然に恵まれた豊かな環境のもと、特色ある動植物が分布している愛媛の自然を紹介している。「愛媛の特色ある自然」のエリアでは、絶滅の恐れがある生きものの剥製、ナウマンゾウ全身骨格(複製)や瀬戸内海産ナウマンゾウ化石を展示するとともに、「愛媛ライブシアター」として石鎚山の大自然を映し出す石鎚山の詩を上映している。「愛媛の野山」のエリアでは、石鎚山系のブナ林を再現したジオラマ、県獣で国の特別天然記念物であるニホンカワウソのジオラマを中心に、県内に分布する動植物を展示している。「愛媛の海」のエリアでは、愛南町鹿島の海の自然を再現したジオラマを中心に、海にすむ生き物を展示している。令和元年度は県内で30年ぶりに発見されたゴミアシナガサシガメ(昆虫)と新居浜市で採集されたセアカゴケグモの標本、「石鎚山系のよく似た樹木」の新規展示を追加し、コウノトリの映像を西予市で撮影されたものに変更した。

(エ) 自然館 展示内容

ゾ ー ン	エ リ ア	コ ー ナ ー
宇宙のゾーン	宇宙のはじまり	宇宙誕生のドラマ
	宇宙への夢と挑戦	古代人の宇宙観
		太陽とともに生きる
		天空の向こうを捉える
		ダジック・アース
		宇宙を解き明かす試み
		宇宙論の軌跡
	おもしろデータバンク	宇宙からの贈り物
		身近な宇宙
		宇宙情報アドバイス
地球のゾーン	生きものの進化	地球のはじまり
		太古の生きもの
		生きものたちのヒストリーロード
		進化のなりたち
		化石ギャラリー
		キッズディノ
	生きている地球	砂漠の自然
		サバンナの自然
		世界の動物
		極圏の自然
		熱帯雨林の自然
		海の勇者たち
	大地の科学	海洋の自然
		愛媛の鉱物
		さまざまな岩石・鉱物
愛媛のゾーン	愛媛の特色ある自然	絶滅の恐れがある生きもの
		愛媛の化石
		愛媛ライブシアター
		愛媛の大地をつくる岩石
	愛媛の野山	石鎚山系のよく似た樹木
		石鎚山の自然
		愛媛の昆虫
		愛媛の野鳥
		愛媛のほ乳類
		ニホンカワウソ
	愛媛の海	愛媛の海の生きもの

イ 科学技術館

科学技術館では、科学法則の体験装置と科学技術の歴史的実物資料を中心に展示することで、来館者が科学法則に親しみながら、科学と技術の成果について学習できる展示を行っている。展示室は「素」「生」「伝」「動」のゾーンと「サブゾーン」で構成され、物質とその起源、生命の不思議さ、光・音・電磁気・力・熱の諸法則について展示している。展示物については、随時更新することで、常に新しい姿を来館者に提示する努力を行っている。令和元年度には4件6点の新規展示を追加した。

(ア) 素のゾーン

物質の階層を中心に展示しているコーナーで、素粒子、元素、素材などを紹介している。特に、

素粒子実験の実物資料（泡箱フィルム、原子核乾板など）を体験型で展示していることが特徴的である。また、その他体験装置も多く展示しているコーナーでもある。令和元年度には展示コーナー「三並義忠の発明と技術」及びパネル展示「原子の周期性」2点の新規展示を追加した。

(イ) 生のゾーン

生命の源であるDNA（遺伝子）や生命の誕生についてなどを分かりやすく紹介している。また、その他に東洋医学や血管の年齢など生命の不思議さについて興味を引くような参加型装置を展示している。

(ウ) 伝のゾーン

人から人への情報の伝達。これらの伝える技術の基本的な性質、光・音・電磁気を中心に様々な体験装置を展示している。令和元年度には新規展示コーナー「スーパーコンピュータ「京」」の新規展示を追加した。

(エ) 動のゾーン

力やエネルギーについて主に展示しており、動きや軌跡、バランスを理解できる体験装置を多く展示している。同時に幼児向けの展示コーナーも併設している。

(オ) サブゾーン

展示室の入り口と中央に設置された、ひとつのテーマで構成された展示スペースで、日本の宇宙開発技術を展示する「宇宙をめざして」、錯覚や虚像の楽しさを展示する「ふしぎアベニュー」、そして学芸員などが実験を実演する「実験ショーコーナー」がある。令和元年度は逆遠近錯視2点の体験展示の追加を行った。

(カ) 科学技術館 展示内容

ゾ ー ン	展 示 物	内 容
サブゾーン (宇宙をめざして)	宇宙の科学 LE-7A 宇宙服 ジャイロスコープ あの空の向こうに ロケットの飛ぶしくみ 宇宙技術に触れよう	体験装置 模型 模型 体験装置 映像 体験装置 実物資料
素のゾーン	宇宙線を見よう ニュートリノ振動の発見 素粒子を探せ 光電子増倍管 素粒子反応の写真 粒子が生まれた瞬間 立体周期表 新元素の発見 シリコンインゴット 元素の周期性 三並義忠の発明と技術 磁力カッター 磁石くるり 弾性ボールと非弾性ボール 液晶シート 制振銅板 物の質 磁石開発に携わった日本人科学者10人	実物資料 パネル 模型 実物資料 実物資料 実物資料 実物資料 実物資料、パネル 体験装置 パネル 実物資料 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 パネル

ゾ ー ン	展 示 物	内 容
動のゾーン	エネルギー変換五種競技 パラボラ コロコロレール だんだん段ボール 輪軸 てこ 滑車 ソリとコロ リニアモーターカー ストロボの部屋 光でお絵かき	体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 映像 体験装置 体験装置

ウ 産業館

産業館は、主に基幹産業と伝統産業の展示に分かれており、それぞれ実物、模型、グラフィック、映像、産業史年表などによる展示を行っている。令和元年度は基幹産業ゾーンの鉱業コーナーに「型銀秤量器」の展示を追加した。

(ア) 伝統産業ゾーン

愛媛県指定の伝統的特産品のうち「手すき和紙」「水引・水引製品」「桜井漆器」「菊間瓦」「伊予かすり」「竹工芸品」「砥部焼」「かまぼこ」の8業種を取り上げて展示している。伝統産業の製造工程を紹介する映像コーナーも設けている。

(イ) 基幹産業ゾーン

「農林水産」「製紙」「造船」「鉱業」「交通運輸」「繊維」「石油・化学・電力」「機械・金属」の8コーナーに分けて展示している。愛媛の基幹産業のあゆみがわかる産業史年表、模型と映像を組み合わせたファンタビュー映像、実物などにより多角的な展示をしている。

「農林水産」コーナーでは、耒摺機などの農機具、真珠養殖、漁法についての模型及びファンタビュー映像、戦車こぎ網などの漁具、船舶用ディーゼルエンジン、枝打ちロボット、仙波式手回し選果機、みかん選果機などを展示している。「製紙」のコーナーでは、紙以前の書紙材料であるパピルス及びパーチメント、紙の伝搬経路図、和紙原料叩解機、回転式三角乾燥機、ツインワイヤー抄紙機の模型などを展示し、製紙技術及び歴史について解説している。「造船」のコーナーでは、自動車専用運搬船、オイルタンカー、冷凍船などの模型、プロペラ翼の傾きが変わる様子が見られる実物大の可変ピッチプロペラ、造船技術の進歩が見られるファンタビュー映像を展示し、造船の歴史及び技術について紹介している。「鉱業」のコーナーでは、別子銅山及び市之川鉱山について、別子1号機関車の模型、ダイナマイトの発破状況再現、輝安鉱などを展示紹介している。「交通運輸」のコーナーでは、愛媛県の交通運輸について紹介し、坊っちゃん列車、人力車、水中翼船、YS-11の模型の展示のほか、列車展望映像の上映もしている。「繊維」コーナーでは、ジャカード機とタオル自動織機、アキュムレーター、タオル製品、化学繊維などを展示している。「石油・化学・電力」のコーナーでは、電力供給の移り変わりの解説、菊間地下石油備蓄基地の模型を展示している。「機械・金属」のコーナーでは、直立枝型ボール盤、ベルト掛け旋盤、ペローズ成型機などとともに、県内企業の先端技術が生かされたF3000レーシングカーを紹介している。

(ウ) 産業館展示内容

ゾーン	テーマ	項目
オリエンテーション ホール	産業の概要	愛媛産業マップ
伝統産業ゾーン	伝統産業	伝統産業
基幹産業ゾーン	農林水産	稲作 真珠養殖 漁業・漁法 林業 みかん栽培
	製紙	紙の発明 和紙 洋紙
	造船	造船
	鉱業	別子銅山 別子鉱山鉄道 市之川鉱山
	交通運輸	鉄道運輸 自動車運輸 海上運輸 航空輸送
	繊維	製糸 綿紡績 タオル 化学繊維
	石油・化学・電力	電力 石油 化学
	機械・金属	機械・金属

エ 屋外展示

転炉、水車と発電機などの大型展示物を配し、展示機能と自由なくつろぎの場としての機能を兼ね備えている。

ゾ ー ン	テ ー マ	項 目
屋外	鉱業	グレイト・フォールズ型転炉 カラミ電車
	電力	水車と発電機 タービンローター タービンケーシング
	機械・金属	アンモニア圧縮機
	太陽光発電	太陽光発電装置

オ 令和元年度
常設展示更新箇所

展 示 物	展 示 場 所	区分
ゴミアシナガサシガメ標本	自然館・愛媛のゾーン	新設
セアカゴケグモ液浸標本	自然館・愛媛のゾーン	新設
コウノトリ映像	自然館・愛媛のゾーン	改修
石鎚山系のよく似た樹木	自然館・愛媛のゾーン	新設
三並義忠の発明と技術	科学技術館・素のゾーン	新設
元素の周期性	科学技術館・素のゾーン	新設
スーパーコンピュータ「京」	科学技術館・伝のゾーン	新設
逆遠近錯視	科学技術館・サブゾーンふしぎアベニュー	新設
型銀秤量器	産業館・基幹産業のゾーン	新設

カ 実験ショー

開始時間 学校休業日(13:00～、15:00～)GWとお盆(11:00～、13:00～、15:00～)

タイトル	開催時期	内 容
びっくり！水パワー！ 平成31年4月13日～ 令和元年7月7日	平日1回 学校休日2回 GW期間3回 (実験回数69回) (総観客数 3,879人)	一円玉を水に浮かせる実験、しょうのう舟など、水面に働く「表面張力」によって起こる現象や遊びを紹介した。また、温度によって水の状態が変わることを説明し、100度で水蒸気となり、さらに熱すると過熱水蒸気となり200度以上のハイパワーとなることを、加熱水蒸気でマッチに火をつける実験、紙を燃やす実験を行って説明した。
超超ビックリ超伝導 令和元年7月13日～ 10月6日	平日1回 学校休日2回 お盆期間3回 (実験回数82回) (総観客数3,486人)	低温になると見られる興味深い現象や超伝導状態で見られるマイスナー効果、ピン止め効果など、電気と磁石の関係を使って実験をとおして視覚的に説明した。薄い超伝導体を使って超伝導ジェットコースターの実験も行った。 お盆時期にはNIMSの協力のもと、多量の超伝導体を使って、ピン止め効果で人体が浮上する体験実験も行った。
永久磁石のサイエンス 令和元年10月12日～ 令和2年1月5日	平日1回 学校休日2回 (実験回数 72回) (総観客数2,536人)	よく使用される4種類の永久磁石や磁石開発へ貢献した日本人科学者の紹介を行い、巨大ネオジム磁石による磁力線の観察、渦電流発生演示などの体験型実験を通して、永久磁石のサイエンスについて理解を深めた。永久磁石の応用例としてガウス加速器や空き缶磁選機、コイン選別機、リニアモーターカーも紹介した。
グルグル！カタカタ？ 歯車&カムの大実験 令和2年1月11日～ 4月12日	平日1回 学校休日2回 (実験回数69回) (総観客数 1,346人)	機械の中で使われている歯と歯をかみ合わせて動きを伝える歯車や凸凹の円盤を回転させて別の動きに変えるカム、摩擦を少なくして回転をスムーズにするベアリング(軸受け)がどのような用途に使われていて、どのような動きを作り出しているのかその仕組みを実験で紹介した。

実施回数合計 292回 観覧者合計 11,247人

(2) 特別展示

特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」

期 間	令和元年7月13日(土)～9月1日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	39,589人
観 覧 料	大人(高校生以上) 700円・65歳以上600円・小中学生400円
担 当	藤本 光章
趣 旨	さまざまな機械に組み込まれた歯車やカム、軸受(ベアリング)などの機械要素について体験展示や作家作品を通して紹介した。複雑な機構の生み出す楽しい動きや木や紙で作られた素材のぬくもり、作家たちの作品に込められたユーモアに触れながら、ものが動く仕組みを学ぶことを目的とした。
内 容	歯車やカムなどが組み合わさることでユーモアのある動きを見せてくれる現代のからくり作品を展示し、ものの動く仕組みやしかけを紹介した。 (1) 動く木のおもちゃ からくり作家の木のからくり作品を実際に触れて動かす。 (2) ぐるぐる工房 大小の歯車を自由に組み合わせて動かす体験やカムやベアリングを体験できる。 (3) ピタゴラン タブレットの画面をなぞってさまざまなしかけの動きを体験する。 (4) からくりミュージアム からくり作家が製作した動くからくり作品を紹介する。 (5) 動くペーパークラフト 紙や段ボールで作られたペーパークラフトの作品を紹介。 (6) コログラッドに挑戦！ 木球を操りながら障害物を避けてゴールを目指す巨大なゲーム盤を体験。
関 連 事 業	・大漁！スピナー釣り堀 ・ピョコピョコおもちゃ ・オリジナル歯車アクセサリーを作ろう ・みんなdeドミノ ・からくりペーパークラフト「ペンギン爆弾」を作ろう ・ペーパーからくり「羽ばたく鳥」を作ろう ・モーター動力の「GOGOペガサスを作ろう！」 ・貯金箱ロボットを作ろう！

(3) 企画展示等

ア 企画展「こわいものみたさ～恐怖を科学する～」

期 間	平成31年4月20日(土)～令和元年6月23日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	21,890人
観 覧 料	大人(高校生以上) 600円・65歳以上500円・小中学生400円
担 当	西下修作、角田ゆりあ (指定管理者：伊予鉄総合企画㈱)
内 容	「これは怖いから、見てはいけないよ」と禁止されているからこそ、その内容が気になってしまい、どうしても見たくなくなってしまう展示内容にした。映像ホラー展示を中心に、感性を働かせて、“ちょっとこわいけど確認してみたい”そんな不思議な感覚を体感してもらった。 ・暗闇で変になる体 ・ブラックボックス ・船内の通路にさまよう亡霊たち ・呪いを解くためのミッション ・関連イベント～こわいものつくり～

関 連 事 業	ワークショップ ・「こわい?!ビーズストラップ」 ・光るおばけ
---------	---------------------------------------

イ テーマ展「越智勇一という人」

期 間	平成31年4月27日(土)～令和元年5月26日(日)
会 場	常設展示3階廊下
観 覧 者 数	27,311人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	稲葉 正和
内 容	愛媛県出身の獣医学者で、獣医学教育の発展に尽力した越智勇一先生について紹介する展示をした。越智先生が提唱した「自発性感染説」について紹介した。越智先生と俳人芝不器男との松山高校時代の交流についても紹介した。

ウ 企画展「別子銅山・東平の思い出」

期 間	令和元年10月26日(土)～12月1日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	7,584人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	吉村 久美子
内 容	別子銅山が閉山する前の東平地区の写真等を展示し、人々はどのような暮らしをしていたのか、どのような方法で銅鉱石を採掘・運搬していたのか、その暮らしと仕事を紹介した。
関 連 事 業	・トークイベント「懐かしい別子銅山・東平での仕事と暮らし」 ・高校生による解説「東平を学ぼう！」 ・専門講座「別子銅山での採掘・運搬方法について」 ・学芸員による展示解説 ・フォトブック「別子銅山・東平の思い出」販売 ・ワークショップ「銅箔ギルディングクラフト☆ハンギングフォトづくり」

エ 巡回展「国際周期表年2019特別展」

期 間	令和元年12月14日(土)～令和2年1月26日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	10,178人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	久松 洋二
内 容	国際周期表年実行委員会による巡回展で、周期表の変遷や周期表作家作品の紹介、元素の科学を楽しむ実物資料や体験展示により周期表と元素のヒミツを楽しく学習できる展示。愛媛オリジナルの資料も併せて紹介。本巡回展は前年度当館で開催した企画展「元素のマトリクス」がベースとなっている。
関 連 事 業	・元素検定スペシャル@愛媛 ・科学講演会「一家に1枚周期表に込めた思い」 ・坂根教授の周期表とっておき話 ・ところ実験クラブの元素工作教室 ・理化学研究所のニホニウム模型をつくろう ・周期表スタンプラリー ・周期表で記念撮影して元素グッズをゲットしよう！ ・謎解き巡回展 ふたたびメンデレーカハクンからの挑戦状 ・きれいな石のつかみとり

オ 企画展「自然を記録しよう！ 標本の作り方」

期 間	令和2年2月22日(土)～4月5日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	5,012人(「理科室の宝物～学校収蔵標本から地域の自然を再考する～」と企画展示室を半面ずつ使用し同時開催)
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	小林 真吾
内 容	様々な分野、種類の自然史標本を展示し、標本の種別や作成方法の違い、自然史標本から読み取れる情報について解説したほか、本格的な標本作成用具と100均グッズを用いた自然観察用具、標本作成方法を解説した書籍を紹介した。
関 連 事 業	・学芸員による展示解説 ・大人のための科学講座「ギャラリートーク」 ・チリメンモンスターをさがそう

カ 企画展「理科室の宝物～学校収蔵標本から地域の自然を再考する～」

期 間	令和2年2月22日(土)～4月5日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	5,012人(企画展「自然を記録しよう！ 標本の作り方」と企画展示室を半面ずつ使用し同時開催)
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	稲葉 正和
内 容	学校に収蔵されている特別天然記念物に指定されている生物の標本や環境省レッドリストで絶滅危惧種に指定されている生物の標本を展示した。かつて教員や生徒によって採集され、学校に保存されていた愛媛県産の自然史標本を活用して、地域の自然環境の変遷を研究した事例について紹介した。また、俳人芝不器男、富澤赤黄男が遺した植物標本を展示し、自然史標本を文化財として楽しむ視点を提案した。
関 連 事 業	・学芸員による展示解説(コロナウイルスの拡散防止のため中止) ・大人のための科学講座「ギャラリートーク」(同 中止) ・骨のナンバー描きと標本箱作り(同 中止) ・魚類を中心とした海洋生物のプラスチック標本を触ってみよう(同 中止)

キ ノーベル賞受賞記念展示「リチウムイオン二次電池の発明」

期 間	令和元年12月7日(土)～令和2年3月31日(火)
会 場	常設展示3階廊下
観 覧 者 数	27,174人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	藤本 光章
内 容	2019年ノーベル化学賞を受賞した旭化成名誉フェロー吉野彰氏の受賞を記念して、現在さまざまな分野で活躍しているリチウムイオン二次電池に関する展示や吉野彰氏の業績を紹介した。

ク パネル巡回展「金星探査機「あかつき」」

期 間	令和元年10月26日(土)～12月1日(日)
会 場	常設展示3階廊下
観 覧 者 数	10,717人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	指定管理者(伊予鉄総合企画(株))
内 容	2010年の金星周回軌道投入の失敗を乗り越え、5年後の再挑戦で軌道投入に成功した「あかつき」。日本初の金星探査機「あかつき」からの最新報告を紹介した。

ケ 巡回展「森に親しむ博物館」開催事業

森にすんでいる生き物の多様性を通して、森林の大切さを多くの県民に知ってもらうため、県内3か所で巡回展を開催した。野外での生育状態を再現した植物レプリカを3点新規作成し展示した。(森林環境税充当事業)

区 分	会 場	期 間	観覧者数 (人)
南予会場	宇和島市立伊達博物館(宇和島市)	令和元年7月13日(土)～8月4日(日)【21日間】	907
中予会場	坂の上の雲ミュージアム(松山市)	令和元年8月10日(土)～9月1日(日)【22日間】	8,242
東予会場	愛媛県総合科学博物館(新居浜市)	令和元年10月12日(土)～11月3日(日)【20日間】	11,633
計		20,782名 【開催日計63日間】	

関連イベント

(ア) ミュージアムツアーの開催

科博学芸員による展示解説及び会場周辺の自然観察を行った。

3会場合計 159名

(イ) 工作イベントの開催

科博において木の葉やドングリ等を材料にした工作イベントを年2回開催した。

5月4日 葉っぱで遊ぼう！ 544人

11月3日(開館記念日) タネで遊ぼう！ 1,704人

合計 2,248人

4 教育普及事業等

(1) 博物館講座の開催

自然、科学技術、愛媛県の産業等について理解を深める場として、次の博物館講座を開催した。

ア 自然観察会

実施状況 対象／小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員／①④⑤⑥⑦⑧⑨⑩30名、②③25名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					乳幼児 小学生	中高生	大 人	受講者
平成31年 4月14日(日)	①「タンポポの観察」	13:30～14:00	博物館周辺	14	13	0	12	25
令和元年5月 18日(土)	②「ツガザクラを観に行こう」	8:00～17:00	新居浜市別子山	25	0	1	17	18
5月19日(日)	③「活断層を歩く～重信断層～」	10:30～12:30	松山市南梅本町 東温市高井	25	10	0	12	22
6月30日(日)	④「水生昆虫の観察」	9:00～12:00	菖蒲堰キャンプ場 (東温市)	天候不良のため中止				
7月6日(土)	⑤「夜の海辺の生き物ウォッチング」	18:30～21:00	鴨池海岸 (今治市大西町)	116	12	0	13	25
8月1日(木)	⑥「海辺の生き物ウォッチング1」	14:00～17:00	鴨池海岸 (今治市大西町)	57	14	1	14	29
8月2日(金)	⑦「夜の虫ウォッチング」	19:30～21:00	博物館周辺	70	12	1	11	24
8月17日(土)	⑧「夏のブナ林を歩く」	10:30～15:30	皿ヶ嶺(東温市)	48	6	0	16	22
9月15日(日)	⑨「海辺の生き物ウォッチング2」	14:30～17:30	鴨池海岸 (今治市大西町)	101	11	0	11	22
10月14日(月祝)	⑩「渡るチョウの観察」	10:00～12:00	第1研修室、 博物館周辺	20	7	0	6	13
合 計	10講9回開催			476	85	3	112	200

イ 親子自然教室

実施状況 対象／小学生とその保護者
定員／12組24名

開講日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					乳幼児 小学生	中高生	保護者	受講者
令和元年 6月15日(土)	①顕微鏡で探そう！きれいな鉱物	10:30～12:00	科学実験室	94	12	0	11	23
7月7日(土)	②葉っぱ図鑑をつくろうA・B	A 10:00～12:00 B 13:30～15:30	科学実験室、 博物館周辺	88	19	0	18	37
7月27日(土) 7月28日(日) 8月4日(日)	③昆虫の標本をつくろうA班	10:00～12:00	博物館周辺 科学実験室	54	11	0	13	24
7月27日(土) 7月28日(日) 8月4日(日)	③昆虫の標本をつくろうB班	7月27日 10:00～12:00 7月28日、8月4日 A 10:00～12:00 B 13:30～15:30	博物館周辺 科学実験室	16	14	0	12	26
8月25日(日)	④レプリカをつくろう！ アンモナイト&三葉虫	13:30～15:30	科学実験室	118	12	0	14	26
合 計	4講座6回開催			349	68	0	70	138

ウ 天体観望会

実施状況 対象／小学生以上（小学生は保護者同伴）
定員／①④⑤20名、②③⑥各15名

開講日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					小学生	中学生	大人	受講者
令和元年 5月11日(土)	①春の星座と月	20:00～21:30	天文台、第1研修室	83	11	0	17	28
7月27日(土)	②夏の星座と木星・土星Ⅰ	A 20:00～20:40	A班：天文台、 第1研修室	93	7	0	11	18
		B 21:00～21:40	B班：プラネタリウム、 オリエンテーションル ーム		7	0	9	16
8月31日(土)	③夏の星座と木星・土星Ⅱ	A 20:00～20:40	A班：プラネタリウム、 第1研修室	71	6	0	8	14
		B 21:00～21:40	B班：プラネタリウム、 オリエンテーションル ーム		6	0	9	15
10月5日(土)	④秋の星座と月・土星	19:30～21:00	プラネタリウム、 第1研修室	57	4	0	6	10
11月3日(日)	⑤秋の星座と月	19:30～21:00	プラネタリウム、 第1研修室	18	6	0	10	16
1月18日(土)	⑥太陽と金星	13:00～14:00	天文台 オリエンテーションル ーム	24	6	0	10	16
合 計	6講座8回開催			346	53	0	80	133

エ 科学実験教室

実施状況 対象／①小学1年生～中学生、②小学1年生以上（保護者同伴の場合は幼児でも可）
③小学3年生～高校生と保護者（小中学生は保護者同伴）
④⑤小学3年生～中学生
定員／①④⑤20名、②25名、③50名

開講日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					幼児・ 小学生	中学生	大人	受講者
令和元年 6月29日(土)	①水のおもしろサイエンス～表面 張力のふしぎを探ろう～	13:30～15:30	科学実験室	49	20	0	9	29
7月24日(水)	②スーパージャンボシャボン玉に チャレンジ！A	13:30～15:00	屋外展示場	63	14	0	9	23

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					幼児・ 小学生	中学生	大 人	受講者
8月30日(金)	②スーパージャンボシャボン玉に チャレンジ！B	13:30～15:30	屋外展示場	34	6	10	9	25
8月3日(土)	③身の回りの放射線測定体験教室	9:30～15:00	第1研修室	51	26	0	24	50
9月28日(土)	④日光写真(青写真)でオリジナル エコバッグを作ろう	13:30～16:30	科学実験室	22	10	0	9	19
11月16日(土)	⑤気象の科学実験～雲や虹、夕焼け をつくってみよう～	13:30～15:30	科学実験室	24	14	0	0	14
合 計	5講座6回開催			243	90	10	60	160

オ 科学工作教室

実施状況 対象／①②③小学3年生～中学生

④小学1年生～中学生

⑤小学4年生～中学生

定員／20名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					乳幼児 小学生	中学生	大 人	受講者
令和元年 5月11日(土)	①ペットボトルロケットを作っ て飛ばそう	10:30～15:00	科学工作室 屋外臨時駐車場	44	19	2	0	21
7月23日(火)	②UVレジンで歯車アクセサリ を作ろう	13:30～16:30	科学実験室	5	3	1	0	4
8月24日(土)	③水上をスイスイ進む！ホバ ークラフトを作ろう	13:30～16:30	科学実験室 科学工作室	25	16	1	0	17
10月26日(土)	④万華鏡でサイエンス ～フラ ワー万華鏡作り～	13:30～15:00	科学工作室	18	12	1	5	18
令和2年 2月15日(土)	⑤エコ充電器をつくろう(電子工 作)	13:30～16:30	科学工作室	27	12	0	1	13
合 計	5講座5回開催			105	50	5	5	73

カ 大人のための科学講座

実施状況 対象／①④高校生以上(子どもの見学可) ②高校生以上(小中学生の同伴可)

③高校生以上 ⑤小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員／①④⑤20名、②③15名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					未就学児	小学生	大 人	受講者
令和元年 6月1日(土)	①大人のためのガラス講座 ～サンドブラストで素敵な オリジナルグラスの作成～	13:30～15:30	科学工作室	17	0	4	13	17
9月7日(土)	②大人の楽しみ！とび出しす ぎる大型恐竜カードの工作	13:30～15:30	科学工作室	19	5	0	10	15
10月19日(土)	③植物の見分けポイント！	14:00～16:00	松山市都市環境 学習センター	11	0	0	7	7
11月9日(土)	④万華鏡ワークショップ「世 界に1つだけオイル式オリ ジナル万華鏡の製作」	13:30～15:30	科学工作室	30	0	0	0	19
令和2年 3月7日(土)	⑤企画展「理科室の宝物－学 校収蔵標本から地域の自然 を読み解く－」ギャラリート ークA	13:30～15:30	企画展示室 第1研修室	新型コロナウイルス感染症予防 および拡散防止の為、中止				
3月15日(日)	⑤企画展「理科室の宝物－学 校収蔵標本から地域の自然 を読み解く－」ギャラリート ークB	13:30～15:30	企画展示室 第1研修室	新型コロナウイルス感染症予防 および拡散防止の為、中止				
合 計	5講座4回開催			77	5	4	30	58

キ 産業講座

実施状況 対象／①小学5年生以上（小学生は保護者同伴）
②③小学生以上（小学生は保護者同伴）
定員／①20名、②30名、③40名

開講日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					小学生	中学生	大 人	受講者
令和元年 8月31日(土)	①日本一の紙のまち 四国中央市を訪ねて	10:00～15:00	愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター・協和紙工株式会社(四国中央市)	16	2	0	14	16
10月13日(日)	②宇和島九島で海について学ぼう～マダイ養殖見学・九島海岸の生物観察～	10:00～15:30	宇和島市 九島、九島沖	外部講師の都合により中止				
1月25日(土)	③来島海峡について学ぼう～海上交通について学び小島要塞跡を巡ろう～	9:45～17:30	今治市(来島海峡、大島亀老山展望台、小島(小島要塞跡))	18	4	0	14	18
合 計	3講座2回開催			34	6	0	28	34

ク かんたん実験工作教室

実施状況 対象／幼児～大人
定員／30～50名程度

開講日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数(人)			
					乳幼児	小学生	その他	受講者
令和元年 9月8日(日)	①プラ板キーホルダーを作ろう	13:30～15:30	エントランスホール	62	33	25	4	62
11月10日(日)	②チリメンモンスターをさがそう	13:30～15:30	エントランスホール	19				
令和2年 1月12日(日)	③鳥凧を作ろう	13:30～15:30	オリエンテーションルーム	35				
3月8日(日)	④オリジナルキャンドルを作ろう	13:30～15:30	エントランスホール	13				
合 計	4講座4回開催			129	33	25	4	129

(2) 博物館資料の特別利用及び館外貸出

特別利用 計26件 103点

	資料名	点数	利用の方法・目的	申請者	許可日
1	解説グラフィックスデータ(万華鏡)	17	パネルを製作し巡回展において展示	アートカレイドス コープジャパン	平成31年4月26日
2	鉱物標本(沸石類)	18	撮影し特別展パネル・印刷物に掲載	面河山岳博物館	令和元年5月16日
3	画像(小川正孝肖像)	1	新聞紙上に掲載	(株)中日新聞社	令和元年5月29日
4	画像(関谷式石油発動機)	1	刊行物「松山百店」へ掲載	松山百店会	令和元年6月5日
5	曾我部右吉 四阪島煙害関連資料	4	撮影・パネル製作し企画展において展示	愛媛県生涯学習センター	令和元年6月14日
6	曾我部右吉 四阪島煙害関連資料	7	撮影・パネル製作し企画展において展示	愛媛県生涯学習センター	令和元年6月14日
7	画像(ライチョウ剥製標本)	1	学術研究に活用し論文に掲載	岩手県立博物館	令和元年7月6日
8	二ホンカワウソ資料	3	撮影しテレビ放映	NHK松山放送局	令和元年7月11日
9	二ホンカワウソ資料	1	撮影しテレビ放映	NHK松山放送局	令和元年7月26日
10	画像(灯船)	1	刊行物「社会科資料集5年」に掲載	(同)ミカブックス	令和元年7月29日
11	哺乳類標本(アズマモグラ標本)	4	閲覧・撮影し学術研究に活用、論文に掲載	個人	令和元年8月7日

	資料名	点数	利用の方法・目的	申請者	許可日
12	画像(灯船)	1	刊行物の関連媒体(CD-ROM)に掲載	(同)ミカブックス	令和元年8月19日
13	画像(三並義忠)	1	新聞記事に掲載	(株)朝日新聞 松山総局	令和元年10月17日
14	画像(三並義忠)	11	テレビ放映	南海放送(株)	令和元年11月8日
15	二ホンカワウソ剥製標本	1	撮影し常設展示室へ出展	岐阜県博物館	令和元年11月13日
16	画像(三並義忠・東芝自動式電気釜)	2	米国流通専門紙「商経アドバイス」に掲載	(株)商経アドバイス 大阪支社	令和元年11月20日
17	画像(小川正孝)	1	新聞記事、デジタルサイトに掲載	(株)朝日新聞 松山総局	令和元年11月23日
18	二ホンカワウソ剥製標本・骨格・毛皮ほか	15	撮影し刊行物「愛南町の動物」に掲載	個人	令和元年11月27日
19	画像(越智勇一関連資料)	4	獣医学部常設展示において展示	岡山理科大学	令和元年12月10日
20	明治期煙害地地図(四阪島煙害関連資料)	1	撮影し常設展示において展示	西条市東予郷土館	令和元年12月18日
21	画像(小川正孝)	2	新聞記事に掲載	(株)朝日新聞 松山総局	令和元年12月27日
22	二ホンカワウソ剥製標本	1	撮影し学会発表資料及び論文に掲載	北里大学	令和2年2月19日
23	画像(船びき網漁)	2	刊行物「ふるさとのからしと産業16」に掲載	愛媛県スポーツ・文化部	令和2年2月21日
24	ライチョウ剥製標本	1	刊行物「剥製標本からわかった生息地」に掲載	岩手県立博物館	令和2年3月2日
25	鳥類骨格標本	1	課題研究「鳥類の骨の進化」に活用	愛媛大学 理学部	令和2年3月2日
26	画像(まき網漁)	1	刊行物「えひめNOW 2020」に掲載	(株)いよぎん地域経済研究センター	令和2年3月11日

館外貸出 計7件 284点

	資料名	点数	貸出し期間及び目的	申請者	許可日
1	二ホンオオカミ頭骨、二ホンカワウソ剥製ほか	9	令和元年6月27日～令和元年8月30日 企画展「手塚治のメッセージ」に展示	鳥取県立博物館	平成31年4月11日
2	二ホンカワウソ剥製・頭骨・糞	3	令和元年6月18日～令和元年9月20日 特別展「絶滅動物研究所」に展示	名古屋市科学館	平成31年4月17日
3	銅鉱石、煙害調査書、四阪島ジオラマ模型ほか	34	令和元年7月11日～令和元年9月30日 夏季企画展「別子銅山の近代化に尽くした偉人たち」に展示	愛媛県生涯学習センター	令和元年6月14日
4	鉱物標本(黄鉄鉱ほか)、昆虫標本(タマムシほか)	170	令和元年7月12日～令和元年9月15日 夏季特別展「ときめく石きらめく虫」に展示	面河山岳博物館	令和元年6月26日
5	風洞実験装置	1	令和元年9月25日～令和元年10月2日 「松山空港空の日フェスタ2019」に展示	国土交通省四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所	令和元年6月27日
6	鉱物資料(黄鉄鉱ほか)、体験装置(パラボラほか)	60	令和元年8月15日～令和元年4月9日 巡回展示 「国際周期表年2019特別展」に展示	(株)科学工業日報社	令和元年8月15日
7	展示パネル、越智勇一先生関連資料	7	令和元年9月13日～令和元年11月27日 秋季企画展示「獣医学の発展に寄与した越智勇一先生」に展示	岡山理科大学	令和元年9月4日

(3) 実験器具と標本セット貸出 計25件

学習支援活動の一環として、子ども団体や児童館、学校などに実験器具や実物標本の貸し出しを行った。貸出先の数の内訳は、幼稚園1件、小学校10件、中学校2件、高校1件、教育委員会（放課後こども教室など）2件、公民館・児童館4件、その他5件である。

	資 料 名	貸出期間	利用目的	貸出先団体名
1	化石レプリカ製作セット	令和元年5月15日～ 令和元年5月21日	体験授業	雲雀丘学園小学校
2	シャボン玉実験セット	令和元年5月17日～ 令和元年5月24日	放課後子ども教室	東温市教育委員会生涯学習課
3	シャボン玉実験セット	令和元年5月31日～ 令和元年6月14日	幼児教室	西条児童館
4	シャボン玉実験セット	令和元年6月18日～ 令和元年6月22日	科学クラブ	新居浜市立宮西小学校
5	空気砲実験セット、昆虫 標本1,2,3	令和元年6月13日～ 令和元年6月26日	理科の授業	西条市立石根小学校
6	シャボン玉実験セット	令和元年7月7日～ 令和元年7月9日	子育て支援イベント	四国中央市子育て支援センター
7	シャボン玉実験セット	令和元年7月15日～ 令和元年7月19日	幼稚園行事	高縄幼稚園
8	化石レプリカ製作セット	令和元年8月3日～ 令和元年8月13日	レッツエンジョイ サイエンス	上島町立弓削中学校
9	空気砲実験セット	令和元年8月23日～ 令和元年8月30日	夏のイベント	新居浜市障がい者福祉センター
10	空気砲実験セット	令和元年9月15日～ 令和元年9月21日	科学クラブ	新居浜市立宮西小学校
11	化石標本A	令和元年9月16日～ 令和元年9月30日	体験授業他	川崎市立犬蔵中学校
12	化石レプリカ製作セット	令和元年10月9日～ 令和元年10月22日	小学生クラブ	新居浜市立瀬戸児童館
13	化石レプリカ製作セット	令和元年10月25日～ 令和元年10月27日	青少年のための科 学の祭典	愛媛県立伊予高等学校
14	シャボン玉実験セット	令和元年10月25日～ 令和元年10月28日	生協まつり	コープえひめ生協まつり実行 委員会
15	空気砲実験セット	令和元年10月31日～ 令和元年11月3日	子育て交流イベント	ここてらすこまつ
16	化石レプリカ製作セット	令和元年11月3日～ 令和元年11月10日	6年生理科の授業	四国中央市立土居小学校
17	シャボン玉実験セット	令和元年11月7日～ 令和元年11月12日	惣開校区文化祭	惣開公民館
18	化石標本A・B、化石レ プリカ製作セット	令和元年11月18日～ 令和元年11月29日	6年生理科の授業	西条市立庄内小学校
19	化石レプリカ製作セット	令和元年11月23日～ 令和元年12月1日	理科実験クラブ	四国中央市立松柏小学校
20	化石レプリカ製作セット	令和元年12月5日～ 令和元年12月19日	6年授業・クラブ 活動	大阪府茨木市立白川小学校
21	静電気実験セット	令和元年12月20日～ 令和元年12月23日	ワクワク体験教室	愛南町教育委員会
22	静電気実験セット	令和2年1月15日～ 令和2年1月23日	科学大好きっ子に なろう	東予科学遊びを楽しむ会
23	空気砲実験セット	令和2年1月20日～ 令和2年1月24日	科学クラブ	松山市立小野小学校
24	静電気実験セット	令和2年1月31日～ 令和2年2月2日	田野地区文化祭	田野公民館
25	静電気実験セット	令和2年2月3日～ 令和2年2月6日	科学クラブ	新居浜市立宮西小学校

(4) 学校教育との連携

当館では、学校教育との連携という考えから、学校団体をスムーズに受け入れ、また博物館教育の効果を上げるため、下記の事柄を実施している。

ア 学校団体の受付及び管理

(ア) 学校団体利用の手引の作成と送付

四国4県の学校や博物館等に対し、遠足などの来館計画及び予約がスムーズにできるよう、団体利用の手引を作成し送付した。

(イ) 学校団体の受付

	県内	県外	計
小学校	40校 2,659人	32校 2,011人	72校 4,670人
中学校	7校 594人	11校 1,498人	18校 2,092人
中高一貫校	0校 0人	1校 23人	1校 23人
高等学校	16校 1,192人	5校 401人	21校 1,593人
高等専門学校	0校 0人	0校 0人	0校 0人
特別支援学校	14校 325人	3校 54人	17校 379人
その他	67校 2,943人	5校 329人	72校 3,272人
計	144校 7,713人	57校 4,316人	201校 12,029人

※その他は幼稚園等

(ウ) 入館料の減免措置

県内小中高および特殊の学校団体は、常設展示・プラネタリウムが無料。また、平成11年7月より学校団体以外の来館時でも、県内外の小中学生は常設展示室が無料となっている。

イ 印刷物の送付

当館各種事業への参加を促すため、学校現場への広報の一環として、各種事業のポスター・チラシ等を四国内の小・中学校等に送付した。

学校への配付物
・博物館利用の手引き ・各種事業(講座、特別展・企画展、プラネタリウム等)のチラシ、ポスター ・博物館案内リーフレット、年間行事予定 ・博物館だより

ウ 職場体験の受け入れ

学校教育との連携の一環として、インターンシップ(就業体験実習)指導を行った。

(ア) 新居浜市立東中学校(2年生:2名)

期 間:令和元年6月13日(木)、14日(金)、18日(火)、19日(水)、20日(木)

内 容:講座運営補助 等

(イ) 新居浜市立大生院中学校(2年生:1名)

期 間:令和元年6月25日(火)~28日(金)

内 容:講座運営補助 等

- (ウ) 新居浜市立川東中学校（2年生：2名）
期 間：令和元年7月1日（月）、3日（水）、4日（木）、5日（金）
内 容：講座運営補助 等
- (エ) 新居浜市立西中学校（2年生：2名）
期 間：令和元年7月1日（月）、3日（水）、4日（木）、5日（金）
内 容：イベント・講座運営補助 等
- (オ) 愛媛県立新居浜工業高等学校（2年生：3名）
期 間：令和元年11月6日（水）、7日（木）、8日（金）、12日（火）、13日（水）、14日（木）
内 容：イベント準備、プラネタリウム運営補助 等
- (カ) 愛媛県立新居浜南高等学校（2年生：1名）
期 間：令和2年1月28日（火）～30日（木）
内 容：イベント準備、プラネタリウム運営補助 等
- (キ) 新居浜市立中萩中学校（2年生：4名）
期 間：令和2年3月2日（月）～6日（金）（コロナウイルスの拡散防止のため中止）
内 容：イベント準備、運営補助

エ サイエンスミーティング

日 程	令和元年7月27日（土）
会 場	第1研修室及び科学実験室
参加者数	参加者14名（県内校1校・県外校1校）
内 容	プレゼン大会の前日に県内外の中高生の交流を目的として開催した。参加者は愛媛大学教育学部向平和准教授による「フクロウのペリットを解剖し、フクロウの食べ物から森林の生態系について考える」という課題に対して、参加者の混成チームで取り組むワークショップを行った。ワークショップ終了後、中高生と大学教員、大学生、学芸員を交えた意見交換会を開催し、参加者間の交流をはかった。

オ 中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会

日 程	令和元年7月28日（日）
会 場	エントランスホール 多目的ホール
参加者数	出場校24校（県内15校・県外9校）参加者158名
内 容	中高生を対象に科学研究・環境保全・産業に関する研究（啓発活動を含む）の発表大会を開催した。今年度は、県内15校・県外9校の計24校からポスター部門33組、ステージ部門8組の応募があった。各部門から最優秀賞1組・知事賞1組・教育長賞1組・審査員特別賞1組を表彰した。

カ 教員のための博物館の日2019in愛媛県総合科学博物館

日 程	令和元年8月21日（水）
会 場	常設展示室、プラネタリウム、科学実験室、科学工作室、第1研修室
参加者数	27人
内 容	教員対象の博物館研修会を開催。授業と展示をつなぐ館内ツアー、プラネタリウムの授業活用法、授業に役立つ実験等の実演、学習用資料貸出キットの紹介を行った。

キ かはくで授業

平成28年度から、愛媛県立新居浜特別支援学校・新居浜市内小中学校と連携し、博物館で授業を行う「かはくで授業」を実施している。令和元年度は、来館時に学校単位で活用できるワークシートについての情報収集等を行った。

ク 国・県等の学校連携事業

事業名	実施機関	依頼校	実施日	担当学芸員
スーパーサイエンスハイスクール事業	科学技術振興機構(JST)	高知県立高知小津高等学校	4月18日	大西剛・久松洋二・吉村久美子

ケ 館外への派遣

学校（PTAを含む）からの依頼により、学芸員を派遣して出前講座等を実施した。

	派遣回数	資料貸出し
小	26回	10回
中	6回	2回
高	1回	1回
小計	33回	13回
その他	41回	12回
合計	74回	38回

その他：幼稚園、保育園、公民館、児童館、その他団体等

(5) 外部機関・団体との交流事業

ア 派遣

博物館活動の一環として、館外からの依頼等を受けて学芸員等の派遣を行った。

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
4月19日	小林真吾	社会教育・生涯学習施設の見学と理解	上浮穴高等学校	2
5月19日	進悦子	スライムをつくろう！	西条市立氷見小学校	28
5月25日	進悦子	シャボン玉の不思議	放課後等デイサービスみらい	110
5月29日	山根勝枝	田んぼの‘エビ’たちからみる生きものの進化	新居浜生涯学習大学	60
5月31日	大西剛	水生昆虫の観察の指導	新居浜市立大生院小学校	58
5月31日	小林真吾	蒼社川に生息する魚類や昆虫、植物の観察	今治市立常盤小学校	110
6月1日	久松洋二	エッシャーパターン無限の宇宙美の数学	愛媛県美術館	55
6月5日	稲葉正和 久松洋二	収蔵庫見学・常設展見学	愛媛大学教育学部	7
6月8日	進悦子	大気圧実験&空気砲を作ろう	四国中央市立寒川小学校PTA	78
6月15日	稲葉正和	愛媛自然科学教室60周年の歩み	えひめ理科の会	30
6月15日	久松洋二 稲葉正和 近藤菜美子	常設展見学・プラネタリウム学習投影	愛媛大学教育学部	17
7月3日	大西剛	渡り蝶「アサギマダラ」についての学習	今治市立国分小学校	36
7月3日	川又明德	南極と地衣類	新居浜生涯学習大学	48
7月6日	進悦子	シャボン玉の不思議	松前町立岡田小学校PTA	98
7月8日	稲葉正和	身近な昆虫についての講義	愛媛県ペストコントロール協会	133
7月19日	大西剛	案外すんでる！身近な生き物	宇和島市立南予文化会館	20
7月20日	小林真吾	砂浜の動植物の解説	ビーチクリーンしまなみ	49
7月20日	稲葉正和	標本類についての講義	愛媛大学社会連携推進機構	8
7月22日	小林真吾	砂浜の動植物の解説	ビーチクリーンしまなみ	40
7月25日	山根勝枝	愛媛県博物館協会 講演会ワークショップ	愛媛県美術館	40
7月25日	藤本光章	ゴム動力プロペラカーを作って競走しよう	今治地域地場産業振興センター	93
7月25日	進悦子	水のふしぎサイエンス	新居浜市立別子銅山記念図書館	40
7月26日	近藤菜美子	夏の星座の観察と天体望遠鏡をのぞいてみよう	今治朝倉児童館	25

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
7月31日	進 悦子	身近な素材を使った教材の紹介	西条市教育委員会	30
7月31日	藤本光章	からくりランドの大冒険!!～ゆかいなしかけのおもちゃたち～	新居浜生涯学習大学	24
8月2日	進 悦子	おもしろサイエンスマジックショー	新居浜市神郷公民館	100
8月3日	小林真吾 稲葉正和	えひめ生物多様性高校生チャレンジシッ プ	南海放送	30
8月6日	小林真吾	野外調査法・地域分析法・夏季巡検	日本大学文理学部地理学科	25
8月7日	小林真吾	野外調査法・地域分析法・夏季巡検	日本大学文理学部地理学科	25
8月7日	久松洋二	空気砲を作ってみよう	三瓶北公民館	40
8月25日	吉村久美子	明治期四阪島銅製錬の煙害問題を振り返 る	愛媛県生涯学習センター・愛媛 人物博物館	51
8月30日	進 悦子	万華鏡のふしぎ	新居浜市立大生院小学校	120
9月4日	小林真吾	海岸漂着ゴミについて	新居浜生涯学習大学	40
9月6日	吉村久美子	ものづくり体験講座「新居浜の源流とも のづくり産業を見る・聞く・知る」	一般社団法人新居浜ものづくり 人材育成協会(新居浜市立別子 中学校)	17
9月7日	久松洋二	小川正孝と幻の新元素	国際周期表年2019特別展(京都) 実行委員会	100
9月8日	小林真吾	海岸漂着物の観察会	ビーチクリーンしまなみ	40
9月11日	進 悦子	おもしろサイエンスマジックショー	西条市神戸幼稚園	50
9月12日	藤本光章	ペットボトル空気砲作り	西条市立三芳小学校	19
9月13日	久松洋二	職業学習会	西条市立西条東中学校	9
9月14日	藤本光章	磁石の実験	東温市よいの子ども館	30
9月19日	進 悦子	空気パワーの大実験&ペットボトル空気 砲を作ろう!	西条市立大町小学校	86
9月19日	吉村久美子	ものづくり体験講座「紙産業を学ぼう」 四国中央市地域産業を知る	愛媛県紙パルプ工業会・四国中央市 (四国中央市立川之江南中学校)	138
9月23日	久松洋二	ニッポニウム 小川正孝の新元素	名古屋市科学館	58
9月27日	吉村久美子	ものづくり体験講座「紙産業を学ぼう」 四国中央市地域産業を知る	愛媛県紙パルプ工業会・四国中央市 (四国中央市立三島南中学校)	68
9月29日	藤本光章	入浴剤を作ろう	西条市立神戸小学校	30
10月2日	久松洋二	新居浜の発明家 三並義忠	新居浜生涯学習大学	48
10月3日	吉村久美子	ものづくり体験講座「紙産業を学ぼう」 四国中央市地域産業を知る	愛媛県紙パルプ工業会・四国中央市 (四国中央市立三川之江北中学校)	127
10月4日	久松洋二	謎解き!知ってる?私たちの身近な元素	東温市環境保全課	30
10月6日	小林真吾	海岸漂着物の観察会	ビーチクリーンしまなみ	50
10月6日	藤本光章	最強磁石を体験しよう!	四国中央市立三島小学校	30
10月7日	山根勝枝	流れる水のはたらきに関する講義・野外 観察	新居浜市立惣開小学校	60
10月10日	大西 剛	アサギマダラ講座	新居浜市立惣開小学校	63
10月12日	藤本光章	紙飛行機の実験	四国中央市立中曾根小学校	44
10月13日	久松洋二	松山出身の科学者小川正孝	愛媛県生涯学習センター	35
10月18日	大西 剛	渡り蝶「アサギマダラ」のマーキング実 習会	今治市立国分小学校	234
10月19日	久松洋二	第10回 科学体験フェスティバルin大洲	大洲市教育委員会	100
10月20日	小林真吾	漂着ゴミに関する講演・調査	ビーチクリーンしまなみ	50
10月22日	久松洋二	ニッポニウム 小川正孝の新元素	大阪市立科学館	80
10月24日	大西 剛 小林真吾 川又明德 稲葉正和	愛媛県総合科学博物館展示見学ため池の 役割の講義と水生生物の観察	新居浜市立船木中学校	60
10月24日	藤本光章	科学マジック実験ショーとスライム	たから幼稚園	70

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
10月27日	進 悦子	おもしろマジカルサイエンスショー	科学の祭典実行委員会	300
10月30日	大西 剛	自然館(主に愛媛のゾーン)見学	新居浜市立大生院小学校 校長 高橋靖	95
10月30日	稲葉正和	理科室の宝物～学校収蔵標本から愛媛の自然を再考する～	新居浜生涯学習大学	46
11月1日	藤本光章	空気砲実験	西条市立丹原小学校	48
11月1日	進 悦子	不思議な水の科学	愛媛県生涯学習センター	36
11月3日	篠原功治	磁性スライム	伊予市教育委員会事務局社会教育課	100
11月6日	吉村久美子	別子銅山・東平の思い出	新居浜生涯学習大学	46
11月8日	進 悦子	空気パワーの大実験&ペットボトル空気砲を作ろう	四国中央市立長津小学校	34
11月9日	藤本光章	生涯学習“夢”まつり 「からくりランドの大冒険」パネル展示 プチ科学マジックテーブル	愛媛県スポーツ・文化部まなび推進課	150
11月10日	篠原功治	生涯学習“夢”まつり 「からくりランドの大冒険」パネル展示 プチ科学マジックテーブル	愛媛県スポーツ・文化部まなび推進課	150
11月16日	進 悦子	防災科学教室「サイエンスサバイバル術」	四国中央市立小富士小学校	23
11月26日	山根勝枝	地層の観察	新居浜市立惣閑小学校	60
12月4日	進 悦子	空気パワーの大実験&ミニ空気砲を作ろう	新居浜公民館	24
12月7日	進 悦子	不思議なスライムをつくろう	四国中央市立土居小学校	47
12月15日	藤本光章	空気砲実験	公益財団法人伊方原子力広報センター	28
12月26日	稲葉正和	今治・越智冬季理科教育研修会	愛媛県教育研究協議会 今治・越智支部	26
1月18日	進 悦子	科学教室「おもしろサイエンスマジックショー」	四国中央市立川滝小学校	40
1月21日	山根勝枝	新居浜地域に分布する活断層に関する講義	新居浜市中萩公民館	15
1月26日	藤本光章	静電気であそぼう	松山市中央児童センター	26
2月2日	藤本光章	紙飛行機の実験	西条市橘公民館	7
2月16日	山根勝枝	せいよ自然と暮らしのカレッジ 科学で地域をおもしろく！「博物館をどう使う？」	西予市四国西予ジオパーク推進室	16
2月23日	藤本光章	万華鏡の実験と空気砲作り	四国中央市立南小学校	90
2月23日	進 悦子	科学教室「おもしろサイエンスマジックショー」	四国中央市川之江ふれあい交流センター	300

イ 外部機関・団体との交流事業

(ア) (財)日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、四国地区博物館協議会、愛媛県博物館協会等に加盟し、情報交換及び資料提供などを行った。

会 議 名	出席者	開催日	開催地
四国地区博物館協議会理事会・総会	轟 浩二	令和元年5月20日～21日	香川県
全国プラネタリウム大会	小林真吾	令和元年6月3日～5日	福岡県
全国科学館連携協議会総会・研修会	轟 浩二	令和元年6月19日～20日	東京都
日本博物館協会参与会	轟 浩二	令和元年7月2日	東京都
全国博物館長会議	轟 浩二	令和元年7月3日	東京都
全国科学博物館協議会理事会・総会(第1回)	轟 浩二	令和元年7月4日～5日	東京都

会 議 名	出席者	開 催 日	開催地
愛媛県博物館協会理事会・総会	轟 浩二 小林真吾	令和元年7月25日	松山市
日本プラネタリウム協議会中国四国地域ワーキンググループ研修会	小林真吾	令和元年10月15日	香川県
全国科学館連携協議会 国内研修	篠原功治	令和元年10月17日～18日	東京都
日本プラネタリウム協議会全国研修会	小林真吾	令和2年2月3日～5日	香川県
全国科学博物館協議会理事会・総会(第2回)	指定管理者 森本忠嗣 山本未来	令和2年2月13日～14日	高知県
愛媛県博物館協会職員研修会	小林真吾	令和2年2月27日	松山市

あわせて各学芸員が加入している学会の大会等に参加し、情報の交換を行うとともに今後の研究の参考とした。

大会・集会名	出席者	開 催 日	場 所
30 th Annual Meeting of Cetology Study Group of Japan	稲葉正和	令和元年6月8日～9日	東京都
日本鱗翅学会第66回大会	大西 剛	令和元年11月8日～10日	大阪府
日本爬虫両棲類学会第58回大会	稲葉正和	令和元年11月23日～24日	岡山県
全国理工系学芸員展示研究大会	久松洋二	令和元年11月26日～28日	沖縄県
第10回極域科学シンポジウム	川又明德	令和元年12月3日～5日	東京都
International Year of the Periodic Table of Chemical Elements Closing Ceremony	轟 浩二 久松洋二	令和元年12月5日	東京都
日本動物学会中国四国支部愛媛県例会	稲葉正和	令和元年12月14日	松山市
第27回日立サイエンスショーフェスティバル	進 悦子	令和2年2月16日～17日	茨城県

(イ) 愛媛自然科学教室

昭和34年4月に愛媛県立博物館（松山市堀之内）の開館にあわせて発足した。平成21年に愛媛県立博物館の閉館を受けて事務局を愛媛県総合科学博物館に移管した。発足当時から会誌「愛媛の自然」を毎月1回発行しており、令和2年4月現在で第62巻第1号（通巻733号）に達している。県下3カ所（今治・松山・宇和島）にある自然科学教室が開催している小学生を対象とした観察会のための資料として利用されている。毎年6月には総会を開催している（令和元年は6月21日に開催）。

(ウ) 来館困難者のための講師派遣

日常、博物館に来館することが困難な方を障がい・疾病を有する方々に向け、施設等に出向き、状況に応じて科学教室の講師派遣を行った。

実施日	派遣職員	内 容	依 頼 機 関
12月7日	藤本光章	チリン？ブーブー！音のふしぎ実験ショー	放課後デイサービス みらい
1月5日	進 悦子	サイエンスマジックショー	愛媛県子ども療育センター
1月22日	藤本光章	空気砲で遊ぼう	新居浜特別支援学校
1月24日	進 悦子	シャボン玉実験教室	新居浜特別支援学校
2月26日	進 悦子	サイエンスサバイバル術	新居浜特別支援学校

(エ) 視察の受け入れ

視察のため来館した外部機関・団体に対し、博物館の概要説明、案内等を行った。

来館日	団 体 名	人数
6月4日	愛媛大学コンソーシアム	11
6月15日	愛媛大学コンソーシアム	17
10月10日	J I C A岡山大学教育学部(アフリカ教員)	32
10月27日	愛媛大学博物館学	13
1月26日	高知工科大学博物館学	4
2月28日	國學院大學博物館学講座	42

(オ) 「ぐるっとにいはまマル得周遊事業スタンプラリー」への参加

新居浜市内にある観光、学習9施設が連携し、割引や特典サービスを提供する「ぐるっとにいはまマル得周遊事業スタンプラリー」に参加し、施設間の周遊強化を図った。(H31年4月27～令和2年11月24)

ウ 調査への協力

(ア) 委員会等への協力

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
轟 浩二	愛媛大学GSCコンソーシアム学外委員	愛媛大学
轟 浩二	新居浜市総合文化施設及び美術館協議会	新居浜市
轟 浩二	東予歴史文化資源活用市町連携協議会 委員	愛媛県東予地方局
市川和夫	新居浜市E S D推進事業協議会	新居浜市
市川和夫	西条スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	愛媛県立西条高校
小林真吾	えひめの生物多様性保全推進委員会専門部会委員	愛媛県県民環境部
小林真吾	松山市希少動植物保護対策専門委員	松山市
小林真吾	今治環境パートナーシップ会議委員	今治市
市川和夫 山根勝枝	四国西予ジオパーク推進協議会アドバイザー	四国西予ジオパーク 推進協議会
山根勝枝 進 悦子	愛媛県美術館・博物館・小中学校共働人材育成事業実行委員	愛媛県美術館
稲葉正和	中高生の科学研究実践活動推進プログラム評価委員	愛媛県総合教育センター
久松洋二	国際周期表年実行委員会 専門部会 副部会長	国際周期表年実行委員会

(イ) 外部との合同調査・共同研究等

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
川又 明德	昭和基地周辺地衣類の多様性について	国立極地研究所
稲葉 正和	科学系社会教育施設の活用を目指した教育コンソーシアム事業	愛媛大学教育学部

(ウ) その他の協力等

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
市川 和夫	新居浜市小・中学生ふると学習奨励賞 審査員	新居浜市教育委員会
市川 和夫	新居浜市小・中学生科学奨励賞 審査員	新居浜市教育委員会
市川 和夫	科学の甲子園ジュニア 愛媛大会 審査員	県教委義務教育課
大西 剛	日本鱗翅学会四国支部 評議員	日本鱗翅学会
小林 真吾	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省
小林 真吾	日本プラネタリウム協議会教育担当委員	日本プラネタリウム協議会
小林 真吾	愛媛県環境マイスター	愛媛県県民環境部
小林 真吾	愛媛資料ネット委員	愛媛資料ネット
小林 真吾	新居浜市海洋教育パイオニアプログラム	新居浜市教育委員会
小林 真吾 川又 明德	愛媛県野生動植物保護推進員	愛媛県県民環境部
小林 真吾 川又 明德	愛媛県生物多様性アドバイザー	愛媛県県民環境部
小林 真吾 川又 明德	特定希少野生動植物トキワバイカツジ保護管理事業計画検討会	愛媛県県民環境部
小林 真吾 稲葉 正和	えひめの生物多様性まるとフェスタ	愛媛県県民環境部
川又 明德	石鎚山系生物多様性保全推進協議会 調査員	愛媛県県民環境部
川又 明德	日本地衣学会地域活性化委員、編集委員	日本地衣学会
久松 洋二	博物館学 非常勤講師	高知工科大学
久松 洋二	科学体験フェスティバルin 大洲	大洲市教育委員会
吉村久美子	東予歴史文化資源活用市町連携協議会 担当	愛媛県東予地方局

(6) 主催・共催事業

1) 企画展「こわいものみたさ」関連ワークショップ「こわい?!ビーズストラップ」

日 程	平成31年4月20日(土)～令和元年6月23日(日)の間の毎週土日祝日10:00～12:00/13:30～16:30
会 場	エントランスホール
参加者数	1,912人
内 容	紫外線で色が変わるビーズやシルバーの骸骨などを使った、ストラップやプレスレット作りを行った。

2) 企画展「こわいものみたさ」関連ワークショップ「光るおばけ」

日 程	令和元年5月1日(水祝)～6月23日(日)の間の毎週土日祝日10:00～12:00/13:30～16:30
会 場	エントランスホール
参加者数	1,732人
内 容	七色に光るLEDランタンにマスキングテープなどで飾り付けしたお化け作りを行った。

3) GWスペシャル科学体験イベント2019「わくわく！ミュージアム」

日 程	令和元年5月3日(金祝)～5日(日祝)
会 場	エントランスホール、エントランスホール前、屋外展示場、屋上天文台
参加者数	10,019人
内 容	GWスペシャルイベントとして、「わくわくミュージアム」、「公開天文台」を友の会科学クラブ、ならびに天文クラブ共催のもと開催した。 巨大実験ショー：「ソーラークッキング」、「虹の実験」、「巨大シャボン玉体験」、「ひんやりCO2実験ショー」 プチ科学工作：「バードコールを作ろう」、「コトコトきつつきを作ろう」、「ゲコゲコかえるコップを作ろう」、「カラフルなつぶつぶを作ろう」、「水引でペンダントを作ろう」、「新感覚スライムスラモッチー」 公開天文台：「太陽を見よう」

4) 地質の日イベント

日 程	平成31年4月30日(火祝)、令和元年5月18日(土)
会 場	西予市図書交流館(4/30)、愛媛県総合科学博物館サイエンス工房(5/18)
参加者数	西予会場 100人、博物館会場 42人
内 容	[西予会場] ・世界に一つだけの岩石標本製作 西予ジオパークの地質について解説を聞きながら、地質マップに岩石片を貼り、岩石標本を作製した。 ・紙粘土でつくろう！アンモナイト 紙粘土をアンモナイト化石のレプリカ型で型どりし、胴体部分も紙粘土で作製、生きていた時のアンモナイトの姿を作製した。 [博物館会場] ・世界に一つだけの岩石標本製作 西予ジオパークの地質について解説を聞きながら、地質マップに岩石片を貼り、岩石標本を作製した。合わせて、四国西予ジオパークの魅力を紹介するポスターや化石や岩石を展示した。 共催：四国西予ジオパーク

5) 児童館科学館美術館対抗第6回全国KAPLA大会

日 程	令和元年6月30日(日)10:00～12:00/13:00～16:00
会 場	オリエンテーションルーム
参加者数	107人
内 容	オリエンテーションルームにて、KAPLAを使って様々な作品を作った。希望者は写真を撮ってエントリーシートに記入した。

6) プラネ池おもしろ工作・実験ショー

日 程	令和元年7月20日(土)、21日(日)
会 場	エントランスホール／プラネ池
参加者数	2,880人
内 容	科学博物館の人工池(通称：プラネ池)を利用して「水」をテーマにした下記の科学イベントを開催した。「スイスイ進む！発泡スチロールプロペラ船」、「ヒヤヒヤ液体窒素の大実験」

7) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
「大漁！！スピナー釣り堀」

日 程	令和元年7月13日(土)～9月1日(日)10:00～11:45/13:00～16:00(※8/10～12は16:30まで)
会 場	エントランスホール／企画展示室前
参加者数	4,568人
内 容	くるくる回転するおもちゃスピナーを釣り竿で制限時間内に釣り上げ、その中からお気に入りのもの1個を持って帰ってもらった。

8) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
「ピョコピョコおもちゃ」

日 程	令和元年7月13日(土)～9月1日(日)10:00～11:45/13:00～16:00(※8/10～12は16:30まで)
会 場	エントランスホール／企画展示室前
参加者数	1,423人
内 容	棒と針金を使って、キャラクターが揺れながら落ちるおもちゃの工作を行った。

9) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
「オリジナル歯車アクセサリーを作ろう」

日 程	令和元年7月13日(土)～9月1日(日)の間の毎週土日祝日10:00～11:45/13:00～16:00(※7/20/21と8/10～8/12を除く)
会 場	エントランスホール／企画展示室前
参加者数	781人
内 容	紫外線を当てると固くなるUVレジンを使い、歯車パーツを自由にアレンジしてアクセサリーを作成した。

10) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
からくりペーパークラフト「ペンギン爆弾」を作ろう

日 程	令和元年7月13日(土)、14日(日)、15日(月祝) 10:30～12:00/13:30～15:00
会 場	第1研修室
参加者数	184人
内 容	特別展オープニングイベントとして、落すと一瞬でペンギンの形になるペーパークラフト「ペンギン爆弾」の作成を行った。 協力：中村開己（ペーパーエンジニア）

11) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
「みんなdeドミノ」

日 程	令和元年7月30日(火)、8月6日(火)、8月29日(木)①10:00～10:30/倒す時間11:00 ②12:00～12:30/倒す時間13:00③14:00～14:30/倒す時間15:00
会 場	オリエンテーションルーム
参加者数	286人
内 容	ドミノ牌をわずかな間隔で立てて並べ、牌を一つ倒すと次々に倒れ続けていくドミノ倒しを体験した。

- 12) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
ペーパーからくり「羽ばたく鳥」を作ろう！

日 程	令和元年 8 月 17 日 (土) 10:00～11:00/13:00～14:00/15:00～16:00
会 場	第1研修室
参加者数	30人
内 容	持ち手を引っ張ると羽ばたくペーパーからくり「羽ばたく鳥」の作成を行った。 協力：石井希（ペーパーからくり作家）

- 13) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
モーター動力の「GOGOペガサスを作ろう！」

日 程	令和元年 8 月 27 日 (火) 13:30 ～ 15:00
会 場	第1研修室
参加者数	15人
内 容	ダンボールを加工し、モーター動力で動く「GOGOペガサス」の作成を行った。 協力：千光士義和（動くダンボールアート作家）

- 14) 特別展「からくりランドの大冒険！！～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」関連ワークショップ
「貯金箱ロボットを作ろう！」

日 程	令和元年 8 月 28 日 (水) 10:30～12:00
会 場	第1研修室
参加者数	14人
内 容	ダンボールを加工し、お金をお皿に置いてスイッチを押すとお金を食べる「貯金箱ロボット」の作成を行った。 協力：千光士義和（動くダンボールアート作家）

- 15) 電波教室「AM/FMラジオをつくろう！」

日 程	令和元年 7 月 25 日 (木) 13:30～15:30
会 場	科学工作室
参加者数	21人
内 容	総務省製作の子ども向け電波適正利用啓発ビデオ「デンパ君を探せ！」を鑑賞し、電波の正しい利用などについて学んだ。また愛媛県電波適正利用推進員の指導のもと、AM/FMラジオキットの制作を行った。

- 16) 夏のスペシャル科学体験イベント「夏だ！おもしろ実験まつり」

日 程	令和元年 8 月 10 日 (土)、11 日 (日)、12 日 (月)
会 場	エントランスホール／エントランスホール前／屋外展示場／プラネ池
参加者数	8,371人
内 容	夏のスペシャルイベントとして、「夏だ！おもしろ実験まつり」、「太陽をみよう！」を友の会科学クラブ、ならびに天文クラブ共催のもと開催した。 巨大実験ショー：「カメラの中に入ってみよう」、「巨大熱気球の実験」、「巨大シャボン玉体験」 プチ科学工作：「ミニミニボート」、「フィンガーブーメラン」、「紙コップ空気砲」、「ストロンボーン」

17) 超伝導で人体浮上体験

日 程	令和元年8月14日(木)～18日(日) 13:30～14:30/15:30～16:30
会 場	実験ショーコーナー
参加者数	587人
内 容	サイエンスショー「超超ビックリ!超伝導」終了後、物質・材料研究機構の協力により、超伝導体を敷き詰めた直径約40センチメートルの人体浮上装置を使って、超伝導のピン止め効果による、人体浮上体験イベントを行った。浮上した体験者をゆっくりと回転させることで、自分が浮いていることの実感とスケートのスピンのような体験ができた。 8月18日(日)には装置の開発者、高野義彦博士が来館。開発者による装置や実験の解説も行った。

18) プラネタリウムライブ投影「ほしぞらパレット」

日 程	令和元年9月27日(金)、28日(土)、10月18日(金)、19日(土)、11月29日(金)、30日(土)、12月13日(金)、14日(土)、令和2年1月31日(金)、2月1日(土)、28日(金)、29日(土)
会 場	プラネタリウム
参加者数	211人
内 容	スタッフによる全編生解説の投影を行った。今夜の星空や天文トピックスを紹介した。

19) カハク巨大迷路 動物vs恐竜

日 程	令和元年9月14日(土)～10月14日(月祝)の間の毎週土日祝日9:30～12:00/13:00～17:00
会 場	企画展示室
参加者数	6,081人
内 容	企画展示室内にて、段ボールを使用した巨大迷路を設置し、迷路の中に隠された恐竜に関するクイズに挑戦してもらった。

20) 企画展関連ワークショップ「銅箔ギルディングクラフト☆ハンギングフォトづくり」

日 程	令和元年10月26日(土)～12月1日(日)の間の毎週土日祝日10:00～12:00/13:00～15:30
会 場	企画展示室
参加者数	65人
内 容	企画展示室内に、記念写真撮影スポットを設置し、職員が撮った写真を厚紙に貼り、周りにギルディングを施した。

21) 企画展関連イベントトークイベント「懐かしい別子銅山・東平での仕事と暮らし」

日 程	令和元年11月4日(月祝)13:30～15:00
会 場	多目的ホール
参加者数	147人
内 容	当時の採掘の仕事、索道の仕事、東平の社宅、小中学校の思い出、子どもの遊び等を東平会の方々に語っていただいた。

22) 企画展関連イベント「学芸員による展示解説」

日 程	令和元年10月30日(水)、11月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水) 13:00～16:00
会 場	企画展示室
参加者数	93人
内 容	企画展示室内のスライドショーコーナーで展示写真の解説を行った。

23) 企画展関連イベント高校生による解説「東平を学ぼう！」

日 程	令和元年11月17日(日) 13:00～15:00
会 場	企画展示室
参加者数	57人
内 容	東平での仕事や暮らしについて、クイズをしながら来館者に分かりやすく解説した。計5回(1回15分程度)解説をおこない、参加者には部作成のガイドブックをプレゼントした。

24) 企画展関連イベント専門講座「別子銅山での採掘・運搬方法について」

日 程	令和元年11月23日(土祝)13:30～15:00
会 場	第1研修室
出席者	131人
内 容	別子銅山での鉱石採掘と索道運搬に従事した経験のある方を講師に招き、その方法をお話していただいた。

25) 化石の日イベント「紙粘土でつくろう！アンモナイト」

日 程	令和元年10月27日(日) 11:00～11:30/11:30～12:00/13:30～14:00/14:00～14:30/14:30～15:00
会 場	サイエンス工房
参加者数	47人
内 容	アンモナイトの観察、説明を簡単におこない、紙粘土を用いてレプリカを作成した。

26) 「愛媛県総合科学博物館開館記念イベント」

日 程	令和元年11月2日(土)、3日(日)、4日(月祝)
会 場	エントランスホールほか
参加者数	3,981人
内 容	11月3日の常設展示無料開放のほか、「五十嵐美樹サイエンスショー」、「働く車がやってくる」、「プラ板アクセサリをつくろう」、「おしゃれさんコンテスト」、「タネで遊ぼう」、「きまぐれ市」、プラネタリウム特別投影などを行った。

27) 巡回展関連ワークショップ「きれいな石のつかみとり」

日 程	令和元年12月14日(土)～令和2年1月26日(日)の毎週土日祝日、12月24日(火)～28日(土)、1月2日(木)、3日(金) 10:30～12:00/13:30～15:00(12/24～28は午後のみ)
会 場	エントランスホール
参加者数	417人
内 容	ローズクォーツやブルーカルセドニーといった天然石をつかみどりし、小瓶に詰めて持ち帰ってもらった。

28) 巡回展関連イベント「高純度化学研究所の元素缶バッジをつくろう」

日 程	令和元年12月14日(土)～15日(日) 10:30～12:00/13:30～15:00
会 場	企画展示室
参加者数	55人
内 容	高純度化学研究所による工作イベント。元素の写真を選んで、図柄のカットからバッジ製作までを体験する。

29) ノーベル賞受賞記念展示関連イベント「電池ってなんだ?〜くだもの電池で電気を作ろう〜」

日 程	令和元年12月21日(土) 10:00 ~ 12:00/13:30 ~ 16:00
会 場	サイエンス工房
参加者数	49人
内 容	果物や豆腐、こんにゃく、梅干を使って電池を作り、IC オルゴールを鳴らしたり、備長炭とアルミホイルを使って、モーターを動かしたりした。

30) ナイトミュージアム 夜の博物館を探検しよう!

日 程	令和元年12月21日(土) 22日(日) 18:00 ~ 20:00
会 場	自然館
参加者数	893人
内 容	開館時間を21:00まで延長し、エントランス棟やプラネタリウム、ロータリーをライトアップさせた。展示棟4階 自然館では、明かりを落とした自然館で、いくつかの問題(ブラックボックスの中身を探る等)に挑戦して頂き、最後に参加者へ恐竜シールを渡した。

31) クリスマス特別イベントワークショップ「石けんづくり」

日 程	令和元年12月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日) 10:30 ~ 12:00/13:30 ~ 15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	155人
内 容	湯せんで溶かしたグリセリンソーブに食紅を溶いた色水で着色(赤・黄・青・緑・ピンクいずれか1色)し、シリコン型に流して固めた。その後、簡単なラッピングをして完成させた。

32) クリスマス特別イベント「化学サイエンスショー」

日 程	令和元年12月21日(土) 11:00 ~ /13:45 ~
会 場	多目的ホール
参加者数	94人
内 容	原子力文化財団協力のもと、多目的ホールにて、様々な化学の実験を行った。

33) プラネタリウムクリスマス特別投影「星空PartyNight」

日 程	令和元年12月21日(土)、22日(日) 14:00 ~ 14:50/19:00 ~ 19:50
会 場	プラネタリウム
参加者数	365人
内 容	「パーティ」をテーマとし、4部構成で星空や宇宙について生解説で投影した。

34) 新春ワークショップ「さがしてみよう 化石発掘体験!」

日 程	令和2年1月2日(木)~5日(日)、11日(土)~13日(月祝) 10:00~11:45/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	891人
内 容	砂の中に埋まっているアンモナイトやネズミザメのなかまの歯を制限時間内で探してもらい、見つけたものの中からお気に入りの1個を持ち帰ってもらった。

35) 新春ワークショップ「館内に隠された5つのキーワードを探せ！」

日 程	令和2年1月2日(木)～5日(日)、11日(土)～13日(月祝) 10:00～11:45/13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	153人
内 容	受付時に問題用紙を渡し、館内の展示物から5つの問題を解いてキーワードを完成させた。参加賞として干支トイレットペーパー、全問正解の方には恐竜卵を渡した。

36) プラネタリウム新春特別投影「カハクンと行く！宇宙ツアー～サザンクロスと星巡り～」

日 程	令和2年1月2日(木)～5日(日) 13:30～14:15
会 場	プラネタリウム
参加者数	392人
内 容	カハクンの運転するバスに乗って星空や宇宙を巡るイメージで、クイズやゲームを取り入れながら、今夜の星空、南天星座、星雲星団について説明した。

37) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「元素検定スペシャル@愛媛」

日 程	令和元年12月22日(日) 11:00～15:00
会 場	第1研修室
参加者数	75人
内 容	元素周期表同好会による元素検定を実施した。午前中に検定を実施した。採点后、受験者に可否の通知と合格者へ認定書を贈呈した。

38) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
科学講演会「一家に1枚周期表に込めた想い」

日 程	令和元年12月22日(日) 13:30～14:30
会 場	多目的ホール
参加者数	150人
内 容	講師に玉尾皓平国際周期表年実行委員長、豊田理化学研究所長を迎え、自身が中心となって生み出し、現在も毎年改訂を続けている人気周期表「一家に1枚周期表」の誕生秘話や日本の科学技術の現在を周期表から分かりやすく解説した。講演会は一般参加に加え、元素検定受験者も参加した。

39) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「坂根教授の周期表とおき話」

日 程	令和2年1月5日(日) 第1部11:00～11:30、第2部13:30～14:00
会 場	サイエンス工房
参加者数	125人(第1部 80人、第2部 45人)
内 容	岡山理科大学の坂根弦太教授を講師に迎え、科学おもちゃと科学実験について実演や体験で楽しく紹介するイベントを実施した。 第1部 目が覚めるような科学おもちゃ大紹介！ 動きの面白さや仕組みが不思議な科学おもちゃを体験しながら、おもちゃに潜む科学法則の解説と科学の楽しみ方を実演と体験を交えながら紹介した。 第2部 周期表と個性豊かな元素たちの大実験！ 元素の性質が際立つ科学実験を実演して、材料科学について元素の性質から分かりやすく説明した。

40) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「ところ実験クラブの元素工作教室」

日 程	令和2年1月11日(土) 11:00～16:30、1月12日(日) 10:00～15:30
会 場	企画展示室
参加者数	248人
内 容	埼玉県のところ実験クラブから2名の講師を迎え、立体周期表の工作と元素ネイルの体験イベントを行った。

41) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「理化学研究所のニホニウム模型をつくろう」

日 程	令和2年1月18日(土) 10:00～16:30、1月19日(日) 10:00～15:30
会 場	企画展示室
参加者数	119人
内 容	理化学研究所から5名の講師を迎え、ニホニウム実験の紹介とアイロンビーズによるニホニウム原子核模型工作の体験イベントを行った。イベント12名1組の入れ替え制で、18日は6回、19日は5回実施した。

42) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「周期表スタンプラリー」

日 程	令和元年12月14日(土)、15日(日)、28日(土)、令和2年1月4日(土)、24日(金)、25日(土)、26日(日)
会 場	企画展示室
参加者数	1,400人
内 容	国際周期表年巡回展特性の元素の発見年代別に色分けされた周期表が完成するスタンプラリーを実施した。各実施日ごと先着200名が体験した。

43) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「謎解き巡回展 ふたたびメンデレーカハクンからの挑戦状」

日 程	令和元年12月14日(土)～令和2年1月26日(日)
会 場	企画展示室
参加者数	173人(上級編参加者)
内 容	巡回展の期間中、周期表に関連した謎解き問題に挑戦するイベントを行った。初級編は展示室内に問題と解答が用意され、初級編を回答すると中級編の問題を総合案内で受け取ることができる。中級編は総合案内で回答がチェックされ、正解者には上級編の問題が配られる。上級編の回答は応募式で、正解者の中から抽選で1名に景品が進呈された。

44) 巡回展「国際周期表年2019特別展」関連イベント
「周期表で記念撮影して元素グッズをゲットしよう！」

日 程	令和元年12月14日(土)～令和2年1月26日(日)
会 場	企画展示室
内 容	巡回展に展示された巨大周期表の中から、自分の好きな元素を示して撮影した画像をInstagramにアップした来館者の中から抽選で元素グッズをプレゼントする企画を実施した。

45) 手作り乾電池教室

日 程	令和2年1月19日(日) 10:30～12:00/13:00～14:30
会 場	オリエンテーションルーム
参加者数	32人
内 容	様々な電池の種類や電池の仕組みの解説、「備長炭電池」作りの実演、「手作り乾電池キット」を使って、マンガン乾電池の製作を行った。

46) 協力イベント 講演会「ヒッグス粒子の発見とダークマターの探索」

日 程	令和2年2月8日(土) 13:30～15:00
会 場	プラネタリウム／多目的ホール
参加者数	336人
内 容	東京大学 素粒子物理国際研究センターの田中純一氏が、2013年ノーベル物理学賞受賞の理由となった「ヒッグス粒子」とその発見に至るまでのLHC加速器による陽子衝突実験について、動画やスライドを用いて分かりやすく説明した。主催は新居浜市教育委員会、総合科学博物館が会場提供と運営補助の協力をした。

47) みんな集まれ！わくわくサイエンス広場

日 程	令和2年2月8日(土)、9日(日) 10:00～17:00
会 場	企画展示室ほか
参加者数	2,927人
内 容	実験工作体験コーナー：「シャカシャカ発電機を作ろう」、「ゆめを咲かせようクルクルフラワー」、「ミニSLに乗ってみよう!」、「エレクトロニクスで遊ぼう!」、「空気砲としおり作り」、「生き物の多様性を体感しよう」、「生きた化石～カブトガニ」、「空飛ぶCDコマを作ろう」などを実施した。 サイエンスカフェ：「標本の話」、「小川正孝～アジア人初新元素を発見した明治の愛媛出身化学者～について」の解説が行われた。またロータリーでは電気自動車・PHEV試乗体験を実施した。

48) プラネタリウム企画「キッズプラネタリウム」

日 程	令和2年2月22日(土)～24日(月祝) 12:00～12:45
会 場	プラネタリウム
参加者数	359人
内 容	未就学児を対象にクイズや手書きのイラストを取り入れ、親しみやすい星座解説を行った。後半はプラネタリウム番組「新・恐竜大進撃」を投影した。

49) 企画展関連ワークショップ「チリメンモンスターをさがそう!!」

日 程	令和2年2月22日(土)～4月5日(日)の間の毎週土日祝日13:30～15:00
会 場	企画展示室前
参加者数	137人
内 容	チリメンジャコの中に混ざっている生き物(チリメンモンスター)を探して観察した。見つけたチリモンは、図録などで名前と特徴を調べてもらい、また台紙に貼り付けて持ち帰ってもらった。

50) 企画展関連イベント「学芸員による展示解説」

日 程	令和2年2月23日(日)、29日(土)、3月22日(日)、28日(土) 14:00～16:00
会 場	企画展示室
参加者数	27人
内 容	展示を構成する五つのコーナーにある展示物について随時解説した。

51) 企画展関連イベント大人のための科学講座

「企画展『理科室の宝物—学校収蔵標本から地域の自然を再考する—』ギャラリートーク」

日 程	令和2年3月7日(土)、15日(日) 13:30～15:30
会 場	企画展示室
参加者数	
内 容	新型コロナウイルス感染予防および拡散防止のため中止

52) 春の特別イベント「恐竜たちに大接近！ドキドキ♥ワクワク★記念撮影」

日 程	令和2年3月20日(金祝)～22日(日) 10:00～12:00/14:00～16:00
会 場	自然館 恐竜ロボット
参加者数	530人
内 容	恐竜ロボットの足元で記念撮影を行った。 各日15:30～恐竜体操を行い、恐竜はお客様の状態を見て手動で動かした。 感染症対策として、列に並んだお客様の間隔をあけ、撮影は基本お客様自身にお願いした。

53) 春の特別イベント「恐竜段ボールクラフトを作ろう」

日 程	令和2年3月20日(金祝)～22日(日) 13:30～16:00
会 場	エントランスホール
参加者数	50人
内 容	ティラノサウルス、トリケラトプス、スピノサウルス、ブラキオサウルス計4種の恐竜の骨格模型クラフトキットを用いて工作した。

54) 春の特別イベント「さがしてみよう 化石発掘体験！」

日 程	令和2年3月20日(金祝)～22日(日) 10:00～12:00/13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	70人
内 容	砂の中に埋まっているアンモナイトやネズミザメのなかまの歯を探した。 制限時間内(1分)に見つけたものの中からお気に入りの1個を持ち帰ってもらった。

55) 春の特別イベント「骨のナンバー描きと標本箱作り」

日 程	令和2年3月20日(金祝) 10:00～16:00
会 場	エントランスホール
参加者数	
内 容	新型コロナウイルス感染予防および拡散防止のため中止

56) 春の特別イベント「魚類を中心とした海洋生物のプラスチック標本を触ってみよう！」

日 程	令和2年3月20日(金祝)、21日(土) 10:00～16:00
会 場	企画展示室
参加者数	
内 容	新型コロナウイルス感染予防および拡散防止のため中止

57) プラネタリウム企画「チャレンジ！カハク☆ラビリンス」

日 程	令和2年3月20日(金祝)～22日(日) 13:30～14:15
会 場	プラネタリウム
参加者数	50人
内 容	2019年11月に開館25周年記念イベントとして制作した特別投影をリバイバルした。博物館4階の展示4か所(宇宙、鉱物、動物、恐竜)に関するゲームやクイズを出題し、星座や太陽系惑星、系外惑星、隕石などの話を行った。

(7) 子育てサポート事業

家族で参加できる体験プログラム事業を実施することにより、自然科学に関する子どもの学習意欲の育成や、家族間の交流を図ることで、安全かつ健全な子育て支援を行った。

1) みんなで一緒に恐竜体操

開始時間 日曜・祝日の15:30のみ実施

月	回数	人数
4月	5	470
5月	6	675
6月	5	319
7月	5	648
8月	5	961
9月	7	628
10月	6	229
11月	6	376
12月	5	247
1月	5	354
2月	6	359
3月	7	227
合計	68	5,493

(8) 印刷物の刊行

発行年月	名 称	仕 様	発行部数
令和元年8月	年 報	A4 96頁	300
令和元年7月	博物館だよりNo86	A4 8頁	1,400
令和元年10月	博物館だよりNo87	A4 8頁	1,400
令和2年2月	博物館だよりNo88	A4 8頁	1,400

(9) 博物館実習の実施

博物館法に定められた学芸員資格の取得に必要な実習を、大学より要請のあった学生を受け入れて実施した。

1) 館務実習

ア 受入実習生：1名

イ 受入期間：令和元年8月22日(木)～9月2日(月) 合計12日間

※休みが2日間(8月27日・8月28日)

ウ カリキュラム

8月22日 (木)	開講式、挨拶、自己紹介と抱負、オリエンテーション、博物館概要説明 館内案内、接遇研修、課題説明 プラネタリウム星空解説	8月29日 (木)	展示資料製作実習（講義）（実習） 課題作成（企画展の企画書作成）
8月23日 (金)	展示資料制作実習（講義）（実習） 教育普及活動：博物館講座（講義）（実習） 化石レプリカ製作準備	8月30日 (金)	博物館周辺の生物調査資料整理
8月24日 (土)	教育普及活動：博物館講座（講義）（実習） ホバークラフト補助	8月31日 (土)	展示ワークシート製作 標本の整理保管
8月25日 (日)	植物及び海藻標本の作製 教育普及活動：博物館講座（講義）（実習） 化石レプリカ製作補助	9月1日 (日)	資料整理 サイエンスショー見学 課題作成（企画展の基本設計）
8月26日 (月)	展示企画調査実習（講義）（実習） 課題作成（企画展の企画書作成）	9月2日 (月)	課題作成（企画展の基本設計） 課題発表準備、課題発表、課題の意見交換、実習を終えての感想交換 閉講式、実習録のまとめ

(10) 友の会育成支援

青少年及び一般成人の科学に関する知識の普及啓発を図ることを目的とする愛媛県総合科学博物館友の会を平成7年10月1日に設置し、その活動について育成支援を行った。

ア 友の会講座

開 講 日	開講時間	場 所	テーマ・内容	講 師	受講者数 (人)
5月11日(土)	20:00～ 21:30	第1研修室 天文台	天体観望会「春の星座と月」	天文クラブ	11
6月16日(日)	11:00～ 12:00	科学工作室	科学教室「こすると光る？ふしぎなライトー静電気検出器ー」	科学クラブ	9
6月16日(日)	10:00～ 12:00	博物館うら山	自然教室「博物館うら山探検隊！ ～アゲハチョウの観察～」	自然研究グループ学芸員	13
7月27日(土)	20:00～ 20:40/21:00 ～21:40	第1研修室 天文台 オリエンションルーム プラネタリウム	天体観望会「夏の星座と木星・土星Ⅰ」	天文クラブ	15
8月7日(水)	13:30～ 16:30	科学実験室	科学教室「身近な材料で本格的な楽器“ウクレレ”を作って演奏しよう」	科学クラブ	16
8月31日(土)	20:00～ 20:40/21:00 ～21:40	第1研修室 プラネタリウム オリエンションルーム	天体観望会「夏の星座と木星・土星Ⅱ」	天文クラブ	17
9月23日(月祝)	13:30～ 15:30	科学実験室	科学教室「いつも充電完了 ソーラーパネル式LEDライト」	科学クラブ	9
10月5日(土)	19:30～ 21:00	第1研修室 プラネタリウム	天体観望会「秋の星座と月・土星」	天文クラブ	18
11月3日(日祝)	19:30～ 21:00	第1研修室 プラネタリウム	天体観望会「秋の星座と月」	天文クラブ	19
12月14日(土)	13:30～ 15:30	科学実験室	科学教室「牛乳パックを利用した天体望遠鏡を作ろう」	科学クラブ	14
1月18日(土)	13:00～ 14:00	オリエンションルーム 天文台	天体観望会「太陽と金星」	天文クラブ	10
3月28日(土)	13:30～ 15:30	科学工作室	科学教室「電子ホタルを作ろう」	科学クラブ	中止

イ 特別展見学会

開 講 日	開講時間	場 所	テーマ・内容	講 師	受講者数 (人)
7月29日(月)	13:30～ 14:30	企画展示室	特別展「からくりランドの大冒険!!～ゆかいなしかけのおもちゃたち～」見学会	科学・産業グループ学芸員	16

ウ 研修旅行

開 講 日	開講時間	内 容 (場 所)	受講者数 (人)
11月30日(土)	8:00～18:30	姫路城(姫路市)	24

エ 夏休み自由研究相談所

開 講 日	開講時間	場 所	講 師	受講者数 (人)
8月1日(木)	10:00～12:00 14:00～16:00	図書室	博物館職員・友の会会員	23
8月2日(金)				

オ クラブ活動

天文クラブ：天文に興味を持っている会員が集まり、月1回の例会や友の会天体観望会の企画・運営等の活動を行っている。

例 会 開 催 日	内 容	参加者(人)
平成31年4月13日	5月の例会について、GW イベントについて、塩塚高原キャンプについて、観察会について	9
令和元年5月11日	天体観望会「春の星座と月」 バリっこフェスタについて	10
6月22日	7月の例会について、朝倉児童館出張講座について、塩塚高原キャンプについて	10
7月14日	天体観望会「夏の星座と木星・土星Ⅰ」について 塩塚高原キャンプについて	9
8月31日	天体観望会「夏の星座と木星・土星Ⅱ」	15
9月28日	10月の天体観望会について	10
10月5日	11月の天体観望会について 天体観望会「秋の星座と月・土星」 今治桜井出張講座について	12
11月3日	室戸キャンプについて 天体観望会「秋の星座と月」	13
12月14日	天体観望会「太陽と金星」について 室戸キャンプについて	18
令和2年1月18日	令和2年度年間活動計画について 2月の室戸キャンプについて 天体観望会「太陽と金星」	12
2月15日	令和2年度年間活動計画について	19
3月7日	令和2年度年間活動計画について	中止

科学クラブ：工作や実験に興味を持っている会員が集まり、月1回の例会や友の会工作教室等の企画・運営等の活動を行っている。

例 会 開 催 日	内 容	参加者(人)
平成31年4月14日	簡易パラボラ型ソーラークッカーを作ろう ピカピカに光る泥だんごを作ろう	31
令和元年5月12日	ペットボトルロケットを作って飛ばそう	29
6月9日	平成30年活動報告、収支決算、令和元年活動計画 ゴム動力プロペラカーを作って競争しよう	34
7月26日	熱気球を作ろう & プラコップ空気砲を作ろう	13
8月29日	紙のからくり工作	18
9月8日	プラ板キーホルダーを作ろう	14
10月13日	紙飛行機競技大会	17
11月10日	科学マジック体験講座	19
12月8日	鳥凧を作って飛ばそう	29
令和2年1月12日	ピコピコカプセルで迷路の挑戦！	27
2月16日	輪ゴム鉄砲を作ろう	26
2月23日	たき火(自然クラブコラボ企画)	27
3月8日	いろいろなスライムを作ってみよう	中止

自然クラブ：野鳥や植物等、自然に興味を持っている会員が集まり、月1回博物館周辺等で自然観察会を行っている。

例 会 開 催 日	内 容	参加者(人)
令和元年6月16日	博物館うら山探検隊！～アゲハチョウの観察～	5
令和2年2月23日	たき火(科学クラブコラボ企画)	38

カ 平成31年度友の会会員数

小・中学生会員(人)	高校生会員(人)	大人会員(人)	家族会員(組)	賛助会員(口)	総 計
9	0	46	351	31	437

キ 平成31年度友の会役員

(ア) 理 事

区 分	氏 名	経 歴
会 長	西山 慶尚	元総合教育センター科学教育部長
副 会 長	立石 康	元松山市生石小学校 校長
理 事	伊藤 文雄	新居浜市立船木中学校ひびき分校 教諭
〃	本田 龍朗	(公財)えひめ東予産業創造センター専務理事
〃	近藤 俊彰	元今治北高等学校 教頭
〃	轟 浩二	総合科学博物館 館長

(イ) 監 事

氏 名	経 歴
高橋 正明	高橋正明法律事務所弁護士
三谷 晃良	元県立新居浜病院院長

(11) 博物館の情報化

当館の施設・事業・利用案内等を紹介することを目的として、平成12年4月に独自のホームページを開設した。<http://www.sci-museum.niihama.ehime.jp>。その後、平成21年4月から、指定管理者制度導入によりアドレスを変更(<http://www.i-kahaku.jp/>)している。ホームページ(Twitter等)では、特別展や企画展、科学イベントなどについて随時更新を行い最新の情報を提供している、各種講座やイベント等の募集も行っている。

(12) マスメディアへの対応

施設概要や特別展、企画展、科学イベント等について、放送局、新聞社・出版社等の取材対応を行った。また、各種事業の実施及び展示物入れ替え等の際には、随時県庁及び新居浜市の記者クラブ、各種情報誌等を通じ広くPRを行った。

(13) ボランティアへの対応

博物館イベント補助などとして、一般市民のボランティア参加を受け入れた。

登録人数 114名
のべ活動時間 1,531時間

(14) 外部団体からの助成

なし

(15) NPO団体等との連携

HP等で募集を行ったが、応募団体がなく実施せず。

5 プラネタリウムの運営

宇宙、天文に関する番組（フルオート）を投影した。

(1) 投影回数・時間

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
平日	10:30	12:00	14:00	16:00	—
休日	10:30	12:00	13:30	15:00	16:30
GW期間・ 夏休み期間 (土日・お盆期間)	10:30	12:00	13:30	15:00	16:30

※ 平日の1回目は団体専用である。

(2) 番組・投影期間

通年	ジュラシックヒーローズ～星空の警備隊～	平成31年4月1日～令和元年6月30日
通年	スターリーテイルズ～星座は時をこえて～	平成31年4月1日～令和元年6月30日
通年	ムーミン谷のオーロラ	平成31年4月1日～令和2年3月19日
通年	新・恐竜大進撃	令和元年7月1日～令和2年3月31日
通年	ナットのスペースアドベンチャー	令和元年7月1日～令和2年3月31日
期間限定	攻殻機動隊新劇場版VIRTUAL REALITY DRIVER	令和元年8月1日～令和元年8月31日
期間限定	こまねこのクリスマス	令和元年11月1日～令和元年12月28日
通年	ポラリス2	令和2年3月20日～令和2年3月31日
通年	南極大陸 宇宙に開かれた窓	団体専用
通年	むしむし星空大行進	団体専用
通年	シークレット・オブ・ザ・サン	団体専用
通年	星の森 ～ The Twinkle Story ～	団体専用
通年	スター・オブ・ファラオ ～ファラオの星～	団体専用
通年	ユニバース	団体専用
幼児番組	ほしのくにでみつけた たからもの	団体専用
学習番組	スタジオ444 -空のフシギをさぐれ！-	団体専用

(3) メンテナンスによる投影休止期間

令和元年6月11日(火)～12日(水)

令和元年9月25日(水)～26日(木)

令和2年2月18日(火)～19日(水)

生涯学習推進機能

生涯学習推進事業

(1) 東予コミュニティ・カレッジの開催支援

東予地域の人々を対象に、心の豊かさや教養を高め、実社会において必要な知識や技術の習得をしていただく為、県生涯学習センターが主催する「東予コミュニティ・カレッジ」の会場を提供している。

平成30年度は、現代教養講座、ふるさとおもしろ講座、健康・福祉・介護講座、愛媛の博物館・研究機関講座、愛媛の文学・歴史講座、歴史講座の計6講座を各3～5回開催した。

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ1 現代教養講座 (放送県民大学)	やさしい?やさしくない?日本語と中国語～留学生にとっての日本語と、日本人にとっての中国語～ 学び含えひめ 対象講座	9 / 8	31人
	塩が結んだ瀬戸内とアジア－明治時代の食塩生産と海外輸出－ 学び含えひめ 対象講座	10/ 20	26人
	源氏物語に見る女性たち～紫式部の恋愛観～	12/ 1	28人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ2 特別講座 「最新医療講座」	みんなで筋肉鍛えましょう 学び含えひめ 対象講座	11/ 12	37人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ3 健康・福祉・介護講座	がん治療に必要な皮膚ケア 学び含えひめ 対象講座	7 / 10	26人
	骨や筋肉、脂肪、線維組織などに発生するがん(骨転移や骨軟部腫瘍)の分かり易い診断、治療について 学び含えひめ 対象講座	8 / 7	26人
	エンディングノート～残された人生を豊かに生きるために～ 学び含えひめ 対象講座	10/ 2	38人
	介護不安は解消できる! 学び含えひめ 対象講座	11/ 13	30人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ4 ふるさとおもしろ講座	ふるさとの偉人を知る 佐伯矩～「栄養学の父」と呼ばれた偉人 学び含えひめ 対象講座	8 / 22	28人
	昭和の西予市のくらしと産業② (野村町、城川町) 学び含えひめ 対象講座	9 / 5	27人
	昭和の四国中央市のくらしと産業①(土居町、新宮村) 学び含えひめ 対象講座	9 / 12	30人
	現地学習会(四国中央市コース) 学び含えひめ 対象講座	10/ 3	22人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ5 歴史講座	古代の日中関係～日本元号成立の歴史背景～	7 / 7	38人
	愛媛の戦争遺跡－防空監視哨について－ 学び含えひめ 対象講座	8 / 4	36人
	雄略天皇・泊瀬朝倉宮を求めて	9 / 29	40人
	近世伊予西条藩領の景観 －二つの「西条藩領 鳥瞰図屏風」を読み解く－ 学び含えひめ 対象講座	10/ 27	40人

区 分	内 容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ6 愛媛の文学・歴史講座	宇和島・戸島歌舞伎について 学び含えひめ 対象講座	7 / 9	34人
	西条藩の地誌「西條誌」について 学び含えひめ 対象講座	8 / 6	45人
	正岡子規の病と死生観と＜美＞ 学び含えひめ 対象講座	11 / 19	29人
	祭礼行事に見る神話、伝説、武者物語～だんじり彫刻・太鼓台刺繍と節句人形～ 学び含えひめ 対象講座	12 / 10	40人

区 分	内 容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ7 愛媛の博物館・研究機関講座	愛媛県美術館の版画コレクションより銅版画家・吉田勝彦を中心に 学び含えひめ 対象講座	7 / 5	22人
	新元号「令和」について－「万葉集」巻五から－ 学び含えひめ 対象講座	7 / 26	29人
	海賊の城・守護所・境目の城 学び含えひめ 対象講座	9 / 13	31人
	不思議な水の科学 学び含えひめ 対象講座	11 / 1	25人

(2) 生涯学習情報の提供

東予地区における生涯学習活動を支援するため、インターネットを活用して、生涯学習に関する情報の提供を行うとともに、生涯学習に関する相談に応じてきた。また、最近においては東予地域に限らず愛媛県全域においても相談に応じている。

生涯学習相談件数 49件

(3) 施設の提供

東予地域の生涯学習活動の拠点施設として、多目的ホール、第1研修室、第2研修室、企画展示室などの施設を有料で開放している。また、最近においては東予地域に限らず愛媛県全域においても同様に開放をしている。

利用状況

区 分	件 数(件)	人 数(人)	利 用 内 容
多目的ホール、控室、第1研修室、第2研修室、オリエンテーションルーム、会議室、企画展示室	226	11,870	ピアノ発表会、講演会、会議、研修会、講習会等

(4) 図書室の開放

館内の図書室に、約10,000冊の生涯学習関係の図書を蔵しており閲覧、貸出を行っている。

利用状況

図書室入室者数(人)	図書貸出冊数(冊)
1,601人	59冊

Ⅲ 予 算

令和元年度及び2年度予算（当初予算）

平成21年度から指定管理者制度導入に伴い、県直営部門と指定管理者に分けて執行される。

（元年度）

（千円）

区 分		当初予算額	
指定管理者	委託料	180,363	
	内 訳	博物館維持管理費	143,890
		展示事業費	15,350
		普及啓発事業費	18,053
		収集整理保存・調査研究補助事業費	3,070
県	博物館管理運営費	13,479	
	内 訳	博物館管理費	9,134
		展示事業費	13
		普及啓発事業費	13
		資料収集・整理・調査研究事業費	4,319
「森に親しむ博物館」開催事業費		3,042	
県 合 計		16,521	
総 計		196,884	

（2年度）

（千円）

区 分		当初予算額	
指定管理者	委託料	178,708	
	内 訳	博物館維持管理費	140,854
		展示事業費	17,350
		普及啓発事業費	16,504
		収集整理保存・調査研究補助事業費	4,000
県	博物館管理運営費	10,902	
	内 訳	博物館管理費	6,303
		展示事業費	13
		普及啓発事業費	255
		資料収集・整理・調査研究事業費	4,331
「森に親しむ博物館」開催事業費	3,434		
県 合 計		14,336	
総 計		193,044	

Ⅳ 令和2年度事業計画

博物館機能

1 資料収集・整理・保存

(1) 資料の収集

自然史（動物、植物、地学）、科学技術、愛媛の産業に関する資料等を広く総合的に収集する。

(2) 資料の整理

資料のデータ整理・管理に導入したクラウド型データ管理システムを随時更新する。

(3) 資料の保存管理

収集した資料は、それぞれの特性に応じた適切な方法を用いて処理し、恒久的な保存を図る。

2 調査研究

自然史、科学技術、愛媛の産業に関して、部門別に学術的な調査研究を行い、その成果を、展示を主とする教育普及活動に反映させるとともに、「愛媛県総合科学博物館研究報告」により公表する。

学芸課令和元年度研究テーマ

学芸課長

- ・丸尾 秀樹：博物館と学校との連携事業に関する研究

自然研究グループ

- ・大西 剛：アサギマダラの移動に関する愛媛県の記録（2020年）
博物館周辺の生き物に関する調査研究
- ・小林 真吾：愛媛県の植物・藻類・菌類相
希少野生動植物の保全に関する研究
淡水藻類の分布と利用に関する研究
重信川周辺湧水の生物相追跡調査
- ・山根 勝枝：愛媛県産和泉層群化石に関する調査
愛媛県における大型鰓脚類の分布調査
愛媛県沿岸海域および四国沖積層の介形虫群集
- ・川又 明德：愛媛県の植物・地衣類相
寒冷地性地衣類に関する分類学的研究
- ・鈴木 裕司：愛媛県の天文に関する資料の調査
天文現象の記録化と疑似体験の手法に関する研究
愛媛県内の夜空の明るさの調査

科学・産業研究グループ

- ・久松 洋二：展示体験装置及び各種教材装置類の開発と製作
愛媛県に係る科学者技術者の調査
- ・吉村久美子：愛媛の産業史に関する研究
- ・藤本 光章：サイエンスショー等の教材開発
- ・進 悦子：科学教材の開発と製作
- ・篠原 功治：来館者のための安全で効果的な実験や工作

3 展示活動

(1) 常設展示

既設展示物の定期メンテナンスを実施するとともに、新着資料との入れ替えを逐次行う。

ア 自然館

既設展示物の定期メンテナンスを実施するとともに、新着資料との入れ替えを逐次行う。

イ 科学技術館

科学技術の歴史資料や体験装置のメンテナンスを行うとともに、新規展示装置の設計、製作を行い、常設展示の更新を努める。

実験ショーについては、年に3回の頻度で実験内容を更新する。

ウ 産業館

定期メンテナンスを実施するとともに、資料の入れ替えを逐次行う。

エ 屋外展示

屋外展示物について常時点検を行い、整備に努める。

オ 実験ショー

会 場		3 F 実験ショーコーナー
内 容		さまざまな科学現象を実験をとおして紹介するとともに、来館者とのコミュニケーションをはかりながら科学を体験してもらう。
時 間	休 日	13:00 ～ 15:00 ～
	GW及びお盆	11:00 ～ 13:00 ～ 15:00 ～

(2) 特別展示

常設展示だけでは展示できない自然や最新の科学技術などに関する項目の中から、話題性があり新鮮な興味を提供するテーマを選び実施する。

タ イ ト ル	パズル展～パズル島へようこそ～
期 間	令和2年4月18日(土)～令和2年6月21日(日)
会 場	企画展示室
趣 旨	子どもだけでなく大人にも人気の「パズル」をテーマに、遊びながら楽しく「数学的な法則や予想」を、論理的な工作と試行錯誤によって学んでもらう。パソコンやスマートフォンでパズルゲームを楽しめる昨今だが、「直接手で触れてみて」「頭で考えてみる」アナログな世界を体験してもらう。
内 容	パズル島へようこそ！解ける？解けない？パズルの不思議 ・パズル島の船着き場 ・注文の多いうみの家 ・島の学校 ・もうじゅうの森 ・パズル商店街 ・パズル島美術館 ・パズルキッズ諸島

タイトル	世界の昆虫大集合
期 間	令和2年7月18日(土)～9月22日(火・祝)
会 場	企画展示室
趣 旨	昆虫は名付けられているものだけで約100万種にのぼる膨大な種数を持ち、地球上に生息する生物数の半数以上を占めるといわれている。これは、昆虫が地球上のさまざまな環境に適応し、他の生物に比べ著しい多様化を遂げたことを物語っている。今回は、強さ自慢のカブトムシ・クワガタムシたち、美しさ自慢のチョウたち、擬態の達人のコノハムシたちなど特色のある昆虫たちを、標本を中心に紹介する。観覧者が昆虫という身近な存在から身近な自然に興味を持ち、自然や生物の多様性とその大切さについて理解を深めてもらえるような内容とする。
内 容	1 強い昆虫たち カブトムシやクワガタムシなど、強いイメージのある甲虫を標本と生体で展示 2 美しい昆虫たち チョウやカナブンをはじめとする美しい模様や輝きを持つ昆虫を展示 3 化ける昆虫たち 葉っぱにそっくりなコノハムシや目玉模様のフクロウチョウなど擬態する昆虫を展示 4 虫屋の夢 虫屋(むしや)と呼ばれる収集家が生涯をかけて集めた世界の蝶の標本を展示 5 愛媛の絶滅昆虫たち ベニモンカラスシジミなど、県内で絶滅した昆虫を展示

(3) 企画展示等

学芸員の調査研究の成果発表や資料収集の公開等を行うため、企画展示室及びロビーを使用して展示を行う。

期 間	タ イ ト ル	内 容
令和2年10月10日(土) ～11月29日(日)	企画展 「小川正孝 アジア人初の新 元素発見者」	愛媛出身の化学者小川正孝は1908年にアジア人初となる新元素発見を成し遂げた化学者である。没後90年にあたる2020年に、75番元素レニウムを先駆的に発見した小川の事績を周知するため、国内の小川資料をすべて集めてその生涯を顕彰する。
令和2年12月12日(土) ～令和3年1月31日(日)	企画展 「春待ちロゼット」	ロゼットとは、植物が風雪に耐えながら、少しでも太陽の光を受け止めようと身につけた究極の姿形である。観察対象の少なくなる冬場に、庭先や公園、散歩道で出会えるいろいろなロゼットを標本と写真で紹介する。
令和2年2月20日(土) ～4月11日(日)	企画展 「無線電話でたどる通信技術 史」	1990年ごろから約20年の間に活躍した携帯電話を展示し、通信技術の発展と世の中の移り変わりについて紹介するとともに、古き良き時代を支えた公衆電話やバブル時代のショルダーフォン、5Gでの超高速通信の実現に向けた実証実験など、電気通信について理解を深める展示を行う。
令和2年9月26日(土) ～11月8日(日)	ロビー展 「森に親しむ博物館」	新規製作する生きた姿を再現できる植物レプリカや、愛媛の森にすむ昆虫を展示し、森林環境の大切さについて紹介する。

4 教育普及事業

(1) 博物館講座の開催

- 応募方法 往復はがき・FAX・博物館ホームページで受け付ける。
- 募集締切り 開催日の約2週間前（博物館必着）までとする。応募者数が定員に満たない場合は、引き続き募集を継続する。
- 受講者の決定 応募者が定員を超えた場合、抽選により受講者を決定する。

	内 容
自 然 観 察 会	対象：小学生以上（小学生は保護者同伴） 定員：「タンポポの観察」…30名、「ツガザクラを観に行こう」…25名、「四国西予ジオパークに行こう～太古の地層と宇和の町並み～」…20名、その他の自然観察会…30名 回数：11講座 概要：生き物や地質を観察する。保険料を徴収する。
親 子 自 然 教 室	対象：「岩石標本をつくろう」、「アンモナイトのレプリカをつくろう」…小学4年生以下とその保護者、その他の親子自然教室…小学生とその保護者 定員：「岩石標本をつくろう」…8組16名、その他の親子自然教室12組24名 回数：4講座（7回開催） 概要：親子で標本等を作成する。材料費、保険料を徴収する。
天 体 観 望 会	対象：小学生～大人（小学生は保護者同伴） 定員：「太陽と金星」、「秋の星座と月・火星」…15名、その他の天体観望会…20名 回数：6講座（7回開催） 概要：惑星や星座を観察する。保険料を徴収する。
科 学 実 験 教 室	対象：「世界最強の永久磁石“ネオジム磁石”で実験しよう」…小学3年生～中学生、「身の回りの放射線測定体験教室」…小学4年生～高校生と保護者（小学生は保護者又は引率者同伴）「スーパージャンボシャボン玉にチャレンジ」…小学生～中学生、「びっくり！科学手品」、「スライムのひみつを探ろう！」…小学生～中学生（小学1,2年生は保護者同伴）、「野菜やくだものからDNAを取り出そう～ビーズを使ってDNA模型作り～」…小学4年生～中学生、「元素ハンター教室～科学実験で元素を探そう～」…小学生～中学生およびその保護者 定員：「身の回りの放射線測定体験教室」…50名、その他の科学実験教室…20名 回数：7講座（9回開催） 概要：科学実験をおこなう。材料費・保険料を徴収する。
科 学 工 作 教 室	対象：「ペットボトルロケットを作って飛ばそう」、「太陽光で料理ができる！ソーラークッカーをつくろう」、「進め！スーパーホバークラフトを作ろう」、「よく飛ぶ飛行機を作って滞空時間12秒を目指そう！」…小学3年生～中学生、「空気砲であそぼう！」…小学生とその保護者、「ハニカムシートのペーパークリスマスツリーを作ろう」…小学生～中学生（小学1,2年生は保護者同伴） 定員：「空気砲であそぼう！」…20組40名、その他の科学工作教室20名 回数：6講座 概要：科学工作をおこなう。材料費・保険料を徴収する。

	内 容
大人のための科学講座	対象：「植物の見分けポイント!」、「小川正孝の生涯 企画展講演会」、「小川正孝の真実 企画展ギャラリートーク」、「知ってる? 四国の哺乳類」…高校生以上（小学生以上の見学可）、「万華鏡ワークショップ「世界に一つだけ オイル式オリジナル万華鏡の製作」」、「ガラスを学ぶ～サンドブラストで作るクリスマスを彩るペアグラス～」…高校生以上（子どもの同伴可）、「大人女子のための科学実験 オリジナル化粧水&ミツロウハンドクリーム作り&乳液作り」…高校生以上 定員：「大人女子のための科学実験 オリジナル化粧水&ミツロウハンドクリーム作り&乳液作り」…10名、「植物の見分けポイント!」「知ってる? 四国の哺乳類」…15名、「万華鏡ワークショップ「世界に一つだけ オイル式オリジナル万華鏡の製作」」、「ガラスを学ぶ～サンドブラストで作るクリスマスを彩るペアグラス～」…20名、「小川正孝の真実 企画展ギャラリートーク」…30名、「小川正孝の生涯 企画展講演会」…90名 回数：7講座（8回開催） 概要：科学について、より高度な解説や実験等をおこなう。内容により材料費・保険料を徴収。
産業講座	対象：「日本一の紙のまち 四国中央市を訪ねて」…小学5年生～大人（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）「手すき和紙とハンギングフォトづくり!」…小学生以上（小学1、2年生は保護者同伴、保護者も製作する場合は申し込みが必要）「新居浜ものづくり工場見学会」…小学4年生～大人（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） 定員：「手すき和紙とハンギングフォトづくり!」…12名、その他の産業講座…20名 回数：3講座（4回開催） 概要：愛媛の産業についての現地見学又は体験。内容により教材費・保険料を徴収。

(2) 印刷物の刊行

研究報告・年報・博物館だよりを発行する。

刊行物名	内 容
研 究 報 告	原著論文、総説、短報、資料、事業報告、技術報告（年1回：500冊）
年 報	施設概要、事業概要、利用状況、予算概要等（年1回：500冊）
博 物 館 だ よ り	博物館行事、研究成果の紹介等（年3回：各1,400部）

(3) 友の会育成支援

青少年及び一般成人の科学に関する知識の普及啓発を図ることを目的として友の会活動について育成・支援する。

5 プラネタリウムの運営

宇宙、天文に関する購入番組（フルオート）を投影する。

(1) 投影回数・時間

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目
平 日	10 : 30 (団体専用)	12 : 00	14 : 00	16 : 00	—
休 日	10 : 30	12 : 00	13 : 30	15 : 00	16 : 30
G W 期 間 夏 季 期 間 (土 日 祝)	10 : 30	12 : 00	13 : 30	15 : 00	16 : 30

※ 平日の 1 回目投影は、団体予約が入っている場合のみ行う。

(2) 番組名・投影期間

通 年	新・恐竜大進撃	令和 2 年 4 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日
通 年	ナットのスペースアドベンチャー	令和 2 年 4 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日
通 年	ポラリス2	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 19 日
通 年	イルカのドビーと虹色の海	令和 2 年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日
通 年	ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎	令和 2 年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日
期間限定	ハッピークリスマス	令和 2 年 11 月 1 日～令和 2 年 12 月 27 日
通 年	南極大陸 宇宙に開かれた窓	団体専用
通 年	むしむし星空大行進	団体専用
通 年	シークレット・オブ・ザ・サン	団体専用
通 年	星の森 ～ The Twinkle Story ～	団体専用
通 年	スター・オブ・ファラオ ～ファラオの星～	団体専用
通 年	ユニバース	団体専用
幼児番組	ほしのくにでみつけた たからもの	団体専用
学習番組	スタジオ 4 4 4 - 空のフシギをさぐれ! -	団体専用

(3) メンテナンスによる投影休止期間

令和 2 年 7 月 27 日 (月)～29 日 (水)

令和 2 年 9 月 24 日 (水)～25 日 (木)

令和 3 年 2 月 16 日 (火)～17 日 (水)

生涯学習推進機能

生涯学習推進事業

東予コミュニティ・カレッジの開催支援

県生涯学習センターが企画する「東予コミュニティ・カレッジ」について、会場の提供をするなど、その支援を行う。

コース名	東予コミカレ1	概要	愛媛大学をはじめとした先生方によるスクーリングと、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただきます。様々な分野に特化された先生方のお話を聞くことができます。
講座名	現代教養講座(放送県民大学)		
時間帯	13:30 ~ 15:30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
講座の定員	30名		

回	開講日	テーマ(内容)	講師
1	9月13日(日)	清少納言のはかりごと - 中宮定子への想い -	愛媛大学 非常勤講師 聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶
2	10月25日(日)	学び含えひめ 対象講座 楽しき哉、Grammar! - 文法の窓からみる映画・音楽の世界	愛媛大学法文学部 教授 今泉 志奈子
3	12月6日(日)	学び含えひめ 対象講座 チンギス・カンと鉄と考古学	愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝

コース名	東予コミカレ2	概要	健やかで心豊かに生活するため、心と体の健康や社会福祉、介護について、幅広く学びます。
講座名	健康・福祉・介護講座		
時間帯	1・2・3 13:30 ~ 15:30 4・5 13:00 ~ 15:00		
会場	愛媛県総合科学博物館		
講座の定員	30名		

回	開講日	テーマ(内容)	講師
1	7月8日(水)	学び含えひめ 対象講座 気になる！介護保険制度	新居浜市介護福祉課 職員
2	8月19日(水)	学び含えひめ 対象講座 薬の基礎知識～薬との上手な付き合い方～	愛媛県薬剤師会 専務理事 縄田 幸裕
3	10月21日(水)	学び含えひめ 対象講座 高齢者の免疫力を高める食事と運動	管理栄養士 健康運動指導士 松本 孝子
4	11月25日(水)	学び含えひめ 対象講座 がんと遺伝子～よく分かるがんゲノム医療～	四国がんセンター 遺伝性がん診療科 山本 弥寿子
5	12月2日(水)	学び含えひめ 対象講座 女性のためのがんセミナー 2020	四国がんセンター 手術部長 竹原 和宏

コース名	東予コミカレ3	概要	だれもが地域学に気軽に取り組めるよう、地域学の魅力や調査方法をわかりやすく解説するとともに令和元年度に調査した宇和島市と四国中央市の調査研究の成果を紹介します。なお、4回目の講座は、現地学習会(定員20名)です。(希望者多数の場合、抽選とさせていただきます。)
講座名	ふるさとおもしろ講座		
時間帯	13:30 ~ 15:30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
講座の定員	30名		

回	開講日	テーマ(内容)	講師
1	8月20日(木)	学び舎えひめ 対象講座 紙聖・篠原朔太郎	愛媛県スポーツ・文化局文化局 まなび推進課 専門学芸員 富吉 将平
2	9月17日(木)	学び舎えひめ 対象講座 昭和の宇和島市のくらしと産業① (三間町、津島町)	愛媛県スポーツ・文化局文化局 社会教育主事 中野 亮
3	10月8日(木)	学び舎えひめ 対象講座 昭和の宇和島市のくらしと産業② (川之江市、伊予三島市)	愛媛県スポーツ・文化局文化局 まなび推進課 教育専門員 楠橋 佑樹
4	10月22日(木)	学び舎えひめ 対象講座 現地研修会(四国中央市コース)	愛媛県スポーツ・文化局文化局 まなび推進課 主任主事 武智 勝利

コース名	東予コミカレ4	概要	日本史上活躍した著名な人物や出来事を題材にして、その時代の特徴を学びます。
講座名	歴史講座		
時間帯	13:30 ~ 15:30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
講座の定員	30名		

回	開講日	テーマ(内容)	講師
1	7月5日(日)	学び舎えひめ 対象講座 歴史の道	愛媛県教育委員会管理部 文化財保護課 主幹 日和佐 宣正
2	9月6日(日)	古代における疫病とその対策 —見えないもの(霊・鬼・穢れ)を見る—	岡山理科大学 非常勤講師 白石 成二
3	10月4日(日)	壬申の乱と日本の誕生	公益財団法人 愛媛県埋蔵文化財センター 理事長 前園 実知雄
4	12月13日(日)	学び舎えひめ 対象講座 西条市 北竹ノ下Ⅰ遺跡の発掘調査結果	公益財団法人 愛媛県埋蔵文化財センター 調査課担当係長 池尻 伸吾

コース名	東予コミカレ5	概要	愛媛に関わりのある文学や歴史を学ぶことができます。まだまだ知らないことの多い、ふるさと愛媛の魅力を探りませんか。
講座名	愛媛の文学・歴史講座		
時間帯	13:30 ～ 15:30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
講座の定員	30名		

回	開講日	テーマ(内容)	講師
1	7月21日(火)	学び舎えひめ 対象講座 西条藩大阪蔵屋敷について ～主として貢租蔵入れと金融システムを中心に～	西古会代表 加藤 正典
2	9月1日(火)	学び舎えひめ 対象講座 「雨夜之伽草」と「祭礼絵巻」に見る 江戸時代の西条祭	祭礼風流研究集団「蝙蝠團」 会長 佐藤 秀之
3	11月17日(火)	学び舎えひめ 対象講座 西条藩の藩船と国入りの船行列	愛媛県歴史文化博物館 学芸課長 井上 淳
4	12月15日(火)	学び舎えひめ 対象講座 宇摩の変わり者?! 安藤正楽	NPO法人紙のまち図書館 暁雨館 学芸員 三宅 媛子

コース名	東予コミカレ6	概要	博物館・研究機関の専門分野を中心とした調査研究の内容を、詳しくかつ分かりやすい解説により学び、博物館・研究機関ならではの視点から、ふるさと愛媛の魅力をさぐります。
講座名	愛媛の博物館・研究機関講座		
時間帯	13:30 ～ 15:30		
会場	愛媛県総合科学博物館		
講座の定員	30名		

回	開講日	テーマ(内容)	講師
1	7月17日(金)	学び舎えひめ 対象講座 プレイバック1970 県立美術館設立50周年を記念して	愛媛県美術館 学芸課 専門学芸員 杉山 はるか
2	9月11日(金)	学び舎えひめ 対象講座 愛媛の身近な自然講座 「愛媛県における外来種対応状況」	愛媛県立衛生環境研究所 生物多様性センター 主任研究員 村上 裕
3	11月6日(金)	学び舎えひめ 対象講座 秋山家の歴史からみる近世・近代の社会	坂の上の雲ミュージアム学芸員 川島 佳弘
4	12月4日(金)	学び舎えひめ 対象講座 北極・南極から見た環境問題	愛媛県総合科学博物館 学芸課 学芸課長 丸尾 秀樹

V 令和元年度の利用状況

1 施設利用データ

(1) 月別利用状況

(ア) 常設展示 〈指定管理者制度導入前（～平成21年3月31日）〉

※（ ）は、小・中学生無料化後の人数で、観覧料免除者数の内書である。

年 月	総入館者	大 人	大 人 (団体)	小・中学生	小・中学生 (団体)	有料観覧者 小 計	観覧料 免除者	観覧者計
6年度計	170,727	79,203	5,247	27,697	2,612	114,759	15,494	130,253
7年度計	359,915	141,289	28,168	49,159	10,551	229,167	34,630	263,797
8年度計	257,341	85,742	18,517	28,761	10,711	143,731	47,337	191,068
9年度計	218,487	70,549	12,881	22,088	7,973	113,491	40,281	153,772
10年度計	221,161	62,145	12,940	21,742	7,931	104,758	36,445	141,203
11年度計	199,470	56,044	12,618	5,086	2,193	75,941	63,238	139,179
				(20,344)	(10,305)			
12年度計	166,483	48,864	8,433	(19,446)	(14,088)	57,297	62,765	120,062
13年度計	187,566	45,976	7,578	(27,331)	(13,074)	53,554	70,107	123,661
14年度計	176,477	43,087	7,212	(24,521)	(10,302)	50,299	61,705	112,004
15年度計	172,808	32,002	19,309	(22,945)	(13,273)	51,311	63,650	114,961
16年度計	174,730	41,555	6,226	(28,140)	(7,744)	47,781	66,037	113,818
17年度計	178,961	43,752	6,940	(28,565)	(8,122)	50,692	63,073	113,765
18年度計	179,482	45,202	6,914	(23,467)	(7,567)	52,116	62,376	114,492
19年度計	178,701	47,612	6,372	(24,248)	(7,230)	53,984	65,458	119,442
20年度計	169,171	40,665	6,442	(30,179)	(6,825)	47,107	63,457	110,564
累計	3,011,480	883,687	165,797	154,533	41,971	1,245,988	816,053	2,062,041
				(249,186)	(98,530)			

〈指定管理者制度導入後（平成21年4月1日～）〉

※ 平成21年4月1日より、65歳以上有料化後の人数である。

年 月	総入館者	大 人	大 人 (団体)	65歳以上	65歳以上 (団体)	有料観覧者 小 計	小・中学生	小・中学生 (団体)	観覧料 免除者	観覧者計
21年度計	236,017	67,113	4,424	4,550	875	76,962	(38,433)	(9,814)	87,726	164,688
22年度計	208,833	56,637	7,134	4,298	1,080	69,149	(26,279)	(14,508)	77,748	146,897
23年度計	208,998	58,702	5,079	4,585	807	69,173	(31,191)	(11,547)	77,859	147,032
24年度計	245,607	68,775	3,931	5,909	718	79,333	(42,014)	(13,848)	94,925	174,258
25年度計	213,887	58,904	3,353	5,292	752	68,301	(27,607)	(13,310)	75,648	143,949
26年度計	241,985	62,435	3,216	5,138	548	71,337	(27,647)	(11,788)	89,478	160,815
27年度計	245,698	65,634	2,921	5,895	759	75,209	(32,447)	(11,825)	88,802	164,011
28年度計	206,891	53,791	2,558	4,680	593	61,622	(22,743)	(11,703)	75,253	136,875
29年度計	200,213	49,890	2,602	4,604	357	57,453	(23,076)	(10,690)	65,688	123,141
30年度計	225,905	59,595	2,272	5,159	567	67,593	(26,826)	(8,155)	80,179	147,772
31年4月	18,660	5,927	122	614	28	6,691	(2,855)	(422)	6,855	13,546
元年5月	25,697	8,636	448	632	1	9,717	(4,183)	(884)	10,480	20,197
6月	13,020	3,576	335	235	55	4,201	(1,199)	(460)	4,520	8,721
7月	21,701	6,265	491	533	31	7,320	(2,561)	(937)	8,748	16,068
8月	44,169	14,765	248	1894	25	16,932	(7,971)	(739)	18,078	35,010
9月	18,028	5,897	108	368	48	6,421	(2,065)	(895)	7,331	13,752
10月	11,849	2,469	191	244	160	3,064	(843)	(1,432)	5,533	8,597
11月	13,204	2,118	216	357	100	2,791	(767)	(1,115)	5,799	8,590
12月	10,844	2,169	31	237	29	2,466	(1,548)	(263)	3,721	6,187
2年1月	16,182	4,568	7	451	1	5,027	(2,116)	(133)	5,335	10,362
2月	15,365	3,196	123	231	23	3,573	(986)	(1,054)	4,888	8,461
3月	3,765	1,612	2	109	0	1,723	(429)	(0)	1,493	3,216
元年度計	212,484	61,198	2,322	5,905	501	69,926	(27,523)	(8,334)	82,781	152,707
総累計	5,457,998	1,546,361	205,609	56,015	7,557	2,012,046	154,533	41,971	1,712,140	3,724,186
							(574,972)	(224,052)		

(イ) プラネタリウム

〈指定管理者制度導入前（～平成21年3月31日）〉

年 月	総入館者	大 人	大 人 (団体)	小・中学生	小・中学生 (団体)	小 計	観覧料 免除者	観覧者計
6年度計	170,727	26,234	2,397	10,407	1,864	40,902	10,557	51,459
7年度計	359,915	73,345	14,212	25,167	8,162	120,886	20,838	141,724
8年度計	257,341	56,383	11,507	18,016	8,646	94,552	32,719	127,271
9年度計	218,487	45,856	7,550	13,527	6,427	73,360	28,361	101,721
10年度計	221,161	39,976	7,643	12,635	6,351	66,605	22,012	88,617
11年度計	199,470	34,354	6,902	12,229	7,018	60,503	22,928	83,431
12年度計	166,483	30,459	4,356	11,026	6,488	52,329	18,983	71,312
13年度計	187,566	28,390	3,861	11,170	5,830	49,251	25,292	74,543
14年度計	176,477	24,962	3,335	9,965	4,707	42,969	21,172	64,141
15年度計	172,808	20,663	2,996	8,994	4,403	37,056	24,246	61,302
16年度計	174,730	19,409	3,116	8,461	3,465	34,451	22,904	57,355
17年度計	178,961	24,400	3,513	9,676	4,059	41,648	16,095	57,743
18年度計	179,482	22,415	3,674	9,115	4,228	39,432	17,674	57,106
19年度計	178,701	21,435	2,336	9,081	3,593	36,445	12,751	49,196
20年度計	169,171	19,155	2,114	7,753	2,915	31,937	14,629	46,566
累計	3,011,480	487,436	79,512	177,222	78,156	822,326	311,161	1,133,487

〈指定管理者制度導入後（平成21年4月1日～）〉

年 月	総入館者	大 人	大 人 (団体)	65歳以上	65歳以上 (団体)	小・中学生	小・中学生 (団体)	小 計	観覧料 免除者	観覧者計
21年度計	236,017	19,986	1,352	1,525	197	9,503	1,587	34,150	10,967	45,117
22年度計	208,833	44,703	4,020	3,255	1,002	15,004	5,592	73,576	26,544	100,120
23年度計	208,998	36,218	3,560	2,569	687	13,363	3,733	60,130	23,805	83,935
24年度計	245,607	35,308	2,628	2,736	712	14,732	5,332	61,448	28,147	89,595
25年度計	213,887	33,247	2,640	2,700	586	12,367	5,322	56,862	23,804	80,666
26年度計	241,985	34,342	1,883	2,576	495	14,342	3,414	57,052	27,353	84,405
27年度計	245,698	31,503	1,316	2,733	455	13,371	3,779	53,157	27,738	80,895
28年度計	206,891	28,833	1,342	2,286	281	12,437	3,748	48,927	27,148	76,075
29年度計	200,213	24,190	1,683	2,298	314	8,908	2,834	40,227	26,353	66,580
30年度計	225,905	25,658	1,398	2,273	347	10,901	3,552	44,129	27,450	71,579
31年4月	18,660	2,147	48	232	45	986	476	3,934	2,319	6,253
元年5月	25,697	3,225	245	241	0	1,513	806	6,030	2,546	8,576
6月	13,020	1,485	77	85	30	350	61	2,088	1,613	3,701
7月	21,701	2,853	206	251	4	1,036	384	4,734	2,964	7,698
8月	44,169	5,638	232	755	8	3,178	622	10,433	5,432	15,865
9月	18,028	2,572	6	176	0	943	479	4,176	2,457	6,633
10月	11,849	1,205	40	103	66	375	618	2,407	1,642	4,049
11月	13,204	1,068	103	153	77	337	210	1,948	1,717	3,665
12月	10,844	913	22	93	3	344	69	1,444	1,254	2,698
2年1月	16,182	1,711	0	181	0	553	0	2,445	1,622	4,067
2月	15,365	1,325	63	81	2	362	153	1,986	1,823	3,809
3月	3,765	680	0	45	0	145	0	870	377	1,247
元年度計	212,484	24,822	1,042	2,396	235	10,122	3,878	42,495	25,766	68,261
総累計	5,457,998	826,246	102,376	27,347	5,311	312,272	120,927	1,394,479	586,236	1,980,715

(2) 団体利用状況

区 分	団体数	人 数
小 学 校	72	4,670
中 学 校	18	2,092
中 高 一 貫 校	1	23
高 等 学 校	21	1,593
高等専門学校	0	0
幼稚園・保育園	72	3,272
特別支援学校	17	379
少 年 団 体	51	2,322
福 祉 施 設	23	612
高 齢 者 団 体	15	441
そ の 他	49	1,736
合 計	339	17,140

(注)少 年 団 体：子供会、愛護班、
少年野球チーム等
福 祉 施 設：福祉や介護の施設・団体
高 齢 者 団 体：高齢者の施設・団体
そ の 他：婦人会、自治会、民間企業、
県主催事業等

2 貸館利用データ

部屋名	件数	人数
多目的ホール	57	8,190
控 室 1	31	—
控 室 2	34	—
第 1 研 修 室	66	3,031
第 2 研 修 室	35	554
会 議 室	0	0
オリエンテー ションルーム	3	95
企 画 展 示 室	0	0
合 計	226	11,870

*控室1及び2の利用人数については、主たる貸館に含む

3 臨時休館日

令和元年9月25日（水）～9月26日（木）……………常設展示メンテナンス

令和2年2月18日（火）～2月19日（水）……………〃

VI 関係法規

博物館の登録に関する規則

制 定：昭和27年 8 月15日教育委員会規則第11号
最終改正：平成18年 9 月 1 日教育委員会規則第11号

博物館の登録に関する規則を次のように定める。

博物館の登録に関する規則

(登録)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）（以下「法」という。）第10条の規定による登録を受けようとするものは、様式第1号による登録申請書を愛媛県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に提出しなければならない。

(登録の審査)

第2条 教育委員会は法第12条に規定する登録要件の審査に当り実地調査及び学識経験者の意見を徴する等、審査の適正を期さなければならない。

(登録原簿)

第3条 教育委員会は、登録を許可したときは遅滞なく様式第2号による博物館登録簿に記載しなければならない。

(記載事項の変更)

第4条 登録申請書の記載事項について変更があつたときは、直ちに様式第3号により教育委員会に届け出なければならない。但し、博物館資料の軽微な変更については、毎年9月末日及び3月末日までに届け出るものとする。

(博物館の廃止)

第5条 博物館を廃止した時は、その理由の生じた日から20日以内に様式第4号によつて教育委員会に届け出なければならない。

(告示)

第6条 教育委員会は、次に掲げる事項については、その都度公示しなければならない。

- (1) 法第10条の規定による登録をしたとき
- (2) 法第13条第2項の規定による変更登録をしたとき
- (3) 法第14条第1項の規定による登録の取消をしたとき
- (4) 法第15条第2項の規定による登録を抹消したとき

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和38年 5 月31日教育委員会規則第11号）

- 1 この規則は、昭和38年 6 月 1 日から施行する。
- 2 この規則施行前に、この規則による改正前の関係規則の規定により提出された申請書その他の書類は、この規則による改正後の規則の相当規定により提出されたものとみなす。

附 則（平成 6 年 9 月30日教育委員会規則第 7 号抄）

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 6 年10月 1 日から施行する。

附 則（平成18年 9 月 1 日教育委員会規則第11号）

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この規則施行の際現にある改正前のそれぞれの規則の様式の規定による書類の用紙は、平成18年度に限り使用することができる。

愛媛県県立博物館設置条例

制 定：昭和45年3月20日条例第7号

最終改正：令和2年3月27日条例第9号

愛媛県県立博物館設置条例を次のように公布する。

愛媛県県立博物館設置条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、県立博物館を別表第1のとおり設置する。
一部改正〔平成20年条例24号〕

(分館)

第2条 県立博物館に、必要に応じて分館を設置することができる。

追加〔昭和54年条例19号〕

(指定管理者に管理を行わせることができる県立博物館)

第3条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づき知事が指定する法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に管理を行わせることができる県立博物館は、別表第2のとおりとする。

追加〔平成20年条例24号〕

(指定管理者の指定)

第4条 指定管理者の指定を受けようとする法人その他の団体は、その指定を受けて管理を行おうとする県立博物館ごとに、申請書に管理計画書その他知事が定める書類を添えて、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

2 知事は、前項の申請の手続について、あらかじめ、公表しなければならない。

3 知事は、第1項の規定による申請があつたときは、当該申請に係る県立博物館の管理を適正かつ確実に行うことができると認められる法人その他の団体であつて、当該県立博物館の設置の目的を最も効果的かつ効率的に達成することができると認められるものを選定し、議会の議決を経て、指定管理者として指定するものとする。

追加〔平成20年条例24号〕

(指定の公示等)

第5条 知事は、指定管理者の指定をしたとき、又はその指定を取り消し、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、当該指定管理者の名称、住所その他の知事が定める事項を公示しなければならない。

2 指定管理者は、その名称、住所その他の知事が定める事項を変更しようとするときは、変更しようとする日の2週間前までに、その旨を知事に届け出なければならない。

3 知事は、前項の規定による届出があつたときは、その旨を公示しなければならない。

追加〔平成20年条例24号〕

(指定管理者の原状回復義務等)

第6条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消されたときは、その管理をしなくなった県立博物館を直ちに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

2 知事は、指定管理者が故意又は過失により県立博物館を損傷し、又は滅失した場合は、原状回復又は損害賠償を命ずることができる。

追加〔平成20年条例24号〕

(雑則)

第7条 県立博物館の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔昭和54年条例19号・平成20年24号〕

附 則

1 この条例は、昭和45年4月1日から施行する。

2 愛媛県立博物館設置条例(昭和36年愛媛県条例第26号)は、廃止する。

附 則（昭和50年12月23日条例第36号）

この条例は、昭和51年1月1日から施行する。

附 則（昭和54年3月16日条例第19号）

1 この条例は、昭和54年4月1日から施行する。

2 愛媛県立美術館使用料条例（昭和45年愛媛県条例第9号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則（平成10年3月24日条例第15号抄）

（施行期日）

1 この条例中、第2条（中略）の規定は平成10年4月1日から（中略）施行する。

附 則（平成12年3月24日条例第30号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日条例第10号）

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月25日条例第37号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月28日条例第24号）

この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第2条中愛媛県立博物館設置条例第3条を同条例第7条とし、同条例第2条の次に4条を加える改正規定（同条例第4条及び第5条に係る部分に限る。）は公布の日から（中略）施行する。

附 則（平成20年10月17日条例第60号）

この条例中、（中略）第2条の規定は平成21年4月1日から施行する。

別表第1（第1条関係）

名 称	位 置
愛媛県総合科学博物館	新居浜市
愛媛県歴史文化博物館	西予市
愛媛県美術館	松山市

一部改正〔昭和50年条例36号・平成10年15号・12年30号・16年10号・17年37号・20年24号・60号〕

別表第2（第3条関係）

愛媛県総合科学博物館
愛媛県歴史文化博物館

追加〔平成20年条例24号〕

愛媛県総合科学博物館管理条例

制 定：平成20年3月28日条例第26号

最終改正：令和2年3月27日条例第9号

愛媛県総合科学博物館管理条例を次のように公布する。

愛媛県総合科学博物館管理条例

(趣旨)

第1条 この条例は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第2条 博物館は、博物館法（昭和26年法律第285号）第3条に規定する事業に係る業務を行う。

2 前項に定めるもののほか、博物館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) プラネタリウムの運営に関すること。
- (2) 生涯学習の促進及び援助に関すること。
- (3) 施設の提供に関すること。
- (4) その他必要な業務

(指定管理者が行う業務)

第3条 博物館の指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、知事が指定する法人その他の団体をいう。以下「指定管理者」という。）は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 前条第1項に規定する業務のうち知事が定める業務の実施に関すること。
- (2) 前条第2項各号に掲げる業務の実施に関すること。
- (3) 博物館の利用の許可に関すること。
- (4) 博物館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の収受に関すること。
- (5) 博物館の利用の促進に関すること。
- (6) 博物館の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）の維持管理に関すること。
- (7) その他知事が定める業務

(開館時間等)

第4条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、別表第1の1の項から6の項までに掲げる施設は、午前9時から午後10時まで利用することができる。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、第1項の開館時間及び前項の利用時間を変更することができる。

(休館日)

第5条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）
- (2) 1月1日から3日まで及び12月29日から31日まで

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は休館日に博物館を利用させることができる。

3 第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、同項の休館日を変更することができる。

(禁止行為)

第6条 博物館を利用する者は、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、知事の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他の危険物の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為

(4) 宣伝その他これに類する行為

(5) 広告物の表示若しくは配布又は広告物を掲出する物件の設置

2 前項の規定は、第8条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）の当該許可に係る行為については、適用しない。

（入館の制限等）

第7条 指定管理者は、博物館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、博物館への入館を禁じ、その利用を制限し、又は退館を命ずることができる。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

(1) 前条第1項の規定に違反し、又は違反するおそれがあるとき。

(2) 博物館の秩序を乱し、又は乱すおそれがあるとき。

(3) 博物館の施設等又は博物館が収集し、保管し、若しくは展示する資料（以下「博物館資料」という。）を滅失し若しくは損傷し、又は滅失し若しくは損傷するおそれがあるとき。

(4) 指定管理者の職員の指示に従わないとき。

（利用の許可）

第8条 博物館の展示室又はプラネタリウムを観覧しようとする者及び次に掲げる施設等を利用しようとする者は、指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

(1) 別表第1に掲げる施設

(2) 指定管理者が定める附属設備及び備品

2 指定管理者は、前項の許可をする場合において、博物館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

（許可の基準）

第9条 指定管理者は、博物館の展示室又はプラネタリウムを観覧しようとする者及び前条第1項各号に掲げる施設等を利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、同項の許可をしないものとする。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

(1) 博物館の秩序を乱すおそれがあるとき。

(2) 博物館の施設等又は博物館資料を滅失し、又は損傷するおそれがあるとき。

（許可の取消し等）

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その許可を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することができる。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

(1) この条例に違反し、又は指定管理者の職員の指示に従わないとき。

(2) 偽りその他不正な手段により第8条第1項の許可を受けたとき。

(3) 風俗を乱すおそれがあるとき。

(4) 第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。

（利用料金の納付）

第11条 利用者は、利用料金を指定管理者に納付しなければならない。

2 利用料金は、博物館の利用の前に納付しなければならない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、後納させ、又は分納させることができる。

3 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の額）

第12条 利用料金の額は、別表第1及び別表第2に定める額の範囲内で指定管理者が定める額とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別の展示に係る利用料金の額は、当該特別の展示に要する費用を勘案して指定管理者がその都度定める額とする。

3 前2項に定めるもののほか、指定管理者が定める附属設備及び備品の利用料金の額は、実費を勘案して指定管理者が定める額とする。

4 指定管理者は、利用料金の額を定めようとするときは、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。その額を変更しようとするときも、同様とする。

5 指定管理者は、前項の承認を受けたときは、利用料金の額を公表しなければならない。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、次に掲げる者に対しては、別表第2に掲げる利用料金を免除しなければならない。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として、プラネタリウムを観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒及びこれらの引率者、展示室又はプラネタリウムを観覧する県内の高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の生徒及びその引率者並びに展示室を観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒の引率者
 - (2) 身体に障害を有する者で、本人又はその保護者が身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けているもの及びその介護者
 - (3) 療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）の交付を受けている者及びその介護者
 - (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者
- 2 前項各号に掲げる者が同項の利用料金の免除を受けようとする場合は、同項各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
- 3 指定管理者は、第1項に掲げるもののほか、次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金を減免することができる。
- (1) 県又は指定管理者が博物館の目的を達成するために利用するとき。
 - (2) 知事が特に必要があると認めて指示するとき。
 - (3) 指定管理者が博物館の施設等を利用する者の間の均衡を失しない範囲内において適当と認めるとき。
- (利用料金の不還付)

第14条 指定管理者が既に収受した利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

- (1) 天災その他利用者の責めに帰することができない理由により利用が不能となったとき。
 - (2) 前号に掲げるもののほか、指定管理者がやむを得ないと認めたとき。
- (博物館資料の特別利用)

第15条 博物館資料の閲覧、撮影、複写、模写、模造等又はこれらにより得たものの展示若しくは刊行物への掲載（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

- 2 知事は、前項の許可をする場合において、博物館資料の管理上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

(特別利用料の納付)

第16条 営利を目的として博物館資料の特別利用をしようとする者で前条第1項の許可を受けたもの（以下「特別利用者」という。）は、当該特別利用に係る使用料（以下「特別利用料」という。）を納付しなければならない。

- 2 特別利用料は、博物館資料の特別利用の前に納付しなければならない。ただし、知事が必要と認めるときは、後納させることができる。

(特別利用料の額)

第17条 特別利用料の額は、博物館資料1点の特別利用1回につき、5,230円の範囲内で知事が定める額とする。

(特別利用料の減免)

第18条 知事は、特に必要と認める者に対しては、その特別利用料を減免することができる。

(特別利用料の不還付)

第19条 既に納付した特別利用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

- (1) 天災その他特別利用者の責めに帰することができない理由により特別利用が不能となったとき。
 - (2) 特別利用者が知事が定める日までに特別利用の取消しを申し出て、知事がやむを得ないと認めたとき。
- (博物館資料の館外貸出し)

第20条 知事は、博物館の業務に支障がない場合で、自然史等に関する学術上の調査研究又は啓発のため

に特に必要と認められ、かつ、博物館資料の取扱い上の安全が確認できるときは、博物館資料の館外貸出しを行うことができる。

2 前項の規定により館外貸出しを受けようとする者は、知事の許可を受けなければならない。当該館外貸出しの許可を受けた者がその期間を延長しようとするときも、同様とする。

3 知事は、前項の許可をする場合において、博物館資料の管理上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

4 知事は、館外貸出期間中であっても、館外貸出しを許可した博物館資料の返還を求めることができる。
(損害賠償等)

第21条 自己の責めに帰すべき理由により、博物館の施設等又は博物館資料を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。
(知事による管理)

第22条 博物館の管理を指定管理者が行うことができないときは、知事は、博物館の管理に係る業務を行うものとする。

2 第11条第1項及び第2項、第12条第1項から第3項まで、第13条(第3項第1号及び第3号を除く。)並びに第14条の規定は、前項の場合に準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

読み替える規定	読み替えられる字句	読み替える字句
第11条の見出し	利用料金	使用料
第11条第1項	利用者	博物館を利用する者(以下「利用者」という。)
	利用料金	使用料
	指定管理者に納付しなければ	納付しなければ
第11条第2項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
	後納させ、又は分納させる	後納させる
第12条の見出し	利用料金	使用料
第12条第1項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
第12条第2項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
第12条第3項	指定管理者が定める附属設備	博物館の附属設備
	利用料金	使用料
	指定管理者が定める額	知事が定める額
第13条の見出し	利用料金	使用料
第13条第1項各号列記以外の部分	指定管理者	知事
	利用料金	使用料
	免除しなければならない	免除するものとする
第13条第2項	利用料金	使用料
第13条第3項各号列記以外の部分	指定管理者	知事
	利用料金	使用料
第13条第3項第2号	認めて指示する	認める
第14条の見出し	利用料金	使用料
第14条各号列記以外の部分	指定管理者が既に収受した利用料金	既に納付した使用料
第14条第2号	前号に掲げるもののほか、指定管理者	別表第1に掲げる施設の利用者が知事の定める日までに利用の取消しを申し出て、知事

(補則)

第23条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則 (平成26年3月28日条例第9号抄)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成28年3月29日条例第29号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年7月9日条例第3号抄)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1 (第4条、第8条、第12条関係)

区 分	単 位	金 額
1 多目的ホール	1時間につき	3,100円
2 控室	1室1時間につき	230円
3 研修室	1室1時間につき	1,630円
4 ミーティングルーム	1時間につき	900円
5 会議室	1時間につき	840円
6 オリエンテーションルーム	1時間につき	1,440円
7 企画展示室	1時間につき	3,180円

備考1 利用時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間として計算する。

2 利用時間が1時間未満のときは、1時間として計算する。

別表第2 (第12条、第13条関係)

1 展示室観覧料

区分	単位	金額
15歳以上の者(中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を除く。)	1人1回につき	780円

2 プラネタリウム観覧料

区分	単位	金額
15歳以上の者(中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を除く。)	1人1回につき	780円
小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒	1人1回につき	520円

愛媛県総合科学博物館管理規則

制定：令和2年3月27日愛媛県規則第13号

愛媛県総合科学博物館管理規則を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(特別利用の許可の申請等)

第2条 愛媛県総合科学博物館管理条例（平成20年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第15条第1項の規定による博物館資料の特別利用の許可を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。この場合において、当該博物館資料が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

2 館長は、前項の規定による特別利用の許可の申請があった場合において、特別利用が適当であると認めるときは、特別利用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可書（様式第2号）を交付するものとする。

(特別利用料の額)

第3条 条例第17条に規定する知事が定める特別利用料の額は、別表に掲げるとおりとする。

(特別利用料の減免)

第4条 知事は、条例第18条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、特別利用料を免除する。

(1) 自然史、科学技術及び産業史に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特別利用をする者で、知事が必要と認めるもの

(2) 博物館の広報に関し効果があると認められる用途に供することを目的として特別利用をする者

2 知事は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第18条の規定に基づき、特別利用料を免除し、又はその一部を減額することがある。

(特別利用料の還付)

第5条 条例第19条第2号に規定する知事が定める日は、利用日の前日とする。

第6条 条例第19条ただし書の規定により、知事は、次の各号に掲げる場合においては、それぞれ当該各号に定める額を還付する。

(1) 条例第19条第1号に該当する場合 特別利用料の全額

(2) 条例第19条第2号に該当する場合 特別利用料の50パーセントに相当する額

2 前項の規定により特別利用料の還付を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料特別利用料還付申請書（様式第3号）を知事に提出しなければならない。

(館外貸出しの許可の申請等)

第7条 条例第20条第2項の規定による博物館資料の館外貸出しの許可を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可申請書（様式第4号）を館長に提出しなければならない。この場合において、当該博物館資料が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

2 館長は、前項の規定による館外貸出しの許可の申請があった場合において、館外貸出しが適当であると認めるときは、館外貸出しの許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可書（様式第5号）を交付するものとする。

3 博物館資料の館外貸出期間は、50日以内とする。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

4 博物館資料の館外貸出しを受けた者は、その館外貸出期間を延長しようとするときは、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長申請書（様式第6号）を館長に提出しなければならない。

5 館長は、前項の規定による館外貸出期間の延長の申請があった場合において、やむを得ない理由があると認めるときは、館外貸出期間の延長を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長決定書（様式第7号）を交付するものとする。

(資料の寄贈又は寄託)

第8条 博物館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄贈しようとする者は愛媛県総合科学博物館資料寄贈申出書(様式第8号)を、資料を寄託しようとする者は愛媛県総合科学博物館資料寄託申請書(様式第9号)を館長に提出しなければならない。
- 3 館長は、前項の規定による寄贈の申出又は寄託の申請があった場合において、当該寄贈の申出又は寄託の申請に係る資料の受入れが適当であると認め、当該資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に対し、愛媛県総合科学博物館寄贈資料受領証(様式第10号)又は愛媛県総合科学博物館寄託資料預り証(様式第11号)を交付しなければならない。
- 4 寄託を受ける資料の取扱いについては、館長が寄託しようとする者と協議して定める。
- 5 県及び指定管理者は、寄託を受けた資料の不可抗力による損害に対しては、その責めを負わないものとする。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

特別利用料

区分	単位	金額
閲覧	1点1回につき	520円
模写・模造	1点1回につき	5,230円
撮影・複写	1点1回につき	5,230円
原版使用	1点1回につき	5,230円

注1 小型の物で1組又は1箱となっているものは、1組又は1箱を1点とする。

2 多数の物で1そろい又は1具となっているものは、数量に応じて数点に分けるものとする。

3 その他の資料は、各個を1点とする。

様式第1号(第2条関係)	愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可申請書
様式第2号(第2条関係)	愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可書
様式第3号(第6条関係)	愛媛県総合科学博物館特別利用料還付申請書
様式第4号(第7条関係)	愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可申請書
様式第5号(第7条関係)	愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可書
様式第6号(第7条関係)	愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長申請書
様式第7号(第7条関係)	愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長決定書
様式第8号(第8条関係)	愛媛県総合科学博物館資料寄贈申出書
様式第9号(第8条関係)	愛媛県総合科学博物館資料寄託申請書
様式第10号(第8条関係)	愛媛県総合科学博物館寄贈資料受領証
様式第11号(第8条関係)	愛媛県総合科学博物館寄託資料預り証

愛媛県総合科学博物館処務規程

制 定：平成30年4月1日訓令第9号

最終改正：令和2年3月27日訓令第2号

スポーツ・文化部

東予地方局

総合科学博物館

愛媛県総合科学博物館処務規程を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館処務規程

(趣旨)

第1条 この訓令は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の処務に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 館長は、知事の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 副参事は、上司の命を受け、重要な事務を処理する。

3 課長は、上司の命を受け、課務を掌理し、部下職員を指揮監督する。

4 専門員は、上司の命を受け、専門事項について絶えず調査研究を行い、当該専門事項に係る事務を分担する職員を指導し、かつ、高度の専門事項を自ら処理する。

5 専門学芸員は、上司の命を受け、専門事項について絶えず調査研究を行い、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、特に高度な調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

6 担当係長は、上司の命を受け、担当事務を管理する。

7 主任は、上司の命を受け、特定の事務を処理する。

8 主任学芸員は、上司の命を受け、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、高度な調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

9 学芸員は、上司の命を受け、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

10 主事及びその他の職員は、上司の命を受け、館務に従事する。

(専決事項)

第3条 館長の専決処理すべき事項は、次のとおりとする。ただし、異例又は重要と認められるものについては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。

(1) 文書の管理に関すること。

(2) 館務に関し職名又は館名で文書を施行すること。

(3) 公文書の公開に関すること（公文書の公開の請求（申請を含む。）に対する決定又は当該請求に係る不作為についての審査請求（不服の申出を含む。）に関するものを除く。）。

(4) 個人情報取扱事務の登録に関すること。

(5) 個人情報の開示、訂正及び利用停止に関すること（個人情報の開示、訂正及び利用停止の請求に対する決定又はこれらの請求に係る不作為についての審査請求に関するものを除く。）。

(6) 所属職員の休暇、育児休業等その他服務に関すること。

(7) 所属職員の出張（館長の海外出張を除く。）に関すること。

(8) 所属職員の事務分掌に関すること。

(9) 1,000万円未満の税外収入の決定（寄附の受入れの決定を除く。）に関すること。

(10) 1件500万円未満の支出を伴う事件（工事を除く。）の決定及びその執行に関すること。

(11) 博物館の使用料の徴収、減免及び還付に関すること。

(12) その他軽易又は常例に属する事務の執行に関すること。

(代決)

第4条 館長が不在のときは、学芸課長が代決する。

2 前項の規定により代決した事務で重要なものは、後閲を受けなければならない。

(簿冊の整備)

第5条 博物館は、必要な簿冊を備え付けて、整理しておかなければならない。

（他の規程の準用）

第6条 この訓令に定めるもののほか、博物館の処務については、愛媛県処務細則（昭和29年愛媛県訓令第5号）の例による。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

愛媛県総合科学博物館管理運営規程

伊予鉄総合企画株式会社

(趣旨)

第1条 この規程は、伊予鉄総合企画株式会社（以下、当社という。）が愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）を管理運営するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間等)

第2条 博物館の開館時間は、次の通りとする。

(1) 午前9時から午後5時30分まで。

(2) ゴールデンウィーク、お盆特別イベント、夜間イベント実施に要する時間として、当社が決定した時間。

2 前項各号の規定にかかわらず、別表第1の1の項から7の項までに掲げる施設並びに別表第2に掲げる附属設備及び備品は、午前9時から午後10時まで利用することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）

(2) 1月1日及び12月29日から同月31日まで（以下「年末年始」という。）

(3) 第1号にかかわらず、学校長期休業期間（春期、夏期に小学校及び中学校が長期的に休業する期間で、年末年始を除き、標準的な休業期間を勘案して当社が決定する期間）及びゴールデンウィーク期間（4月下旬から5月上旬に掛けて祝日及び日曜日が集中する期間で、日程を勘案して当社が決定する期間）に含まれる毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日は休館日としない。

(4) 事前に愛媛県と協議の上、博物館の管理運営上必要であると認められる場合は、休館日を変更することができる。

(禁止行為)

第4条 博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、愛媛県総合科学博物館管理条例（平成20年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第6条に定めるもののほか、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 所定の場所以外で飲食すること。

(2) 所定の場所以外で焚き火をすること。

(3) 所定の場所以外に車両を乗り入れること。

(4) 立入が禁止されている区域に立ち入ること。

(5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となるおそれがある物品又は動物の類を携帯すること。

(6) 承認を得ないで、博物館の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）に特別の設備をし、又はその原状を変更すること。

(7) みだりに共用の場所に物品を放置すること。

(8) 前各号に定めるもののほか、博物館の秩序を乱すような行為をすること。

(入館等の制限)

第5条 当社は、利用者が条例第7条に定めるもののほか、前条の規定に違反し、又は違反するおそれがあると認めるときは、博物館への入館を禁じ、その利用を制限し、又は退館を命ずることが出来る。

(利用又は観覧の許可を要する施設等)

第6条 条例8条第1項の規定に基づき、利用又は観覧に当たり当社の許可を要する施設等は、別表第1、別表第2及び別表第3に掲げる施設等とする。

(施設の利用の許可)

第7条 前条の規定に基づき、別表第1及び別表第2に掲げる施設等の利用の許可を受けようとする者は、それぞれ次の各号に定める期間内に、愛媛県総合科学博物館施設利用許可申請書(様式第1号。以下「利用許可申請書」という。)を当社に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 別表第1に掲げる施設のうち、多目的ホール、控室及び企画展示室 利用日の1年前から7日前まで
 - (2) 別表第1に掲げる施設のうち、研修室、会議室、オリエンテーションルーム 利用日の6月前から2日前まで
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、所定の期間外に利用許可申請書の提出を認めるものとする。
- (1) 国又は地方公共団体が利用する場合
 - (2) 大規模な行事等のため、所定の期間前から準備を始める必要があると認められる場合
 - (3) その他当社が特に理由があると認める場合
- 3 当社は、利用許可申請書の受付を、開館日(第3条に規定する休館日以外の日をいう。以下同じ。)の開館時間の間に行うものとする。
- 4 受付は、原則として利用許可申請書が提出された順序により行うものとし、同一時期の利用許可申請書が同時に2人以上の者から提出されたときは、抽選により、その順序を決定する。
- 5 当社は、利用許可申請書の提出があった場合は、その内容を審査し、条例第9条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合を除き、当該申請書を受理するものとする。
- 6 当社は、前項の規定により受理した利用許可申請書について、原則として利用許可申請書を受理した順序により、利用の許可を決定するものとする。
- 7 当社は、利用の許可に当たり、博物館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、許可に条件を付することがある。
- 8 当社は、第6項の規定により利用の許可を決定したときには、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館利用許可書(様式第2号。以下「利用許可書」という。)を交付する。
- なお、利用許可書は、利用料金の納付があったときに交付するものとするが、第12条に基づき、利用料金を後納させ、又は分納させる場合にあっては、この限りではない。
- 9 前各項の規定にかかわらず、当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために施設等を利用するとき、又は当社が主催若しくは共催して博物館の目的を達成するために必要な事業を行う者が施設等を利用するときは、当社における事業の実施の決定をもって、前各項に定める利用の申請及び許可があったものとみなす。
- 10 利用許可書を交付された者(以下「施設等利用者」という。)は、施設等の利用に当たり、当社の求めに応じて利用許可書を提示しなければならない。
- 11 施設等利用者は、許可を受けた施設等の利用に係る権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(展示室等の観覧の許可)

第8条 第6条の規定に基づき、別表第3に掲げる博物館の展示室又はプラネタリウム(以下「展示室等」という。)の観覧の許可を受けようとする者は、観覧する前に、第13条に定める観覧しようとする展示室等の観覧料金を当社に納付しなければならない。

- 2 当社は、観覧料金納付の受付を、開館日の開館時間の間に行うものとする。
- 3 受付は、原則として観覧料金が提出された順序により行うものとし、当社は、条例9条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合を除き、提出された観覧料金を受理し、受理をもって観覧の許可を決定したものとし、展示観覧券を交付する。

(利用許可の変更及び取消し)

第9条 施設等利用者は、利用日時、利用目的、入場料徴収の有無その他当社が定める事項を変更しようとするとき、若しくは許可の取消しを求めるときは、あらかじめ愛媛県総合科学博物館利用変更(取消し)許可申請書(様式第3号)に利用許可書を添えて当社に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可に当たっては、第7条の規定を準用するものとする。

(利用許可の取消し等)

- 第10条** 当社は、第7条から第9条までの規定に基づく利用の許可を受けた者が、条例第10条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合のほか、この規程に違反すると認めるときは、その利用の許可を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することがある。
- 2 前項の規定に基づき取消し等を行う場合は、当社は愛媛県総合科学博物館利用許可取消し等命令書（様式第4号）を交付するものとする。ただし、当社が必要と認めるときは、口頭で命令できるものとする。

(利用料金の納付)

- 第11条** 当社は、第7条の規定により施設等の利用の許可を決定したとき、当該申請者に対し、それぞれの利用にかかる利用料金の納付の通知を行うものとする。
- 2 申請者は、前項の利用料金の納付の通知を受けたときは、直ちに利用料金を当社に納付し、利用許可書の交付を受けるものとする。

(利用料金の後納等)

- 第12条** 条例第11条第2項に基づき、次の各号に掲げる場合にあっては、利用料金を後納させ、又は分納させることがある。
- (1) 国又は地方公共団体が利用する場合
 - (2) 許可された利用時間を超えて利用した場合
 - (3) その他当社がやむを得ないと認める場合

(利用料金の額)

- 第13条** 条例第12条に基づき、当社が定める利用料金の額は、別表第1、別表第2及び別表第3に掲げるとおりとする。

(施設等利用料金の減免)

- 第14条** 別表第1及び別表第2に掲げる施設等の利用料金については、条例第13条の規定に基づき、当社では、次の各号に該当すると認める場合、それぞれ当該各号に定める額を減免する。
- (1) 愛媛県及び当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために利用する場合 施設利用料金の全額
 - (2) 愛媛県及び当社が主催又は共催して、博物館の目的を達成するために必要な事業等を行う者が利用する場合 施設利用料金の全額
 - (3) 愛媛県が特に必要があると認めて利用する場合 施設利用料金の全額
 - (4) その他当社が利用者間の均衡を失しない範囲内において適当と認める場合 個別の事例ごとに県知事と協議して、当社が決定する額
- 2 前項の規定により施設等利用料金の減免を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館利用料金減免申請書（様式第5号）及び当社が必要と認める資料を、利用許可申請書に添えて当社に提出するものとする。
- 3 当社は、施設等利用料金の減免を決定したときは、利用許可書にその旨を記載するものとする。
- 4 前2項の規定にかかわらず、第1項第1号及び同項第2号に掲げる場合にあっては、当社における事業の実施の決定をもって、前2項に定める減免の申請及び決定があったものとみなす。

(展示室等観覧料金の減免)

- 第15条** 別表第3に掲げる展示室等の観覧料金については、条例第13条第1項に基づく免除を行うほか、同条第3項の規定に基づき、当社では、次の各号に掲げるものに対し、それぞれ当該各号に定める額を減免する。
- (1) 友の会の会員 観覧料金の全額
 - (2) 愛媛県及び当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために観覧する場合 観覧料金の全額
 - (3) 愛媛県及び当社が主催又は共催して、博物館の目的を達成するために必要な事業等を行う者が観覧する場合 観覧料金の全額

- (4) 県知事が施設の利用促進上、特に必要と認める場合 観覧料金の全額
- (5) その他当社が展示室等の観覧者間の均衡を失しない範囲内において適当と認める場合 個別の事例ごとに教育委員会と協議して、当社が決定する額
- 2 条例第13条第1項第1号の規定により展示室等観覧料金の免除を受けようとするときは、あらかじめ、学校長が愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書(様式第6号)を当社に提出しなければならない。
- 3 条例第13条第1項第2号から第4号までの各規定により展示室等観覧料金の免除を受けようとする者は、当該各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
- 4 第1項第1号に掲げる者が展示室等の観覧料金の減免を受けようとする場合は、同号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
- 5 第1項第2号から第5号の規定により展示室等の観覧料金の減免を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書(様式第6号)及び当社が必要と認める資料を、当社に提出するものとする。
- 6 前項の規定にかかわらず、第1項第3号及び同項第4号に掲げる場合にあっては、当社における事業の実施の決定をもって、前項に定める減免の申請及び決定があったものとみなす。
- 7 観覧料の免除又は減免対象と確認できた場合は、利用者に無料観覧券を発行する。

(いーよポイントによる減免)

- 第16条** 第14条及び第15条の規定にかかわらず、「ボランティア活動を促進するための教育委員会所管の教育機関の使用料減免規則」(平成15年愛媛県教育委員会規則第9号)第2条第2項に規定する「いーよポイント」との引換えにより、別表第1及び別表第2に掲げる施設等の利用料金及び、別表第3に掲げる展示室等の観覧料金を減免するものとする。
- 2 その他「いーよポイント」による減免に関し必要な事項は、別途定める。

(利用料金の還付)

- 第17条** 当社は、次の各号のいずれかに該当するときは、既に収受した利用料金のうち、それぞれ当該各号に定める額を還付するものとする。
- (1) 条例第14条第1項第1号に該当すると認める場合 利用料金の全額
 - (2) 別表第4に掲げる施設の利用の許可を受けた者が、それぞれ同表に掲げる日までに、第9条の規定に基づき、利用の許可の変更又は取消しの許可を受けた場合 それぞれ同表に掲げる額
 - (3) その他当社がやむを得ないと認める場合 当社が適当と認める額
- 2 前項の規定により利用料金の還付を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館利用料還付申請書(様式第7号)を当社に提出しなければならない。

(参加料金の徴収)

- 第18条** 当社は、博物館の目的を達成するために必要な事業を実施するに当たり、必要と認めるときは、事業に参加する者から参加に係る料金(以下「参加料金」という。)を徴収することがある。
- 2 参加料金を徴収する事業及びその額は、当社が事業の実施計画を決定する際に、事業内容を勘案して定める。
 - 3 参加料金を徴収する事業に参加しようとする者は、参加する前に参加料金を納付しなければならない。なお、当社が適当と認めるときは、参加料金を後納させ、又は分納させることがある。
 - 4 当社は、参加料金の納付が確認できたときに、当該納付をした者に対し、事業の参加を認めるものとする。
 - 5 事業の参加料金を減免することを目的に当社が発行した証票(以下「事業参加料金減免券」という。)を提示又は納付した者に対しては、それぞれ証票に記載した額を減免するものとする。
 - 6 当社は、やむを得ない理由があると認めるときは、既に徴収した参加料金のうち、適当と認める額を還付することがある。

(施設等損傷の届出及び損害賠償等)

- 第19条** 博物館の施設等を損傷した者は、直ちにその旨を当社に届け出なければならない。
- 2 自己の責めに帰すべき理由により、博物館の施設等を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又は

それによって生じた損害を賠償しなければならない。

（原状回復義務）

第20条 利用者は、博物館の施設等の利用が終わったとき又は利用の許可を取り消されたときは、博物館の職員の指示に従い、速やかに附属設備及び備品を所定の場所に整理し、現状に回復しなければならない。

（当社の指示及び調査）

第21条 当社は、博物館の秩序の維持及び管理上必要があると認めるときは、利用者に対し、その利用に関し指示をし、又は利用中の施設に職員を立ち入らせ利用の状況を調査させることができる。

（補則）

第22条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営に関し必要な事項は、当社が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規定は、平成28年4月1日から改正施行する。

この規定は、令和元年10月1日から改正施行する。

この規定は、令和2年4月1日から改正施行する。

この規定は、令和2年4月16日から改正施行する。

別表第1（第2条、第6条、第7条、第13条、第14条、第16条関係）

施設利用料

（単位 円）

区 分			利 用 料			
			午 前	午 後	夜 間	全 日
			9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
1	多目的 ホール	入場料が無料の場合	5,240	6,980	7,830	20,040
		入場料が有料の場合	8,170	11,330	12,390	31,880
2	控室 1		310	380	420	1,100
3	控室 2		680	830	900	2,400
4	第 1 研修室		4,890	6,520	6,520	17,930
5	第 2 研修室		1,570	2,100	2,100	5,770
6	会議室		2,520	3,360	3,360	9,240
7	オリエンテーションルーム		4,310	5,750	5,750	15,800
8	企画 展示 室	入場料が 無料の場合	全体使用	15,920		
			2分の1使用	7,970		
		入場料が 有料の場合	全体使用	25,430		
			2分の1使用	12,720		

注1. 上記は税込金額とする。

2. 午前及び午後又は午後及び夜間を継続して利用する場合の利用料は、午前及び午後又は午後及び夜間の利用料の合計額とする。
3. 多目的ホール又は企画展示室の利用者がこれらの施設を商品の宣伝、展示、販売等営利を目的として利用するときの利用料は、入場料の有無にかかわらず、入場料が有料の場合に相当する額とする。
4. 午前、午後、夜間及び全日の区分ごとに指定する時間以外の時間に利用する場合の利用料は、1時間まで毎に、全日の利用料の1時間当たりの額（10円未満切捨て）に相当する額とする。

別表第2（第2条、第6条、第7条、第13条、第14条、第16条関係）

附属設備及び備品の利用料

(単位 円)

名 称				1 日の 利用料
区 分	番号	種類又は品名	単位	
多目的ホール・控室				
舞台設備	1	演台	1 台	430
	2	花台	1 台	220
	3	司会台	1 台	220
	4	譜面台	1 台	120
	5	平台（180cm × 90cm）	1 台	220
	6	上敷ござ	1 枚	320
	7	めくり台	1 台	120
	8	高座用布団台	1 枚	220
	9	緋毛せん	1 枚	320
照明設備	10	アッパーホリゾンライト	1 列	1,580
	11	ロアーホリゾンライト	1 列	1,050
	12	サスペンションライト	1 列	850
	13	ボーダーライト	1 列	850
	14	パーライト（1000W）	1 基	270
	15	ピンスポットライト（700W）	1 基	530
音響設備	16	音響調整卓	1 式	3,150
	17	オープンテーブルコーダー	1 台	860
	18	舞台袖操作卓	1 式	1,050
	19	ステージ用スピーカー	1 台	1,050
	20	ワイヤレスハンドマイク	1 本	1,050
	21	ワイヤレスピンマイク	1 本	1,580
	22	ダイナミックマイク	1 本	530
	23	コンデンサーマイク	1 本	640
	24	卓上型マイクスタンド	1 台	220
	25	床上型マイクスタンド	1 台	220
楽器	26	ピアノ	1 台	3,150
	27	スクリーン（345cm × 260cm）	1 幕	960
	28	ポータブルスクリーン	1 台	320
その他	29	ホワイトボード	1 台	320
	30	レーザーポインター	1 個	320
	31	延長コード	1 本	120
	32	電気スタンド	1 台	120
企画展示室				
展示関係備品	33	展示ケース（ハイケース）	1 台	1,100
	34	展示ケース（平台）	1 台	900
	35	展示パネル	1 台	120
	36	アンカーフック	1 台	60

注1. ピアノの利用料には、調律料を含まない。

注2. マイクは全部で4本までの使用となる。

別表第3（第6条、第8条、第13条、第15条、第16条関係）

1. 展示室観覧料

区 分	一 般	団体（20人以上）
大人（高校生以上）	520 円	420 円
高齢者（65歳以上）	270 円	220 円

2. プラネタリウム観覧料

区 分	一 般	団体（20人以上）
大人（高校生以上）	520 円	420 円
高齢者（65歳以上）、小・中学生	270 円	220 円

VII 博物館利用案内

1 施設使用案内

(1) 施設使用申し込み

次の期日までに所定の様式による使用許可申請書を提出し、使用の許可を得てください。

- ・多目的ホール、控室、企画展示室……………1年前から7日前まで
- ・第1研修室、第2研修室、会議室、オリエンテーションルーム……………6月前から2日前まで

(2) 施設使用料（※令和2年4月1日）

区 分			使 用 料			
			午 前	午 後	夜 間	全 日
			9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
多目的 ホール	入場料が無料の場合		5,240円	6,980円	7,830円	20,040円
	入場料が有料の場合		8,170円	11,330円	12,390円	31,880円
控室 1			310円	380円	420円	1,100円
控室 2			680円	830円	900円	2,400円
第 1 研修室			4,890円	6,520円	6,520円	17,930円
第 2 研修室			1,570円	2,100円	2,100円	5,770円
会議室			2,520円	3,360円	3,360円	9,240円
オリエンテーションルーム			4,310円	5,750円	5,750円	15,800円
企画展 示室	入場料が 無料の場合	全体使用	15,920円			
		2 分の 1 使用	7,970円			
	入場料が 有料の場合	全体使用	25,430円			
		2 分の 1 使用	12,720円			

注1 午前及び午後又は午後及び夜間を継続して使用する場合は、午前及び午後又は午後及び夜間の使用料の合計額とする。

注2 多目的ホール又は企画展示室の利用者がこれらの施設を商品の宣伝、展示、販売等営利を目的として使用するときの使用料は、入場料徴収の有無にかかわらず、入場料が有料の場合に相当する額とする。

注3 午前、午後、夜間及び全日の区分ごとに指定する時間以外の時間に使用する場合は、1時間までごとに、全日の使用料の1時間当たりの額（10円未満切捨て）に相当する額とする。

2 入館案内

(1) 開館時間

午前9時から午後5時30分まで（展示室への入場は、午後5時まで）

(2) 休館日

- ・毎週月曜日 ただし、第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館。
祝日・振替休日にあたる場合は、直後の平日
- ・年末年始 12月29日から1月1日まで
- ・春休み、夏休み、GW期間中は無休
このほか、必要に応じ休館することがあります。

(3) 展示観覧料（※令和2年4月1日現在）

常設展

区 分	一 般	団 体 (20名以上)
大人(高校生以上)	520円	420円
65歳以上の方	270円	220円
小・中学生	無料	無料

プラネタリウム

区 分	一 般	団 体 (20名以上)
大人(高校生以上)	520円	420円
65歳以上の方	270円	220円
小・中学生	270円	220円

特別展・企画展の観覧料は別に定めます。

3 交通案内

松山市から車で（松山自動車道利用）…………… 60分

松山自動車道いよ西条I.C.から …………… 5分

瀬戸内バス 西条～中萩～新居浜線

総合科学博物館下車

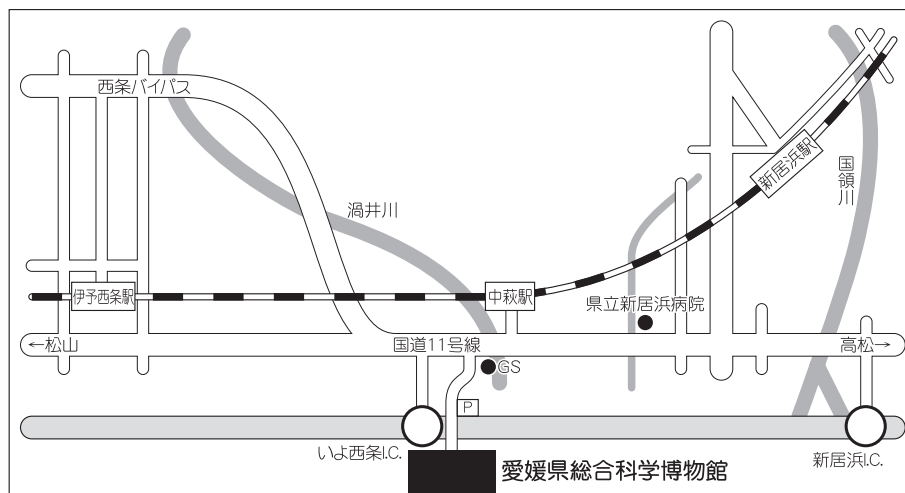
J R伊予西条駅から…………… 20分

J R新居浜駅から…………… 20分

J R伊予西条駅からタクシーで…………… 15分

J R新居浜駅からタクシーで…………… 15分

駐車場（乗用車320台・大型バス8台収容）がありますのでご利用ください。



年 報

(令和元年度)

発行年月日	令和2年8月31日
発 行	愛媛県総合科学博物館 〒792-0060 新居浜市大生院2133番地2 TEL (0897) 40-4100 FAX (0897) 40-4101
印 刷 所	株式会社ハラプレックス